レーザープリンター

DocuPrint 360

ドキュプリント

取扱説明書

THE DOCUMENT COMPANY

FUJI XEROX

プリンターで紙幣を印刷したり、有価証券などを不正に印刷すると、その印刷物を使用するかどうかにかかわらず、法律に違反し罰せられます。

ハードディスクドライブのデータ消失

外部からの衝撃やユーザーマニュアルなどに記載された方法に従わない電源の遮断などの理由によって、本体のハードディスクに不具合が発生した場合、蓄積されたデータが消失することがあります。この場合のお客様のデータ消失による直接、間接の損害につき、当社はその責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

コンピューターウィルスに関連する被害

コンピューターウィルスに感染することによって発生した障害については、当社はその責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

ご注意

① 本書の内容の一部または全部を無断で複製・転載・改編することはおやめください。
② 本書の内容に関しては将来予告なしに変更することがあります。
③ 本書に、ご不明な点、誤り、記載もれ、乱丁、落丁などがありましたら弊社までご連絡ください。
④ 本書に記載されていない方法で機械を操作しないでください。思わぬ故障や事故の原因となることがあります。万一故障などが発生した場合は、責任を負いかねることがありますので、ご了承ください。
⑤ 本製品は、日本国内において使用することを目的に製造されています。諸外国では電源仕様などが異なるため使用できません。また、安全規制法(電波規制や材料規制など)は国によってそれぞれ異なります。本製品および、関連消耗品をこれらの規制に違反して諸外国へ持ち込むと、罰則が科せられることがあります。

はじめに

このたびは弊社製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
本書は、本製品をはじめてご使用になるかたを対象に、プリンター機能の操作方法、および使用上の注意事項について記載してあります。製品の性能を十分に発揮させ、効果的にご利用いただくために、製品をご使用になる前に、必ず本書をお読みください。
本書を読んだあとも必ず保管してください。機械をご使用中に、操作上でわからないことや機械に不具合を生じたときに読み直してご活用いただけます。

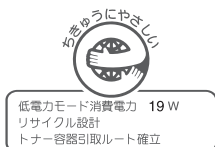
富士ゼロックス株式会社

この取扱説明書のなかで⚠と表記されている事項は、安全にご利用いただくための注意事項です。
必ず操作を行う前にお読みいただき、指示をお守りください。
また、本書の「安全にご利用いただくために」をご一読ください。

この装置は、危険なレーザー光を出さない「クラスⅠのレーザーシステム」です。取扱説明書に従って操作してください。取扱説明書に書かれた以外の操作は行わないでください。思わぬ故障や事故を起こす原因になります。

本機器は社団法人日本事務機械工業会が定めた複写機及び類似の機器の高調波対策ガイドライン（家電・汎用品高調波抑制対策ガイドラインに準拠）に適合しています。

平成明朝体™ W3、平成角ゴシック体™ W5 は、財団法人日本規格協会を中心に制作グループが共同開発したものです。なお、フォントの一部には、弊社でデザインした外字を含みます。許可なく複製することはできません。

弊社は､国際エネルギースタープログラムの参加事業者として､本製品が国際エネルギースタープログラムの対象製品に関する基準を満たしていると判断します。

DocuPrint 360 は、財団法人日本環境協会エコマーク事務局認定・エコマーク商品類型 No.122「プリンタ」商品です（認定番号 02122001）。本機は、省エネルギー、部品の再使用の推進・再資源化、および有害物質の排除を実現することによって、エコマーク認定基準に適合した、ライフサイクルを通して環境に配慮したプリンターです。

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会 (VCCI) の基準に基づくクラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

受信障害について
ラジオの雑音、テレビなどの画面に発生するチラツキ、ゆがみがこの商品による影響と思われましたら、この商品の電源スイッチをいったん切ってください。電源スイッチを切ることにより、ラジオやテレビなどが正常な状態に回復するようでしたら、次の方法を組み合わせて障害を防止してください。
- 本機とラジオやテレビ双方の位置や向きを変えてみる。
- 本機とラジオやテレビ双方の距離を離してみる。
- この商品とラジオやテレビ双方の電源を別系統のものに変えてみる。
- 受信アンテナやアンテナ線の配置を変えてみる。（アンテナが屋外にある場合は電気店にご相談ください。）
- ラジオやテレビのアンテナ線を同軸ケーブルに変えてみる。

目　次

第 6 章　プリンターの設定と管理

第 7 章　トラブル対処方法

第 8 章　消耗品の補給 / 交換と日常の取り扱いについて

付　録

マニュアル体系について

DocuPrint 360 のマニュアルの種類について、その概要を説明します。

■セットアップガイド

本機の設置方法について説明しています。

■取扱説明書　－本書－

本機で印刷するまでの準備、操作方法、トラブルの対処方法などについて説明しています。

■ CentreWare の CD-ROM 内のマニュアル

本機をネットワークプリンターとして使用するときの詳しい手順や、本機をエミュレーションモードで使用するときの操作などについて説明しています。
エミュレーション関連の説明書には以下があります。

- DocuPrint 260 201H エミュレーション設定ガイド
- DocuPrint 260 ESC/P エミュレーション設定ガイド
- DocuPrint 260 HP-GL エミュレーション設定ガイド

補足
PDF ファイルのマニュアルを読む場合は、Adobe Acrobat Reader 4.0J 以降 (Windows XP の場合は 5.0J) が必要です。

■オプション品同梱マニュアル

別売のオプション品に、必要に応じて説明書が同梱されています。オプション品によっては、説明書は同梱されている CD-ROM に格納されています。

■商品マニュアル

必要に応じて購入していただく説明書もあります (リファレンスマニュアル（ART IV対応）など)。これらの説明書では、プリンター（プロッター）制御言語のコマンドやソフトウェアのインストール手順などを説明しています。

本書の読み方

ここでは、本書の読み方について説明します。

前提知識

本書の内容は、お使いのコンピューターの環境や、ネットワーク環境の基本的な知識や操作方法を理解されていることを前提に説明しています。
各環境の基本的な知識や操作方法については、コンピューター、OS(オペレーティングシステム)、ネットワークシステムに付属の説明書をお読みください。

本書の構成

本書は、次の構成になっています。

第 1 章　お使いいただく前に

本機を使用するまでの準備の流れ、各部の名称と働きについて説明しています。

第 2 章　プリンター環境の設定

ローカルプリンター、またはネットワークプリンターとして使用する場合の接続例と、本機を使用できるようにするための設定方法について説明しています。

第 3 章　プリンタードライバーをインストールする

プリンタードライバーのインストール方法について説明しています。

第 4 章　プリンターの基本操作

電源の入 / 切や、印刷の中止方法などについて説明しています。

第 5 章　印刷する

主な印刷機能について説明しています。

第 6 章　プリンターの設定と管理

操作パネルから設定できる、すべてのプリントモードに共通の項目の概要と、その設定方法について説明しています。
また、本機で出力できるレポート / リストの内容や、コンピューターから本機の状態を確認したり、設定したりすることができるツールについて説明しています。

第 7 章　トラブル対処方法

トラブル（印字品質が悪い、エラーメッセージが表示されたなど）が発生したときの対処方法について説明しています。

第 8 章　消耗品の補給 / 交換と日常の取り扱いについて

用紙について、EP カートリッジの交換、および清掃などについて説明しています。

付　録

主な仕様や注意 / 制限事項などを記載しています。

本書の表記

① 本文中の「コンピューター」は、パーソナルコンピューターやワークステーション、ホスト装置の総称です。

② 本文中では、説明する内容によって、次のマークを使用しています。

注記 注意すべき事項を記述しています。必ずお読みください。

補足 補足事項を記述しています。

参照 参照先を記述しています。

③ 本文中では、次の記号を使用しています。

参照「　　」：参照先は、本書内です。

参照『　　』：参照先は、本書内ではなく、ほかの説明書です。

「　　」：フォルダー、CD-ROM などの名称や入力文字などを表します。また、特に強調したい場合もこの記号で囲んで表します。

［　　］：コンピューター上のメニュー、コマンド、ウィンドウやダイアログボックスとそれらに表示されるボタンやメニューなどの名称を表します。

〈　　〉キー：キーボード上のキーを表しています。

【　　】：操作パネルのディスプレイに表示されるメッセージ、メニューの項目や設定値を表します。

④ チェックボックスがチェックされている状態をオン、チェックされていない状態をオフで表します。

⑤ ラジオボタンは、チェックされている項目が選択されている項目です。

安全にご利用いただくために

機械を安全にご利用いただくために、本機をご使用になる前に必ず「安全にご利用いただくために」のページを最後までお読みください。

各図記号は以下のような意味を表しています

⚠警告　この表示を無視して誤った取り扱いをすると、使用者が死亡または重傷を負う可能性があると思われる事項があることを示しています。

⚠注意　この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が障害を負うことが想定される内容および物的損害の発生が想定される事項があることを示しています。

△記号は、製品を取り扱う際に注意すべき事項があることを示しています。指示内容をよく読み、製品を安全にご利用ください。

高温注意

発火注意

感電注意

指はさみ注意

⃠記号は、行ってはならない禁止事項があることを示しています。指示内容をよく読み、禁止されている事項は絶対に行わないでください。

禁　止

火気禁止

分解禁止

接触禁止

●記号は、必ず行っていただきたい指示事項があることを示しています。指示内容をよく読み、必ず実施してください。

指　示

プラグを抜け

アース線を接続せよ

設置および移動時の注意

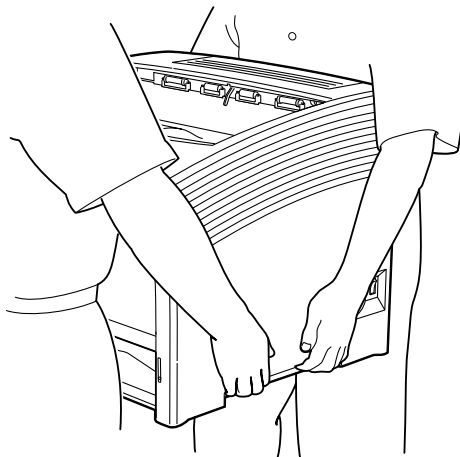
⚠注意

ストーブやヒーターなどの発熱器具に近い場所、揮発性可燃物やカーテンなどの燃えやすいものに近い場所には機械を設置しないでください。火災の原因となるおそれがあります。

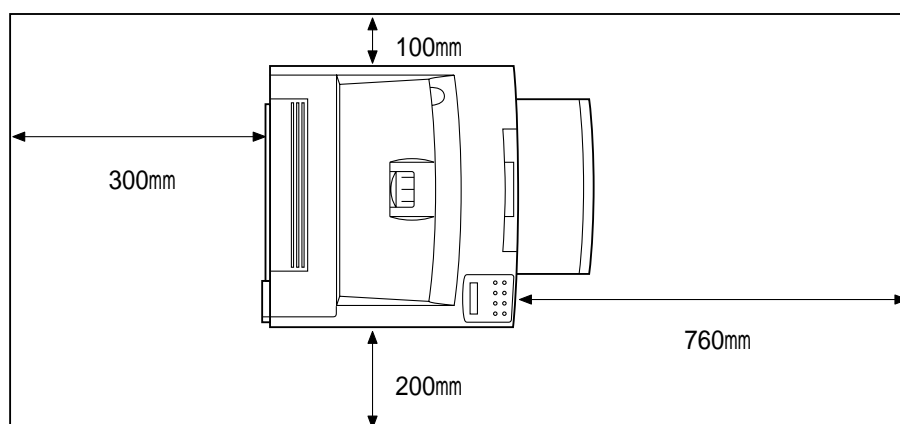
機械は重さ 32kg(本体、用紙カセット (A3)、EP カートリッジ含む) に耐えられる丈夫で水平な場所に設置してください。機械の転倒などによりケガの原因となるおそれがあります。

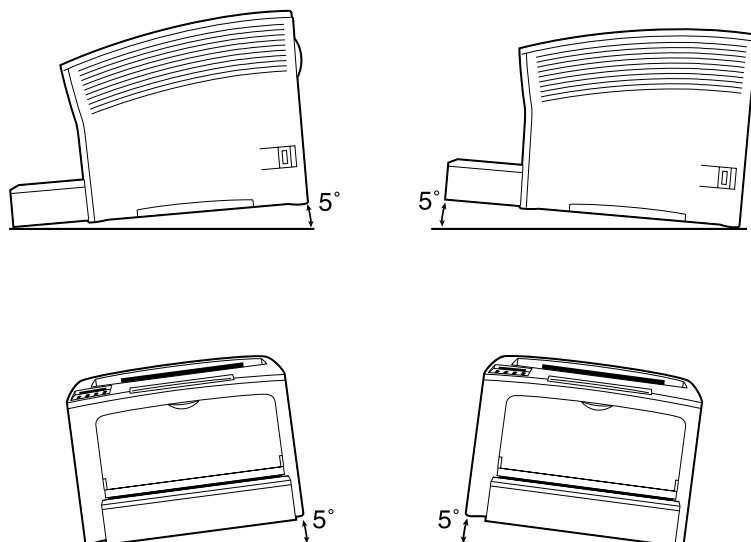
機械の重さは 32kg(本体、用紙カセット (A3)、EP カートリッジ含む) です。必ず 2 人以上で持ち運んでください。

機械を持ち上げるときには、十分にひざを折り、腰を痛めないように注意してください。

機械を持ち上げるときは、図のように 2 人で機械正面(操作パネル側)および背面に向かいあって、左右両側のくぼみを両手でしっかりと持ってください。左右両側のくぼみ以外を持って、持ち上げることは絶対にしないでください。落下によるケガの原因となることがあります。

高温、多湿の場所や換気が悪くホコリの多い場所には機械を設置しないでください。発熱による火災や感電の原因となるおそれがあります。

オプションの大容量給紙モジュールを設置した後は、キャスターについている移動防止用ストッパーを必ずロックしてください。ストッパーをロックしないと、機械が思わぬ方向に動きケガの原因となるおそれがあります。

機械の左側には通気口があります。機械は壁から 200㎜ 以上離して設置してください。通気口をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となるおそれがあります。また、機械の操作および消耗品類の交換、日常の点検など、機械を正しく使用し、機械の性能を維持するために、下図の設置スペースを確保してください。

機械を移動する場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。電源コードが傷つき、発熱による火災や感電の原因となるおそれがあります。

機械を移動する場合は、機械を 5 ° 以上に傾けないでください。転倒などによるケガの原因となるおそれがあります。

その他

- **いつもよい状態でご使用いただける環境の範囲は次のとおりです。**
  温度 10 〜 32 ℃　湿度 15 〜 85％ （結露がないこと）
  温度が 32 ℃のときは湿度 70% 以下、湿度が 85% のときは温度 28 ℃以下でお使いください。

  補足

  冷えきった部屋を暖房器具などで急激に暖めるたり、湿度や温度が低いところから高いところにプリンターを移動した場合は、プリンター内部に水滴が付着し（ 結露 ）、印字品質が低下することがあります。結露が生じた場合には、1 時間以上放置して環境になじませてからご使用ください。

- **直射日光の当たる場所には機械を置かないでください。故障の原因になることがあります。**

- **地震のときの移動防止、転倒防止対策については、弊社のプリンターサポートデスクまたは販売店にご相談ください。**

電源およびアース線接続時の注意

⚠警告

電源プラグは、定格電圧 100V で、定格電流 15A 以上のコンセントに単独で差し込んでください。また、たこ足配線をしないでください。発熱による火災や感電のおそれがあります。なお、本機の定格電源は 100V、11A となっています。

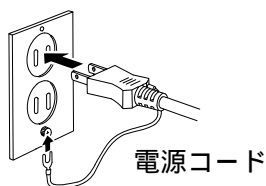
電源プラグやコンセントに付着したホコリは、必ず取り除いてください。そのまま使用していると、湿気などにより表面に微小電流が流れ、発熱や火災のおそれがあります。

延長コードは、定格（125V、15A）未満のものは使用しないでください。発熱による火災のおそれがあります。なお、延長コードが必要な場合は、弊社のプリンターサポートデスクまたは販売店にご相談ください。

電源コードを傷つけたり、破損させたり、加工したりしないでください。また重いものを載せたり、引っぱったり、無理に曲げたりすると電源コードを傷め、発熱による火災や感電のおそれがあります。

電源プラグは絶対に濡れた手で触らないでください。感電のおそれがあります。

次のようなときには直ちに使用を中止し、電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。その後、弊社のプリンターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。そのまま使用を続けると火災のおそれがあります。
- 機械から発煙したり、機械の外側が異常に熱くなったとき
- 異常な音やにおいがするとき
- 機械の内部に水が入ったとき

万一漏電した場合の感電や火災事故を防ぐため、電源プラグについているアース線を必ず次のいずれかに取り付けてください。
- 電源コンセントのアース端子
- 銅片などを 650㎜ 以上地中に埋めたもの
- 接地工事（D 種）を行っている接地端子

適正電源コンセント

ご使用になる電源コンセントのアースをご確認ください。アースが取れない場合や、アースが施されていない場合は、弊社プリンターサポートデスクまたは販売店にご相談ください。

次にようなところには、絶対にアース線を接続しないでください。
- ガス管（引火や爆発の危険があります。）
- 電話専用アース線および避雷針（落雷時に大量の電流が流れる場合があり危険です。）
- 水道管や蛇口（配管の途中がプラスチックになっている場合はアースの役目を果たしません。）

アース接続は、必ず電源プラグをコンセントに差し込む前に行ってください。また、アース接続を外す場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

電源コードが傷んだら（芯線の露出、断線）、弊社のプリンターサポートデスクまたは販売店に交換をご依頼ください。そのまま使用すると火災や感電のおそれがあります。

⚠注意

機械の電源スイッチを入れたままでコンセントからプラグを抜き差ししないでください。アークによりプラグが変形し、発熱による火災の原因となるおそれがあります。

電源プラグをコンセントから抜くときは、必ず電源プラグを持って抜いてください。電源コードを引っぱるとコードが傷つき、火災、感電の原因となるおそれがあります。

機械の清掃および保守、故障の処置を行う場合は、電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。電源スイッチを切らずに機械の清掃や保守を行うと、感電の原因となるおそれがあります。

連休などで長期間、機械をご使用にならないときは、安全のために電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。絶縁劣化による感電や漏電火災の原因となるおそれがあります。

１か月に一度は機械の電源を切り、次のような点検をしてください。なお、異常がある場合は弊社のプリンターサポートデスクまたは販売店までご連絡ください。
- 電源プラグが電源コンセントにしっかり差し込まれていますか。
- 電源プラグに異常な発熱やサビ、曲がりなどはありませんか。
- 電源プラグやコンセントに細かいホコリがついていませんか。
- 電源コードにき裂やすり傷などはありませんか。

インターフェイスケーブルおよび別売品を接続するときは、必ず電源スイッチを切ってください。感電の原因となることがあります。

その他

● ラジオの雑音、テレビ画面のチラツキ、ゆがみなどの電波障害が発生し、電波障害の原因が本機であると考えられる場合は、本機の電源を切って電波障害がなくなるかどうか確認してください。電源を切ると電波障害がなくなるようであれば、次の方法を組み合わせて障害を防止してください。
- 本機とラジオやテレビ双方の距離を離してみる。
- 本機とラジオやテレビ双方の位置や向きを変えてみる。
- 本機とラジオやテレビ双方の電源を別系統のものに変えてみる。
- 受信アンテナやアンテナ線の配置を変えてみる。（アンテナが屋外にある場合は電気店にご相談ください。）
- ラジオやテレビのアンテナ線を同軸ケーブルに変えてみる。

機械使用上の注意

⚠警告

機械の上に花瓶、植木鉢、コップなど水の入った容器を置かないでください。水がこぼれた場合、火災や感電のおそれがあります。

機械の上に金属類を置かないでください。すき間から内部に、クリップやホチキスの針のような金属類や燃えやすいものが入り込むと、機械内部がショートし、火災や感電のおそれがあります。

万一、異物（金属片、水、液体）が内部に入った場合は、まず本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。そして、弊社のプリンターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災や感電のおそれがあります。

ネジで固定されているパネルやカバーなどは、取扱説明書で指示している箇所以外絶対に開けないでください。
内部には電圧の高い部分があり、感電のおそれがあります。

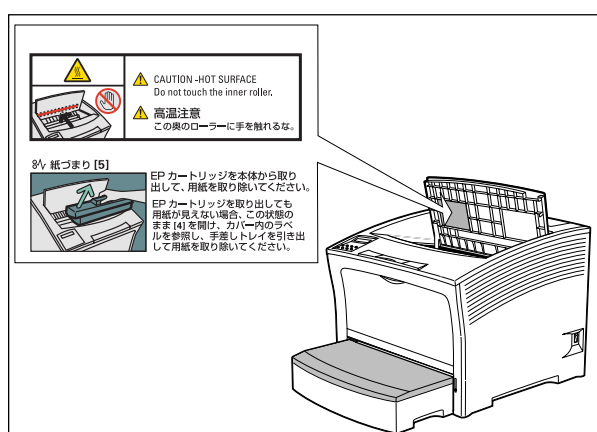
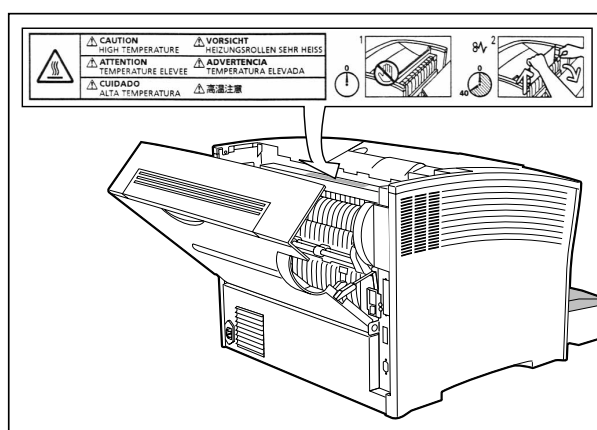
機械を改造したり、部品を変更して使用しないでください。火災のおそれがあります。

この機械は、レーザーの国際規格IEC60825-1（Class １）に適合しています。このことはレーザー被爆の危険がないことを意味しています。レーザーは機械内部で放射されますが、部品内部の漏洩防止筐体やカバーなどによって内部に閉じ込められています。従って、お客様が使用される場合はレーザーは被爆しません。取扱説明書に書かれていること以外の、カバーを外すなどの操作はしないでください。レーザーの被爆の原因になることがあります。

⚠注意

機械の上に重いものを載せないでください。機械のバランスが崩れて倒れたり、重いものが落下してけがの原因となるおそれがあります。

機械の近くまたは内部で強燃性スプレーや引火性溶剤を使用しないでください。引火による火災の原因となるおそれがあります。

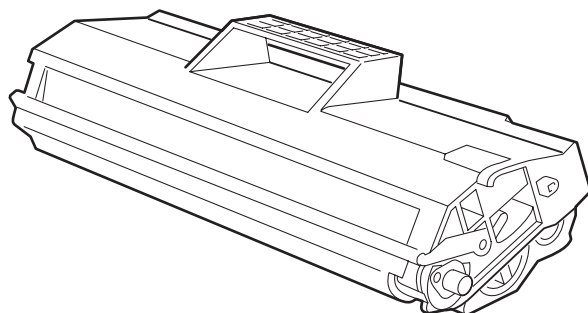
「高温注意」を促すラベルが貼ってある周辺（定着ユニットやその周辺）には、絶対に触れないでください。やけどの原因となるおそれがあります。
なお、ヒーター部やローラー部に用紙が巻き付いているときには無理に取らないでください。ケガややけどの原因となります。直ちに電源スイッチを切り、弊社のプリンターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。

詰まった用紙を取り除くときは、機械内部に紙片が残らないようすべて取り除いてください。紙片が残ったままになっていると火災の原因となるおそれがあります。
なお、紙片や用紙がヒーター部の見えない部分およびローラーに巻き付いているときは、無理に取らないでください。ケガややけどの原因となるおそれがあります。直ちに電源スイッチを切り、弊社のプリンターサポートデスクまたは販売店に連絡してください。

電気を通しやすい紙（ 折り紙・カーボン紙・コート紙など ）は使用しないでください。紙づまりのときにショートして火災の原因となるおそれがあります。

トップカバーを開けるときは、確実に止まるまで開けてください。
また、閉めるときはゆっくりと閉めてください。
固定されていない状態で手を放すと勢いよく閉まり、手などをはさんでケガをするおそれがあります。

消耗品取り扱い上の注意

⚠警告

EP カートリッジを、絶対に火中に投じないでください。粉じん爆発により、やけどのおそれがあります。

法律上の注意事項

1　本物と偽って使用する目的で次の通貨や有価証券を複製することは、犯罪として厳しく処罰されます。

□　紙幣（外国紙幣を含む）、国債証書、地方債証書、郵便為替証書、郵便切手、印紙。
これらは、本物と偽って使用する意図がなくても、本物と紛らわしいものを作ること自体が犯罪になります。

□　株券、社債、手形、小切手、貨物引換証、倉荷証券、クーポン券、商品券、鉄道乗車券、定期券、回数券、サービス券、宝くじ・勝馬投票券、車券の当たり券などの有価証券。

2　次の文書や記名捺印などを複製・加工して、正当な権限なく新たな証明力を加えることは、犯罪として厳しく処罰されます。

□　各種の証明書類など、公務員または役所を作成名義人とする文書・図画。
□　契約書、遺産分割協議書など私人を名義人とする権利義務に関する文書。
□　推薦状、履歴書、あいさつ状など、私人を名義人とする事実証明に関する文書。
□　役所または公務員の印影、署名、記名。
□　私人の印影または署名。

3　著作権が存在する書籍、新聞、雑誌、冊子、絵画、図画、写真、映像、映画、音楽、コンピュータープログラムなどの著作物は、権利者の許諾なく、次の行為はできません。

(1) 複製　紙に定着させた著作物を複写機でコピーすること、磁気テープに記録した映像や音楽をダビングすること、電子的に読みとった著作物のデータをハードディスクや外部メディアに記録すること、記録した著作物のデータをプリンターで出力すること、ネットワークを介してダウンロードすることなど。

(2) 改変　紙に定着させた著作物を加工や修正すること、電子的に読み取った著作物のデータを切除、書き換え、切り貼りすることなど。

(3) 送信　電子的に読み取った著作物のデータを、公衆の電気通信回線（インターネットを含む）を通じてファクシミリや電子メールで送信すること、ホームページへの掲載など、公衆の電気通信回線に接続したネットワークサーバーに著作物のデータを搭載することなど。

権利者の許諾なく複製・改変・送信したときは、使用の差止、損害賠償の請求、刑事罰を受けることがあります。ただし、次の場合は例外的に権利者の許諾なく著作物を複製することができます。

□　個人的または家庭内、その他これに準ずる生活範囲での私的な使用を目的とした複製。
□　国立図書館、私立図書館、学校付属施設、公立の博物館、公立の各種資料センター、公益目的の研究機関など、公衆利用への提供を目的とする図書館等における複製。
□　公正な慣行に合致し、報道・批評・研究など、目的に照らして、正当な範囲内での引用。
□　国または地方公共団体が発行する公報資料・調査統計資料・報告書の新聞・雑誌・その他刊行物への転載。ただし、複製禁止の表示がある著作物は除かれます。
□　学校教科書への掲載。
ただし、権利者への補償金が必要です。
□　学校その他教育機関における複製。
ただし、種類・用途・部数・態様に照らして、権利者の利益を不当に害しない範囲内に限ります。
□　試験問題としての複製。
ただし、権利者への補償金が必要です。

国際エネルギースタープログラムの目的

国際エネルギースタープログラムは、大切な地球環境を守るために以下のような方法を推奨し、エネルギーを節約することを目的にしています。本機は、この国際エネルギースタープログラム基準に適合しています。

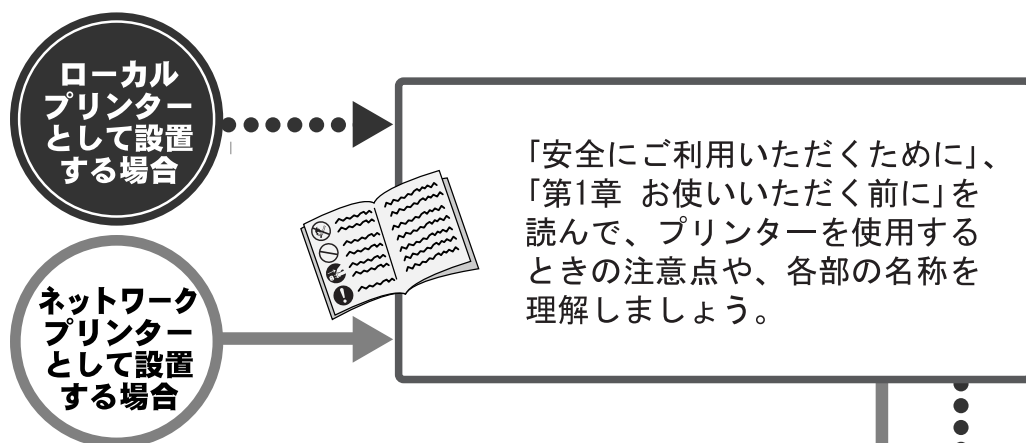
低電力モードについて

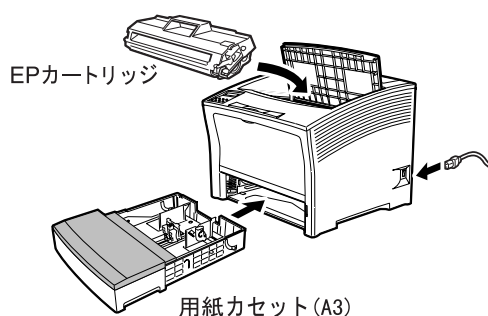
本機は電力消費量を軽減するために、自動的に消費電力を節約する機能を持っています。工場出荷時の設定では 30 分以上この機器が使用されなかった場合に、自動的に定着部の温度を下げ、消費電力を節約するようになっています。

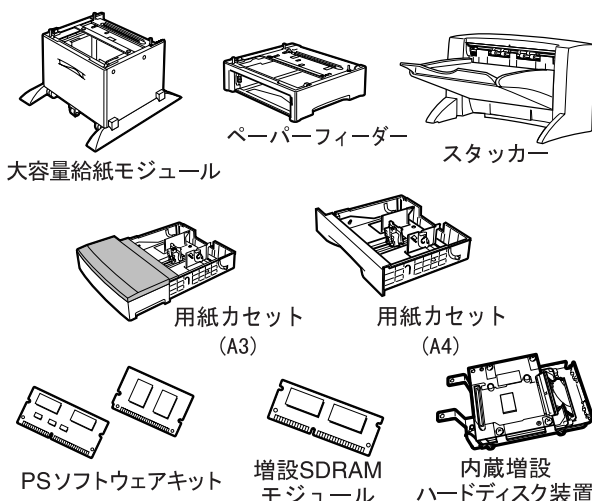
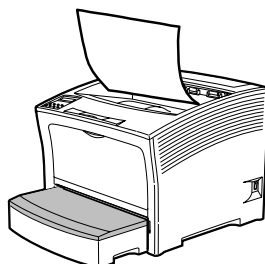
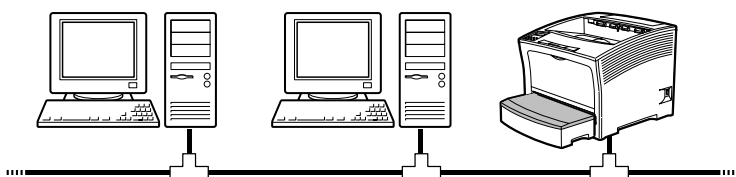
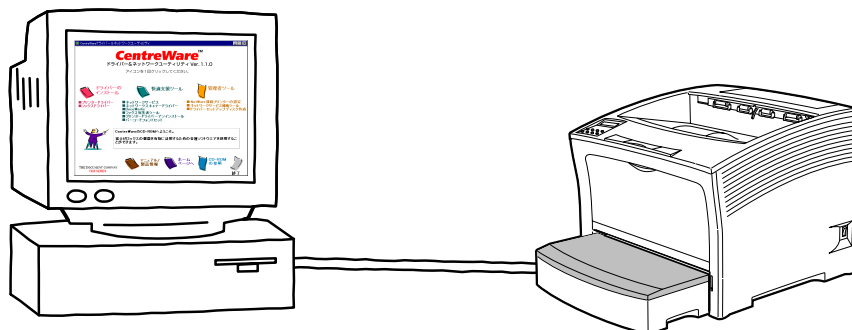
1章 お使いいただく前に

1.1 準備の流れ

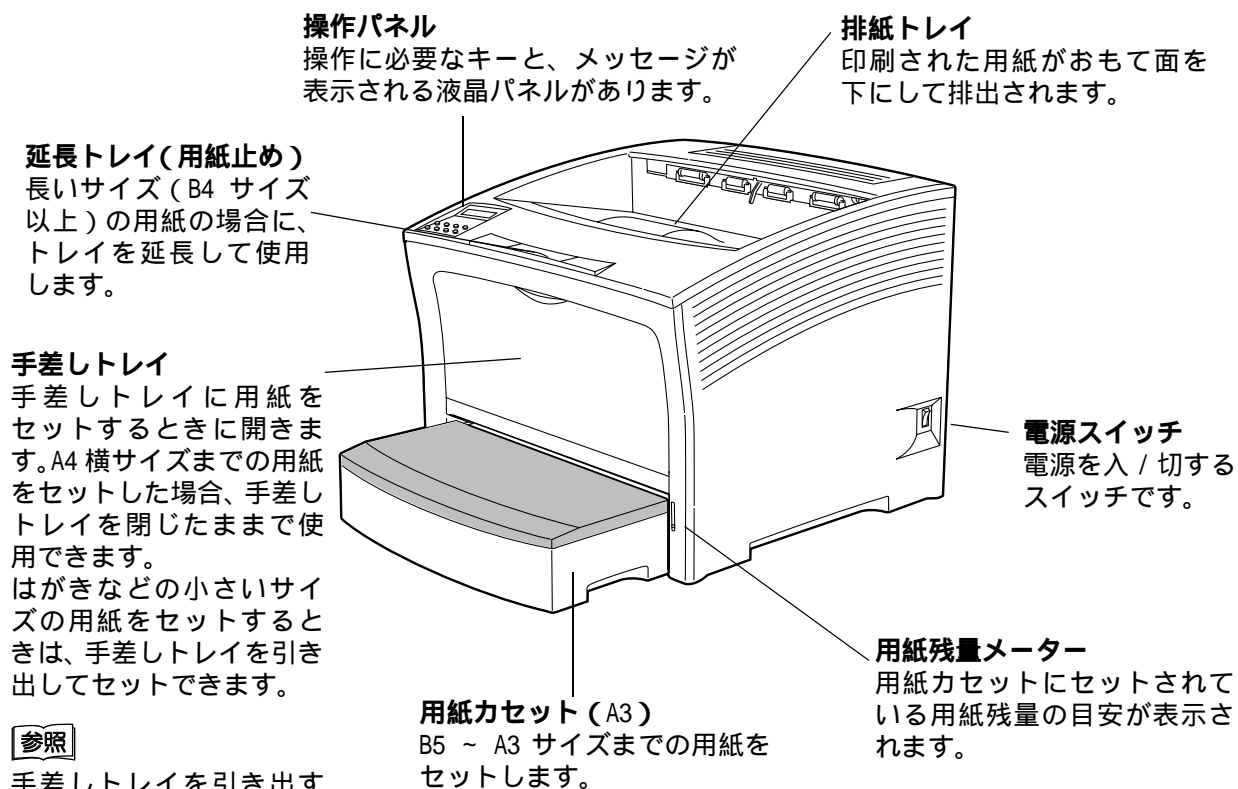
DocuPrint 360 を購入してから、印刷するまでには、次のような作業が必要です。

「安全にご利用いただくために」、「第1章 お使いいただく前に」を読んで、プリンターを使用するときの注意点や、各部の名称を理解しましょう。

EPカートリッジ、カセット、ケーブル、電源コードなどを取り付けます。

参照 『セットアップガイド』

オプションがある場合は、取り付けます。

参照 各オプション付属の説明書

電源を入れてプリンター設定リストを印刷します。
プリンターが正しく設置できたことを確認しましょう。
参照『セットアップガイド』
ネットワーク環境などを設定します。
参照「第2章 プリンター環境の設定」
コンピューターに、プリンタードライバーなどのソフトウェアをインストールします。
参照「第3章 プリンタードライバーをインストールする」
CentreWare

1.2 各部の名称と働き

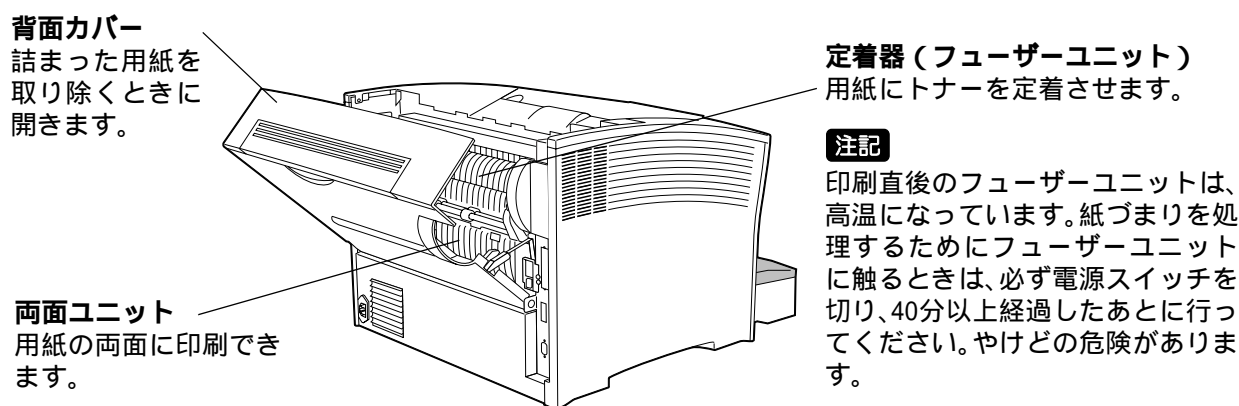
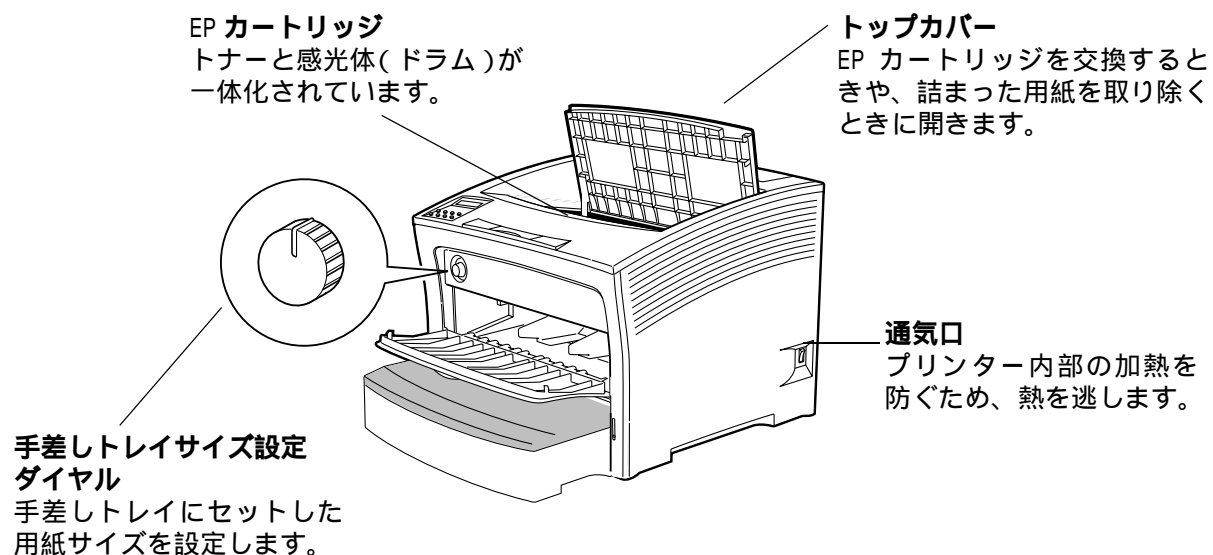
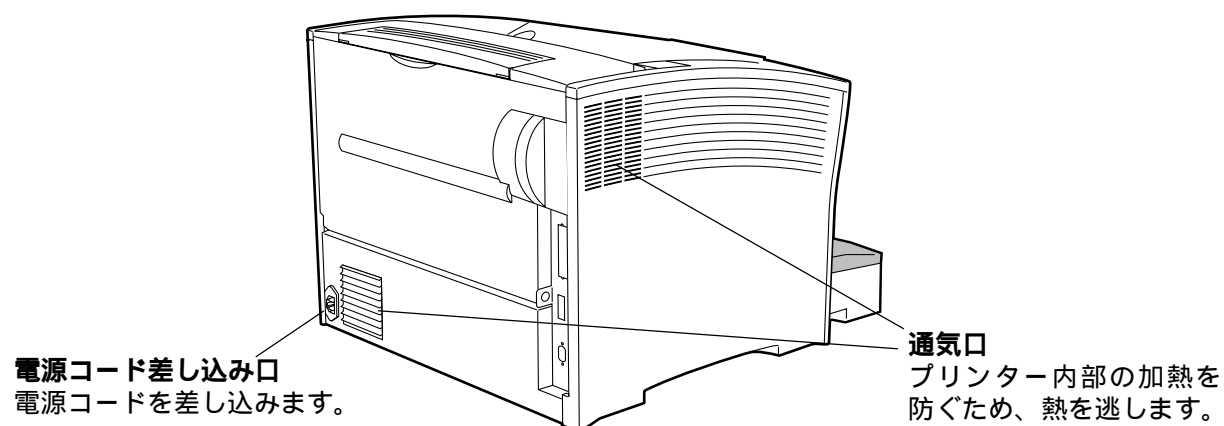
1.2.1 本体

前面

参照

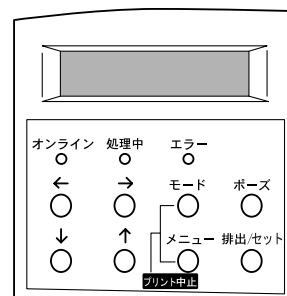
手差しトレイを引き出す方法については、「 8.2.1 手差しトレイ」の「小さいサイズの用紙をセットする場合」を参照してください。

内部

注記

印刷直後のフューザーユニットは、高温になっています。紙づまりを処理するためにフューザーユニットに触るときは、必ず電源スイッチを切り、40分以上経過したあとに行ってください。やけどの危険があります。

背面

1.2.2 操作パネル

操作パネルの各部の名称と働きについて説明します。

参照
操作パネルの設定項目については、「第 6 章　プリンターの設定と管理」を参照してください。

名称	働き
オンライン	**コンピューターからデータを受信できる状態かどうかを、ランプで表します。ランプの色は緑色で、点灯、点滅、消灯で状態を表します。** **[点灯]:データの受信可能　[点滅]:データ受信中　[消灯]:データの受信不可** 補足 データの受信が不可能な状態には、(メニュー)を押して共通メニューの操作に移行したときや、(ポーズ)を押してポーズ状態に移行したときなどがあります。
処理中	**ランプで印刷の処理状況を表します。ランプの色は緑色で、点灯、点滅、消灯で状態を表します。** **[点灯]:印刷処理中　[点滅]:データ待ち中　[消灯]:印刷処理を行っていない**
エラー	**ランプでプリンターの異常を表します。ランプの色は赤色で、点灯、点滅、消灯で状態を表します。** **[点灯]：紙づまりなどのお客様自身で対処可能なエラーが発生** **[点滅]：お客様では対処できないエラーが発生** **[消灯]：正常**
← → ↓ ↑	**メニュー、項目、候補値間を移行します。本書では、(←) (→) (↑) (↓)で表します。**
モード	**モードメニュー操作に移行します。本書では、(モード)で表します。**
ポーズ	**ポーズ状態に移行します。データの受信、印刷処理を行いません。再度押すと、ポーズ状態が解除されます。本書では、(ポーズ)で表します。**
メニュー	**共通メニューに移行します。本書では、(メニュー)で表します。**
排出 / セット	**メニューの設定を決定します。プリンター設定リスト排出時にも使用します。本書では(排出/セット)で表します。**
プリント中止	**(モード)と(メニュー)を同時に押すと、印刷が中止されます。** 参照「4.4.2 プリンター側で印刷を中止する」
プリンター状態 プ゜リント シテイマス パ゜ラレル　トレイ1 入力ポート　使用トレイ	**設定項目や、プリンターの状態が表示されます。** **[プリンター状態]：プリンターの状態を表示** **[入力ポート]：データを受信している入力ポートを表示** **[使用トレイ]：印刷に使用されているトレイを表示**

2
章

プリンター環境の設定

2.1 使用できる環境について

本機を使用できる環境について説明します。
本機とコンピューターを直接接続すると、ローカルプリンターとして使用できます。
また、本機をネットワークに接続すると、ネットワークプリンターとして使用できます。本機は、マルチプロトコルに対応しているので、異なったネットワーク環境でも、1 台のプリンターを共有できます。

参照
プリンターの設定の流れについては、「2.2　プリンター環境別の設定の流れ」を参照してください。

2.1.1　ローカルプリンターとして使用する

パラレルインターフェイスを使用する

本機とコンピューターを、パラレルインターフェイスケーブルで接続して印刷します。

注記
パラレルインターフェイスケーブルは、弊社のオプション品をご使用ください。弊社取り扱い以外のパラレルインターフェイスケーブルを使用すると、電波障害を起こすことがあります。

2.1.2　ネットワークプリンターとして使用する（Ethernet インターフェイス）

本機を、コンピューターとネットワークで接続して使用する場合は、Ethernet インターフェイスケーブルで接続して印刷します。

注記
インターフェイスケーブルは、使用しているネットワークの接続形態に合ったケーブルを使用してください。

Windows ネットワーク（SMB）

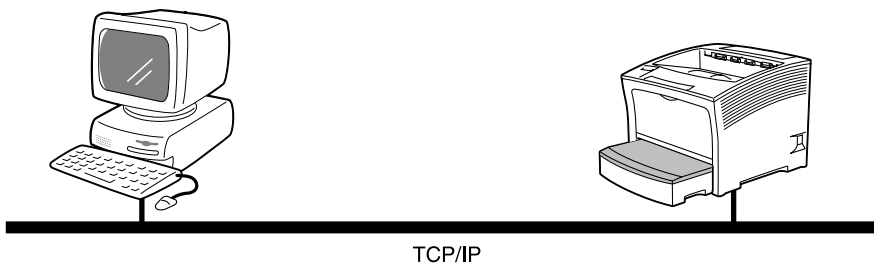
SMB（Server Message Block）とは、Windows® 95、Windows® 98、Windows® Me、Windows NT® 4.0、Windows® 2000、Windows® XP 上でファイルやプリンターを共有するためのプロトコルです。SMB を使用すると、同一ネットワーク（Ethernet インターフェイス）上のプリンターに、サーバーなどを経由しないで、印刷データや設定を直接送信できます。

本機の SMB ポートを起動して、Windows 95、Windows 98、Windows Me、Windows NT 4.0、Windows 2000、Windows XP の各 OS で、ネットワーク上のプリンターを登録するだけで印刷できます。
SMB のトランスポートプロトコルは、NetBEUI と TCP/IP が使用できます。

補足

Windows XP の場合、SMB のトランスポートプロトコルとして使用できるのは、TCP/IP だけです。

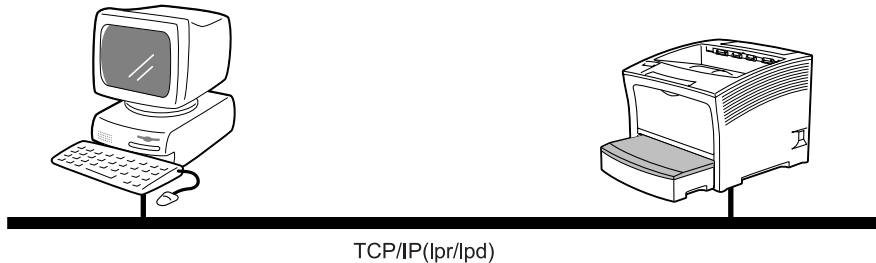
TCP/IP Direct Print Utility（Windows 95、Windows 98、Windows Me）

TCP/IP Direct Print Utility とは、Windows 95、Windows 98、Windows Me コンピューターから、同一ネットワーク（Ethernet インターフェイス）上のプリンターに、サーバーなどを経由しないで、印刷データを直接送信し、印刷することを可能にした弊社製ソフトウェアツールです。本機は TCP/IP（lpd）プロトコルをサポートしているので、このツールを使用すると、Windows 95、Windows 98、Windows Me コンピューターから、印刷データを直接送信して印刷できます。この場合、プリンターと Windows 95、Windows 98、Windows Me コンピューターには、IP アドレスの設定が必要です。

TCP/IP（Windows NT 4.0、Windows 2000、Windows XP）

本機は、TCP/IP（lpd）プロトコルをサポートしているので、Windows NT 4.0、Windows 2000、Windows XP コンピューターから、SMB だけでなく、LPR で印刷データを直接送信し、印刷できます。この場合、本機と Windows NT 4.0、Windows 2000、Windows XP コンピューターには、IP アドレスの設定が必要です。
また、Windows NT 4.0、Windows 2000、Windows XP 上に登録したプリンターを共有に設定することで、Windows 95、Windows 98、Windows Me コンピューターからも、この共有プリンターを介して印刷できます。

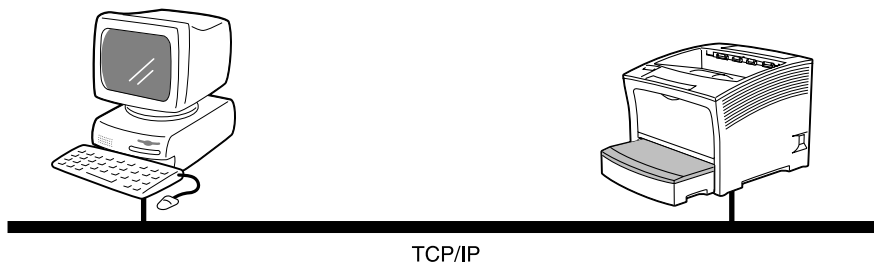
Windows NT 4.0,Windows 2000,Windows XP

プリンター

TCP/IP(lpr/lpd)

TCP/IP（UNIX）

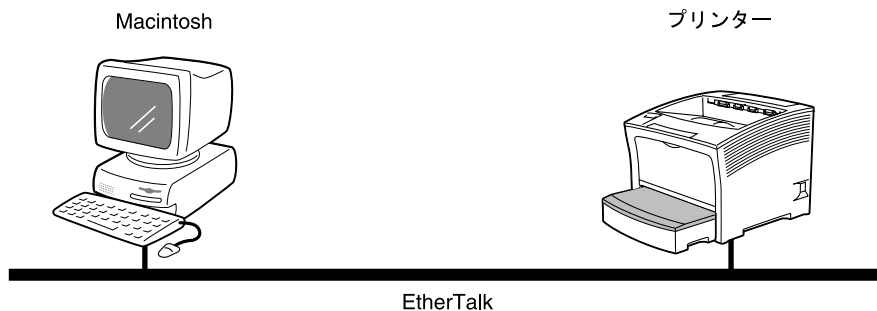
本機は、TCP/IP プロトコルをサポートしているので、UNIX マシンから印刷できます。本機と UNIX マシンには、IP アドレスの設定が必要です。

参照

UNIX マシンから印刷する方法については、同梱されている CD-ROM 内の説明書を参照してください。

AppleTalk

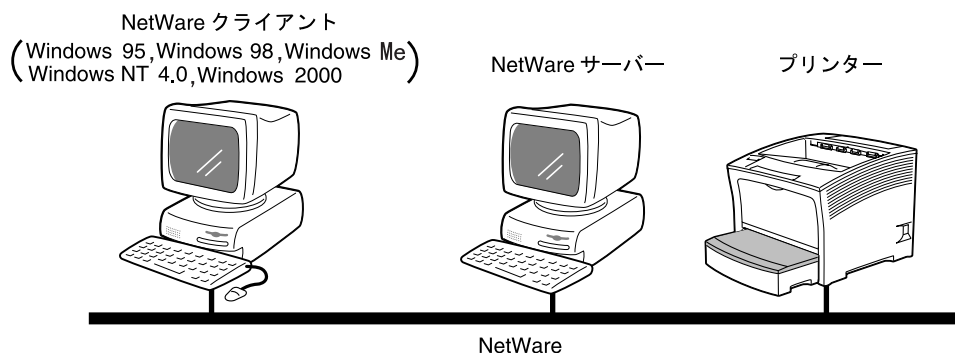
本機は、AppleTalkプロトコルをサポートしているので、MacintoshからEtherTalkを使用して印刷できます。

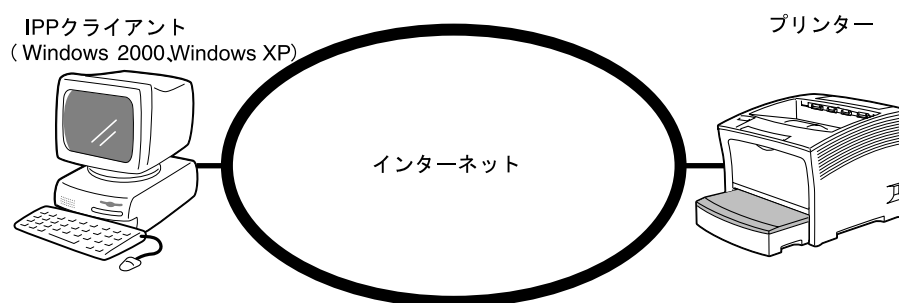
補足

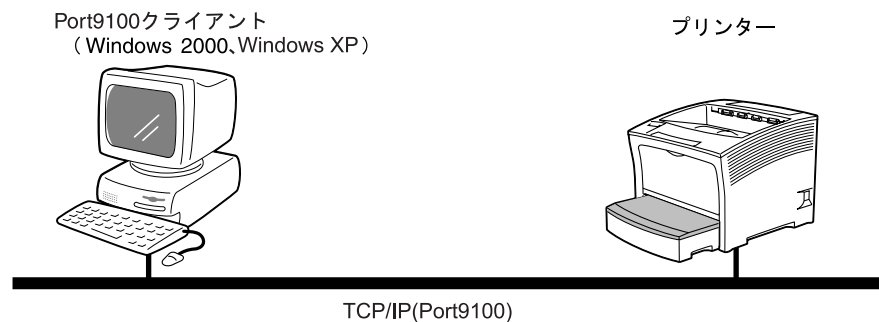
EtherTalkを使用して印刷するには、オプションのPostScript® ソフトウェアキットが必要です。使用方法については、PostScriptソフトウェアキットに同梱されている説明書を参照してください。

NetWare®

本機は、ネットワークOSとして、Novell社製のNetWare 3.12J/3.2J/4.11J/4.2/5/5.1までの各バージョンに対応し、バインダリおよびNDS（4.11J以上）でプリントサーバー（PServer）モードだけをサポートしています。
プリントサーバーモードでは、プリンター自身がプリントサーバーとして動作し、プリントキューにあるジョブを取り出して印刷します。本機は、ファイルサーバーのユーザーライセンスを1つ消費します。
また、NetWareのトランスポートプロトコルは、IPX/SPXを使用します。

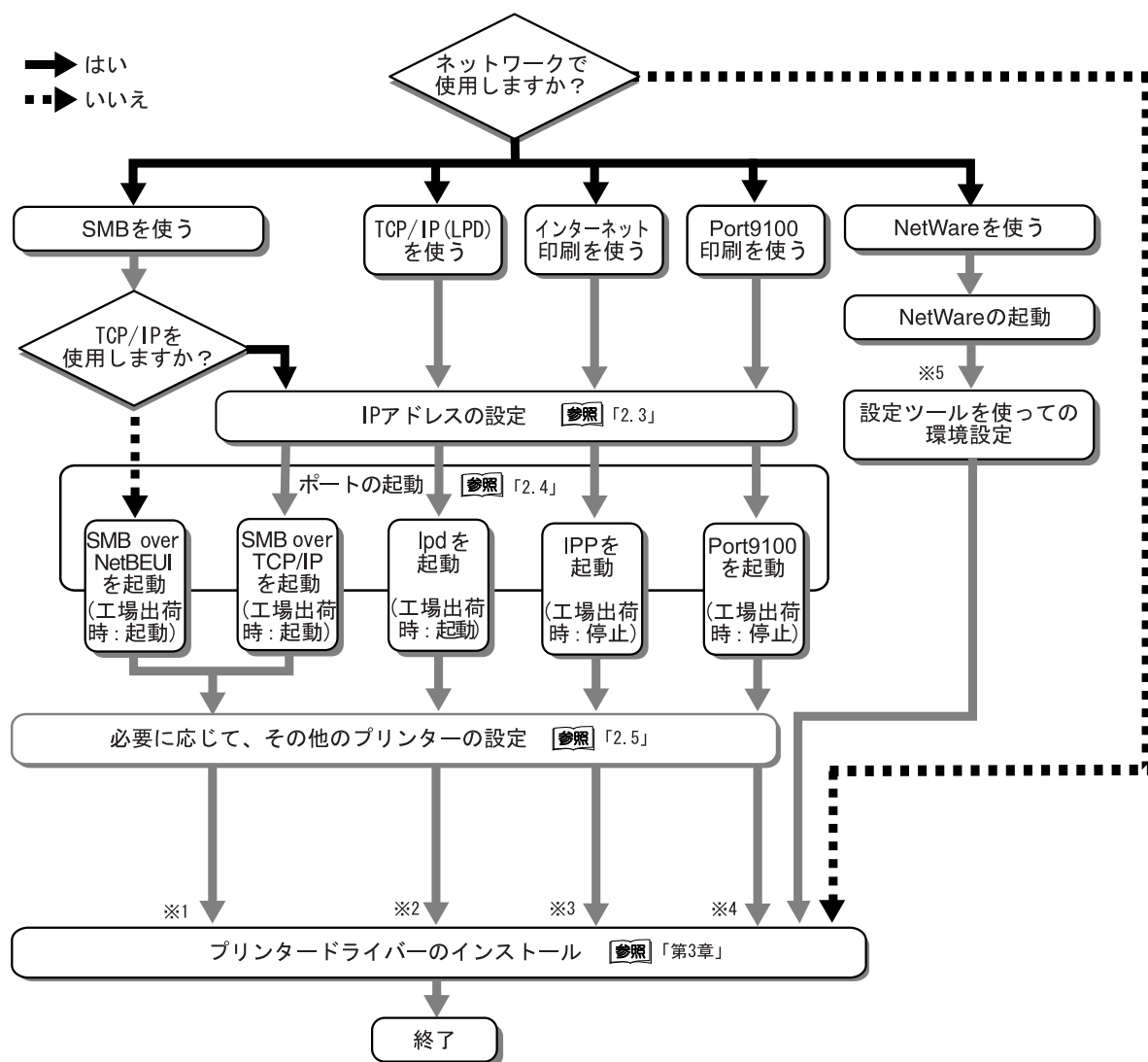
参照

NetWareを使用して印刷する場合は、同梱されているCD-ROM内の説明書を参照してください。

インターネット印刷（IPP）

本機は、IPP(Internet Printing Protocol)をサポートしています。また、Windows 2000、Windows XP は、IPP プリンターに出力するためのクライアントソフト（IPP ポートモニタ）を装備しているので、コントロールパネルの［プリンタの追加］ウィザードから、IPP 対応プリンターを指定できます。IPP を利用すれば、インターネット、またはイントラネットを経由して遠隔地のプリンターに印刷できます。

Port9100

プリンターは、TCP/IP(Port9100) プロトコルをサポートしているので、Windows 2000、Windows XP から Port9100 を使用して印刷できます。
この場合、プリンターと Windows 2000、Windows XP コンピューターには、IP アドレスの設定が必要です。

2.2 プリンター環境別の設定の流れ

使用環境別に本機の環境を設定する流れについて説明します。
下の図に沿って、それぞれのプリンター環境に必要な設定を確認してください。

参照
AppleTalk を使用する場合は、PostScript ソフトウェアキットに同梱されている説明書を参照してください。

※1 同梱されている CD-ROM からプリンタードライバーをインストールする方法と、自動でダウンロードする方法があります。手順は、同梱されている CD-ROM 内の説明書を参照してください。

※2 Windows NT、Windows 2000、Windows XP では、共有プリンターを作成できます。共有プリンターを使用して印刷する場合の環境設定、およびクライアントコンピューターに共有プリンターを追加して使用するための手順は、同梱されている CD-ROM 内の説明書を参照してください。

※3 IPP を使用する場合のプリンタードライバーのインストール手順は、同梱されている CD-ROM 内の説明書を参照してください。

※4 Port9100 を使用する場合のプリンタードライバーのインストール手順は、同梱されている CD-ROM 内の説明書を参照してください。

※5 NetWare を使用する場合の環境設定、およびプリンタードライバーのインストール手順は、同梱されている CD-ROM 内の説明書を参照してください。

2.3 IP アドレスを設定する

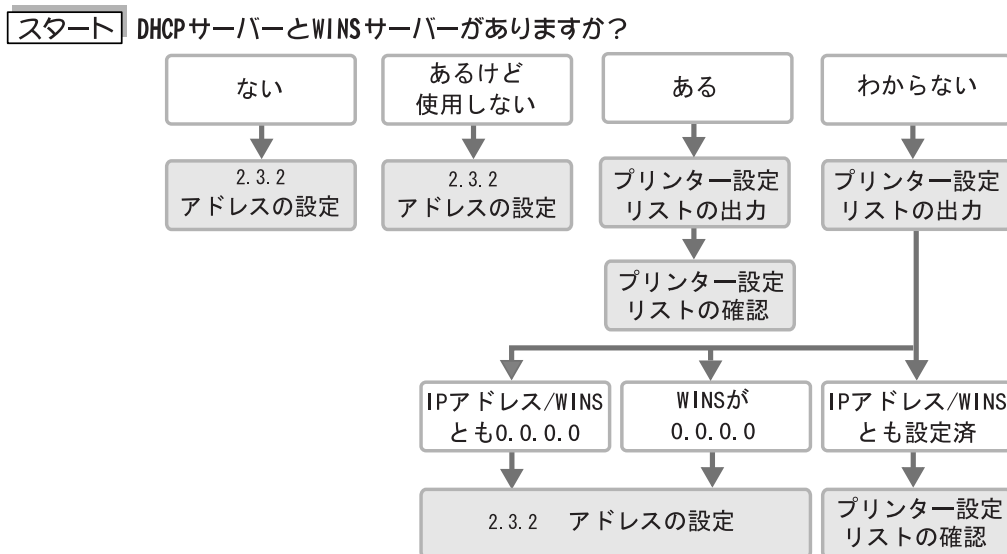
ここでは、IP アドレスの設定方法について説明します。
ネットワーク環境によっては、サブネットマスク、ゲートウェイアドレスの設定が必要な場合があります。ネットワーク上に、DHCP 環境がある場合、本機はこれらのアドレス情報を DHCP サーバーから取得できます。
工場出荷時の設定では、これらのアドレスを DHCP サーバーから自動的に取得するようになっています。

注記
DHCP サーバーを使用する場合、同時に WINS(Windows Internet Name Service) サーバーも使用してください。DHCP 環境について不明な場合は、システム管理者に確認してください。

参照
- 各項目の詳細や設定方法については、「第 6 章　プリンターの設定と管理」を参照してください。
- IP アドレス設定ツールを使用すると、プリンターの IP アドレスを簡単に設定できます。IP アドレス設定ツールについては、同梱されている CD-ROM 内の説明書を参照してください。

2.3.1 設定の流れ

DHCP サーバーから IP アドレスを自動的に取得する場合は、ここでの IP アドレスの入力は不要です。
操作パネルを使って手動で IP アドレスを設定する場合は、「2.3.2 アドレスの設定」を参照してください。
また、ネットワーク上に DHCP サーバーがあるかどうかわからないときは、次に説明する操作手順に従って、DHCP サーバーの有無を確認できます。DHCP サーバーがなかった場合は、「2.3.2 アドレスの設定」を参照し、IP アドレスを設定してください。

DHCP サーバーの確認

プリンター設定リストの出力

操作手順

1 **「6.3.2　レポート / リストの印刷方法」の「プリンター設定リストの場合」を参照して、プリンター設定リストを印刷します。**

2 **プリンター設定リストの「Maintenance」の、「TCP/IP：IP アドレス」、「TCP/IP：サブネットマスク」、「TCP/IP：ゲートウェイアドレス」、「WINS：プライマリー WINS サーバー」、「WINS：セカンダリー WINS サーバー」のアドレスを確認します。プリンター設定リストの確認方法については、次の「プリンター設定リストの確認」を参照してください。**

プリンター設定リストの確認

- **TCP/IP、WINS 共にアドレスが取得されていない場合**

  DHCP サーバーと WINS サーバーは存在しません。「2.3.2 アドレスの設定」を参照し、IP アドレスを設定してください。

- **TCP/IP にアドレスは取得されているが、WINS にアドレスが取得されていない場合**

  WINS サーバーは存在しません。本機に割り当てられている IP アドレスが変更になった場合に印刷できなくなる可能性があるので、DHCP 環境は使用しないでください。「2.3.2 アドレスの設定」を参照し、手動で本機の IP アドレスを設定してください。

- **TCP/IP、WINS 共にアドレスが取得されている場合**

  DHCP サーバーと WINS サーバーが稼動しています。DHCP 環境を使用することをお勧めします。DHCP 環境を使用すると、本機の IP アドレスは DHCP サーバーが設定します。WINS サーバーには、プリンター設定リストの「Interfaces」の「SMB：ホスト名」に記載された名前（FX-xxxxxx）が登録されます。

2.3.2 アドレスの設定

操作パネルで IP アドレスを設定する手順について説明します。使用するネットワーク環境によって、サブネットマスクやゲートウェイアドレスの設定が必要です。ネットワーク管理者に確認のうえ、必要な項目を設定してください。

IP アドレスの設定

補足

【DHCP カラアドレスシュトク】を【シナイ】に設定したあと、IP アドレスの設定をしない（「0.0.0.0」）で操作を終了すると、lpd ポートが自動的に停止に設定されます。

サブネットマスク / ゲートウェイアドレスの設定

前ページへ
前ページより
DHCPｶﾗｱﾄﾞﾚｽｼｭﾄｸ
ｼﾅｲ
⑨ 排出/ｾｯﾄ を押す
DHCPｶﾗｱﾄﾞﾚｽｼｭﾄｸ
ｼﾅｲ ＊
⑩ を押す
TCP/IPｾｯﾃｲ
DHCPｶﾗｱﾄﾞﾚｽｼｭﾄｸ
⑪ または を何度か押す
TCP/IPｾｯﾃｲ
ｻﾌﾞﾈｯﾄﾏｽｸ
⑫ を押す
ｻﾌﾞﾈｯﾄﾏｽｸ
000.000.000.000＊
⑬ でサブネットマスクを入力する
ｻﾌﾞﾈｯﾄﾏｽｸ
XXX.XXX.XXX.XXX
⑭ 排出/ｾｯﾄ を押す
ｻﾌﾞﾈｯﾄﾏｽｸ
XXX.XXX.XXX.XXX＊
⑮ を押す
TCP/IPｾｯﾃｲ
ｻﾌﾞﾈｯﾄﾏｽｸ
⑯ または を何度か押す
TCP/IPｾｯﾃｲ
ｹﾞｰﾄｳｪｲｱﾄﾞﾚｽ
⑰ を押す
ｹﾞｰﾄｳｪｲｱﾄﾞﾚｽ
000.000.000.000＊
⑱ でゲートウェイアドレスを
入力する
ｹﾞｰﾄｳｪｲｱﾄﾞﾚｽ
XXX.XXX.XXX.XXX
⑲ 排出/ｾｯﾄ を押す
ｹﾞｰﾄｳｪｲｱﾄﾞﾚｽ
XXX.XXX.XXX.XXX＊
⑳ メニュー を押す
（電源ONの状態に戻ります。データ受信可能です。）

2.4 ポートを設定する

操作パネルを使って、使用するポートを起動します。
すでに設定が【キドウ】になっている場合は、ここでの操作は不要です。【テイシ】に設定されている場合だけ、次に示す参照先の手順に従って起動してください。
また、ポートの設定はCentreWare Internet Servicesからも行うことができます。詳しくは、「6.5 コンピューターからプリンターを設定する（CentreWare Internet Services）」を参照してください。

本機をローカルプリンターとして使用する場合

- **パラレルポート　　　　（工場出荷時：【キドウ】）**

参照
パラレルポートを起動する手順については、「2.4.1 ポートを起動する」を参照してください。

TCP/IP(LPD)を使用する場合

- **lpdポート　　　　（工場出荷時：【キドウ】）**

参照
lpdポートを起動する手順については、「2.4.1 ポートを起動する」を参照してください。

インターネット印刷を使用する場合

- **IPPポート　　　　（工場出荷時：【テイシ】）**

参照
IPPポートを起動する手順については、「2.4.1 ポートを起動する」を参照してください。

Port9100を使用する場合

- **Port9100ポート　　　　（工場出荷時：【テイシ】）**

参照
Port9100ポートを起動する手順については、「2.4.1 ポートを起動する」を参照してください。

SMBを使用する場合

- **SMBポート　　　　（工場出荷時：【キドウ】）**
- **トランスポート>TCP/IP　　　　（工場出荷時：【キドウ】）**
- **トランスポート>NetBEUI　　　　（工場出荷時：【キドウ】）**

参照
SMBポートを起動する手順については、「2.4.1 ポートを起動する」を参照してください。トランスポートプロトコルを起動する手順については、「2.4.2 トランスポートプロトコルを起動する」を参照してください。

プリンターをリモートで管理するソフトウェアを使用する場合

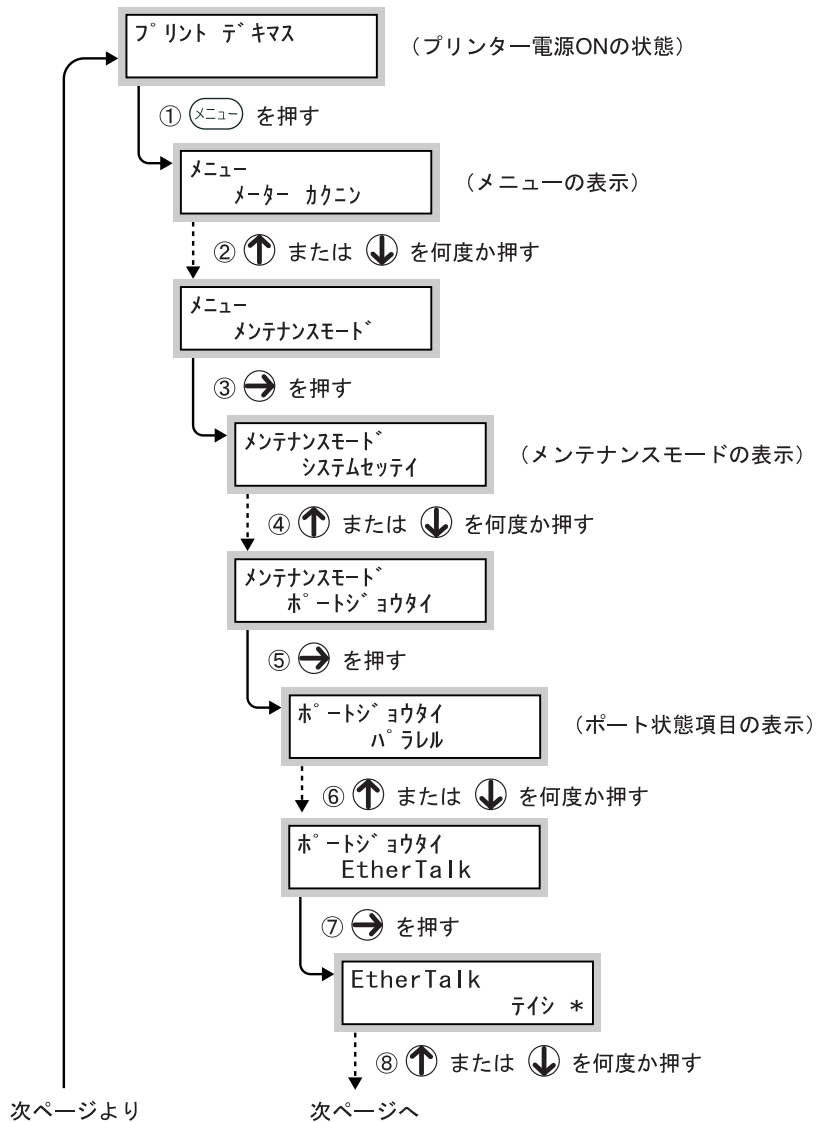
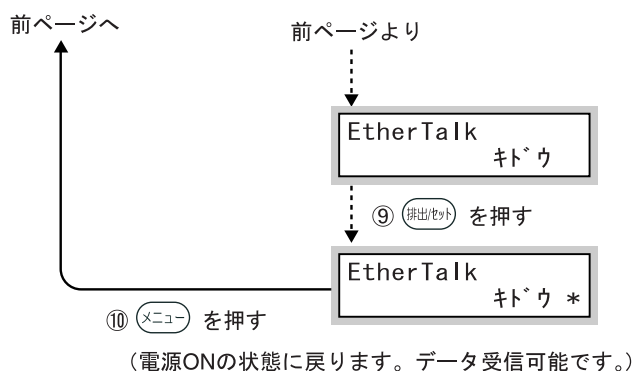
- **UDP起動　　　　（工場出荷時：【ON】）**

参照
UDPエージェントを起動する手順については、「2.4.3 エージェントを起動する」を参照してください。

2.4.1 ポートを起動する

操作パネルを使って、EtherTalk ポートを起動（工場出荷時：【テイシ】）する手順を例に説明します。

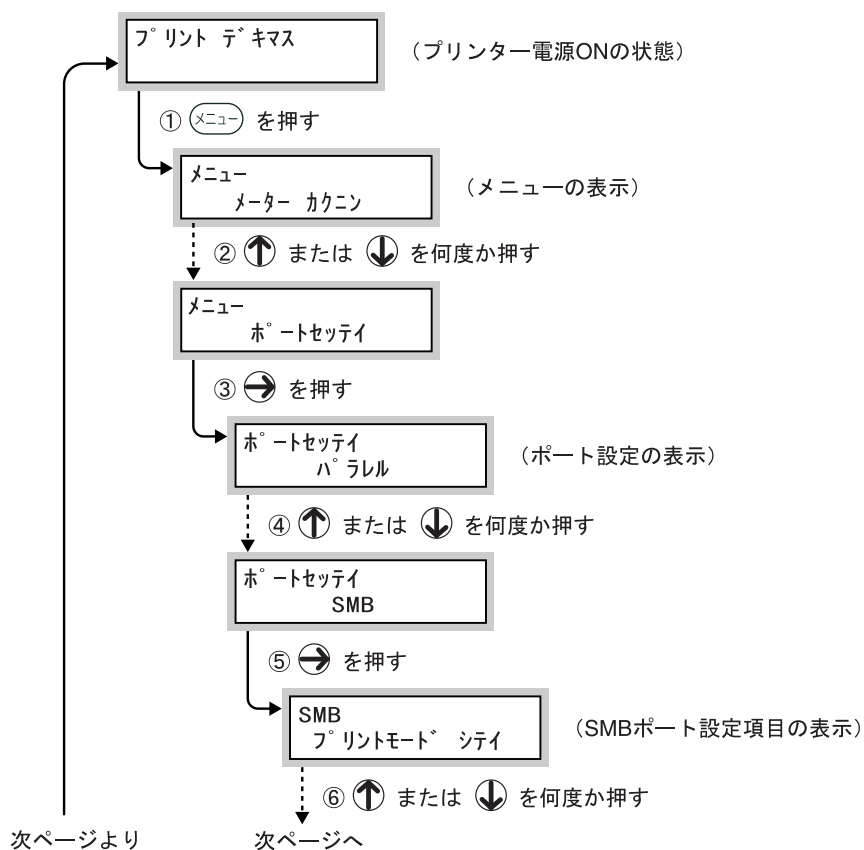
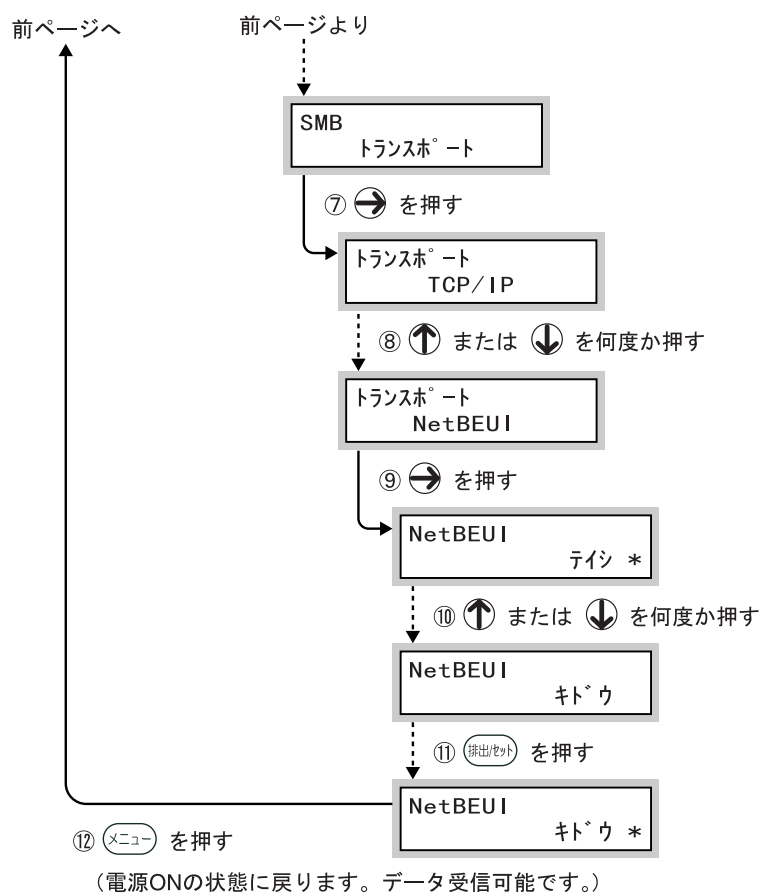
補足

- EtherTalk 以外のポートを起動する場合は、「EtherTalk」を該当するポートに読み替えて操作してください。
- IP アドレスが無効（「0.0.0.0」）の場合に、lpd、Salutation、IPP、Port9100 のいずれかのポートを起動に設定すると、TCP/IP を設定する項目が表示されます。
その場合は、「2.3.2 アドレスの設定」の手順 7 ～ 15 を参照して TCP/IP の設定をしてください。

2.4.2 トランスポートプロトコルを起動する

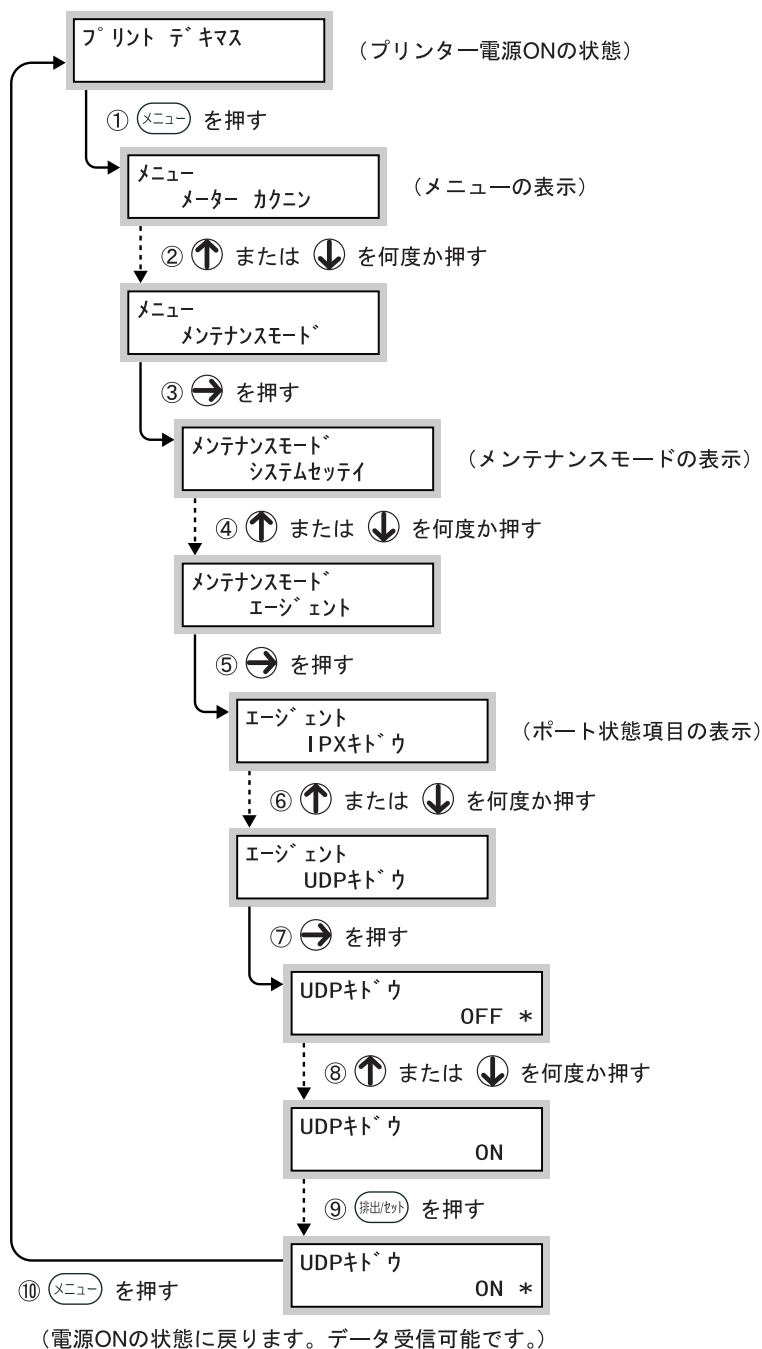
操作パネルを使って、NetBEUI を起動（工場出荷時：【キドウ】）する手順を例に説明します。

補足

TCP/IP を起動する場合は、「NetBEUI」を「TCP/IP」に読み替えて操作してください。

前ページへ
前ページより
SMB
トランスポート
⑦ を押す
トランスポート
TCP/IP
⑧ または を何度か押す
トランスポート
NetBEUI
⑨ を押す
NetBEUI
テイシ ＊
⑩ または を何度か押す
NetBEUI
キドウ
⑪ 排出/セット を押す
NetBEUI
キドウ ＊
⑫ メニュー を押す
（電源ONの状態に戻ります。データ受信可能です。）

2.4.3　エージェントを起動する

操作パネルを使って、UDP エージェントを起動（工場出荷時：【ON】）する手順を例に説明します。

補足
IPX を起動する場合は、「UDP」を「IPX」に読み替えて操作してください。

2.5 その他のプリンターの設定

必要に応じて、操作パネルを使って次の項目も設定してください。
通常はこれらの項目の工場出荷時の設定を変更する必要はありません。

参照
各項目の詳細や設定方法については、「6.2 共通メニューの設定を変更する」を参照してください。

パラレルを使用する場合

■ポート設定＞パラレル

- **プリントモード指定**　（工場出荷時：【AUTO】）
- **JCL スイッチ**　（工場出荷時：【ON】）
- **自動排出時間**　（工場出荷時：【30 ビョウ】）
- **Adobe 通信プロトコル**　（工場出荷時：【Standerd】）
  この項目は、PostScript ソフトウェアキットを装着している場合に表示されます。
- **双方向**　（工場出荷時：【ON】）
- **インプットプライム**　（工場出荷時：【ユウコウ】）

■メンテナンスモード＞メモリーの変更＞受信バッファメモリー

- **パラレルメモリー**　（工場出荷時：【64KB】）

TCP/IP(LPD) を使用する場合

■ポート設定＞ lpd

- **プリントモード指定**　（工場出荷時：【AUTO】）
- **JCL スイッチ**　（工場出荷時：【ON】）
- **TBCP フィルター**　（工場出荷時：【ユウコウ】）
- **コネクションタイムアウト**　（工場出荷時：【16 ビョウ】）
- **受け付け IP の制限**　（工場出荷時：【シナイ】）

■メンテナンスモード＞メモリーの変更＞受信バッファメモリー

- **lpd スプール**　（工場出荷時：【シナイ /256K】）

SMB を使用する場合

■ポート設定＞ SMB

- **プリントモード指定**　（工場出荷時：【AUTO】）
- **JCL スイッチ**　（工場出荷時：【ON】）
- **トランスポート＞ TCP/IP、NetBEUI**（工場出荷時：【キドウ】）

■メンテナンスモード＞メモリーの変更＞受信バッファメモリー

- **SMB スプール**　（工場出荷時：【シナイ /256K】）

SMB を使用する場合は、CentreWare Internet Services を使用すると、さらに次の項目が設定できます。

- **ワークグループ名**　（工場出荷時：WORKGROUP）
- **ホスト名**　（工場出荷時：FX-xxxxxx(xxxxxx: プリンターの Ethernet アドレスの下位 6 桁)）
- **管理者名**　（工場出荷時：admin）
- **管理者パスワード**　（工場出荷時：admin）
- **最大セッション数**　（工場出荷時：5）

- 自動ドライバーロード　（工場出荷時：有効）
- ユニコードサポート　（工場出荷時：無効）
- 自動マスターモード　（工場出荷時：有効）
- パスワード暗号化　（工場出荷時：有効）
- プリンター使用言語　（工場出荷時：日本語）

参照

CentreWare Internet Services については、「6.5 コンピューターからプリンターを設定する（CentreWare Internet Services)」を参照してください。

インターネット印刷を使用する場合

■ポート設定＞ IPP

- プリントモード指定　（工場出荷時：【AUTO】）
- JCL スイッチ　（工場出荷時：【ON】）
- TBCP フィルター　（工場出荷時：【ムコウ】）

■メンテナンスモード＞メモリーの変更＞受信バッファメモリー

- IPP メモリー (内蔵増設ハードディスク装置なし)
  （工場出荷時：【256K】）
- IPP スプール (内蔵増設ハードディスク装置あり)
  （工場出荷時：【シナイ /256K】）

補足

内蔵増設ハードディスク装置を装着している場合は【IPP スプール】が、装着していない場合は【IPP メモリ】が表示されます。

Port9100 を使用する場合

■ポート設定＞ Port9100

- プリントモード指定　（工場出荷時：【AUTO】）
- JCL スイッチ　（工場出荷時：【ON】）
- ポートナンバー　（工場出荷時：【9100】）
- TBCP フィルター　（工場出荷時：【ムコウ】）
- コネクションタイムアウト　（工場出荷時：【60 ビョウ】）

■メンテナンスモード＞メモリーの変更＞受信バッファメモリー

- Port9100 メモリー　（工場出荷時：【256K】）

2.6 メモリーの割り当てについて

ここでは、メモリーの割り当てについて説明します。

2.6.1 メモリーの種類

本機のメモリーの種類は次のとおりです。
- ページバッファ
- フォントキャッシュメモリー
- PS 使用メモリー
- 受信バッファメモリー
- ART ユーザー定義メモリー
- フォームデータメモリー (HP-GL/2 スプール)

メモリーの割り当ては、ページバッファを除き、操作パネル、または CentreWare Internet Services で設定できます。設定したメモリーの割り当ては、電源を入れたとき (または、システムリセット時) に有効になります。

参照
- 各メモリーの詳細や操作パネルでの設定については、「6.2 共通メニューの設定を変更する」を参照してください。
- CentreWare Internet Services については、「6.5 コンピューターからプリンターを設定する (CentreWare Internet Services)」を参照してください。

2.6.2 各メモリーの役割

以下に、各メモリーの役割について簡単に説明します。

ページバッファ

実際の印刷イメージを描画する領域です。ページバッファには、ほかの用途向けにメモリーを割り当てたあとの、残った領域が割り当てられます。実際に割り当てられたページバッファ容量は、プリンター設定リストの「Memory」の「ページバッファ」で確認できます。
処理を高速にするには、ページバッファに、2.5 ページ分以上の領域を確保することをお勧めします。ただし、ページバッファを増やしても、複雑な文書が多いときや、ページ数が少ない文書が多いときなどは、処理速度が変わらないことがあります。
主な用紙サイズの 1 ページ当たりのメモリー容量は、次のとおりです。

単位 :kbyte

A3 縦	B4 縦	A4 縦
8145	6079	4001

参照

- プリンター設定リストの印刷方法については、「6.3.2　レポート / リストの印刷方法」の「プリンター設定リストの場合」を参照してください。
- ページバッファの容量は、CentreWare　Internet　Services を使っても確認できます。CentreWare Internet Services については、「6.5 コンピューターからプリンターを設定する（CentreWare Internet Services)」を参照してください。

フォントキャッシュメモリー

アウトラインフォントデータの保管に使うメモリー容量を設定します。

PS 使用メモリー

PostScript の使用メモリー容量を設定します。この項目は、オプション品の PostScript ソフトウェアキットを装着している場合に表示されます。

受信バッファメモリー

コンピューターからの受信データを一時的に蓄積するための領域です。複数のポートからのデータを同時に受信するために、ポートごとに受信バッファを用意しています。受信バッファには、次の種類があります。

- パラレル用受信バッファ
- lpd 用受信バッファ
- NetWare 用受信バッファ
- SMB 用受信バッファ
- Salutation 用受信バッファ
- EtherTalk 用受信バッファ
- IPP 用受信バッファ
- Port9100 用受信バッファ

受信バッファ容量を増やすと、印刷処理が速くなることがあります。印刷するデータの量に応じて、バッファ容量を調整してください。また、使用していないポートは、ポート状態を停止にして、ほかの用途向けにメモリーを割り当てることをお勧めします。

補足

- NetWare 用の受信バッファは、通常は工場出荷時の値で十分です。
- EtherTalk 用の受信バッファは、なるべく多くの領域を確保することをお勧めします。この項目は、オプション品の PostScript ソフトウェアキットを装着している場合に設定できます。

また、lpd、SMB、IPP では、スプール処理を指定できます。
スプールには、ノンスプールモードとスプールモードがあります。工場出荷時は、ノンスプールモード（【シナイ】）に設定されています。

ノンスプールモード

アプリケーションから出力された印刷データを、本機側で受信しながら印刷処理を行うモードです。本機がコンピューターからの印刷要求を処理している場合、ほかのコンピューターからの印刷要求は受け付けません。

スプールモード
アプリケーションから出力された印刷データを、一時的に本機側のスプールファイルに格納して印刷処理をするモードです。印刷データのスプール後の処理はすべて本機側で行われるので、コンピューターのアプリケーションが早く解放されます。複数のコンピューターからの要求を同時に処理できます。
スプールには、スプールファイルの格納先に応じて、【メモリ】（本機内のメモリーを使った RAM ディスクに格納する）と【ハードディスク】（本機に装着された内蔵増設ハードディスク装置に格納する）があります。
【メモリ】を指定した場合、設定した容量を超えるデータは受信できません。スプール用の領域を 32Mbyte 以上確保したい場合は、オプションの内蔵増設ハードディスク装置を装着し、【ハードディスク】を指定してください。

補足

- IPP は、【メモリ】の設定はできません。
- 【ハードディスク】を指定しているときに、内蔵増設ハードディスク装置が取り外された場合や、起動時に内蔵増設ハードディスク装置の故障を検出した場合は、ノンスプールモードに設定されます。

ART ユーザー定義メモリー

ART ユーザー定義で使うメモリー容量を設定します。ユーザーが定義するデータ（外字やマクロデータなど）を登録できます。

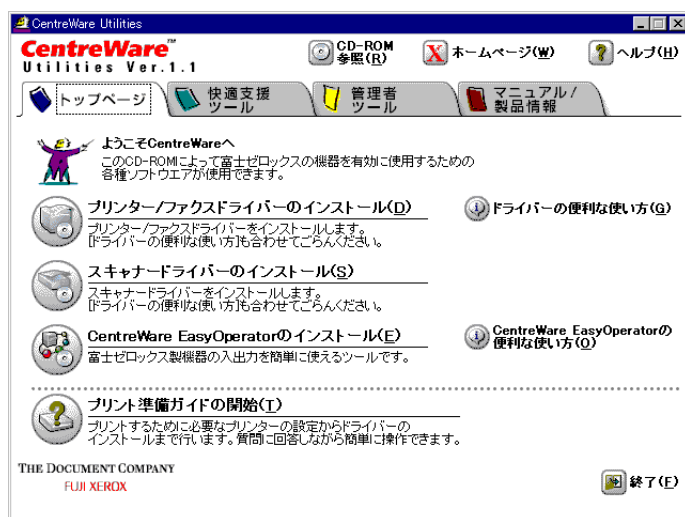
フォームデータメモリー (HP-GL/2 スプール)

HP-GL/2 エミュレーションモードのオートレイアウト機能で使用するメモリー容量を設定します。
この項目は、オプションの内蔵増設ハードディスク装置を装着している場合には表示されません。

3章

プリンタードライバーを インストールする

3.1 概要

コンピューターから印刷するために、プリンタードライバーをインストールします。プリンタードライバーとは、コンピューターからの印刷データや印刷指示を、本機が処理できるデータに変換するソフトウェアです。
ここでは、同梱されている CentreWare Utilities の CD-ROM を使って、インストールメニューから プリンタードライバーをインストールする方法を説明します。

補足
本書で記載している CentreWare Utilities は、Ver.1.1 です。動作環境および表示される画面や手順は、今後のバージョンアップによって変更される可能性があります。異なるバージョンをお使いのかたは、同梱されている CD-ROM 内の説明書を参照してください。

3.1.1 対象 OS とシステム環境

CentreWare Utilities の動作環境は、次のとおりです。

サポートしている OS 環境

- Microsoft® Windows® 95 Operating System 日本語版（ServicePack 1以上）
- Microsoft® Windows® 98 Operating System 日本語版
- Microsoft® Windows® Me Operating System 日本語版
- Microsoft® Windows NT® Workstation 4.0 日本語版（ServicePack4 以上）
- Microsoft® Windows NT® Server 4.0 日本語版（ServicePack 4 以上）
- Microsoft® Windows® 2000 Professional 日本語版（ServicePack 1を含む）
- Microsoft® Windows® 2000 Server 日本語版（ServicePack 1を含む）
- Microsoft® Windows® XP Professional 日本語版
- Microsoft® Windows® XP Home Edition 日本語版

必要なシステム環境

- CPU　：Pentium 133MHz 以上の PC/AT 互換機
- ハードディスク空き容量　：40Mbyte 以上
- RAM　：32Mbyte 以上
- ビデオディスプレイ　：VGA 以上（推奨：800 × 600 以上）

補足

- ［プリンタの追加］ウィザードからもプリンタードライバーをインストールできます。同梱されている CD-ROM 内の「Art」フォルダーを開き、お使いの OS に合わせて、「Nt40」フォルダー（Windows NT 4.0 用）、「Win2000_XP」フォルダー（Windows 2000、Windows XP 用）、または「Win9x_Me」フォルダー（Windows 95、Windows 98、Windows Me 用）を選択してください。
- IPP を使用してインターネット印刷をする場合は、インストールメニューからプリンタードライバーをインストールできません。［プリンタの追加］ウィザードを使ってインストールします。手順は、同梱されている CD-ROM 内の説明書を参照してください。
- Port9100を使用して印刷する場合の手順については、同梱されているCD-ROM内の説明書を参照してください。

3.1.2　ネットワークサーバー環境

ネットワークサーバーを介して印刷したり、「プリンターネームサービス」を動作させたりするためには、次の環境が必要です。

サポートしているネットワークサーバー（OS）環境

- Novell NetWare® 3.12J/3.2J/4.11J/4.2/5/5.1
- Microsoft Windows NT Workstation 4.0 日本語版（ServicePack4 以上）
- Microsoft Windows NT Server 4.0 日本語版（ServicePack 4 以上）
- Microsoft Windows 2000 Professional 日本語版　（ServicePack １を含む）
- Microsoft Windows 2000 Server 日本語版　（ServicePack １を含む）
- Microsoft Windows XP Professional 日本語版

必要なシステム環境

- ネットワーク環境の設定が済んでいること
- CPU　：Pentium 133MHz 以上の PC/AT 互換機
- ハードディスク空き容量　：プリンターネームサービスをインストールする場合は 4Mbyte 以上
- RAM　：64Mbyte 以上（NetWare5.1 を使っている場合は 96Mbyte 以上）
- ビデオディスプレイ　：VGA 以上（推奨：800 × 600 以上）

参照
プリンターネームサービスとは、Windows NT 4.0、Windows 2000、Windows XP 上で、TCP/IP（または lpr）接続された共有プリンターのポートやキュー情報と、プリンターを関連づけるツールです。
Windows NT 4.0、Windows 2000、Windows XP 上の共有プリンターを使用するユーザーの中に、Windows 95、Windows 98、Windows Me のユーザーがいる場合は、ワークグループ、またはドメインにひとつの割合で、このツールをインストールします。プリンターネームサービスの詳細については、同梱されている CD-ROM 内の説明書を参照してください。

3.1.3 プリンタードライバーをインストールする前の確認

TCP/IP プロトコルを使用して印刷する場合は、プリンタードライバーをインストールする前に、次のことを確認してください。

Windows 95、Windows 98、Windows Me の場合

lpd ポートを使用して印刷する場合、コンピューター側では弊社製「TCP/IP Direct Print Utility（TCP/IP プロトコル）」を使用します。TCP/IP Direct Print Utility は、プリンタードライバーと同時にインストールされます。TCP/IP Direct Print Utility をインストールする前に、コンピューターに「TCP/IP プロトコル」がインストールされていることを確認します。インストールされていない場合は、Windows 95、Windows 98、Windows Me に付属の説明書を参照してインストールしてください。

Windows NT 4.0 の場合

lpd ポートを使用して印刷する場合、コンピューターに「TCP/IP プロトコル」と「Microsoft TCP/IP 印刷」がインストールされていることを確認します。インストールされていない場合は、Windows NT 4.0 に付属の説明書を参照してインストールしてください。

Windows 2000、Windows XP の場合

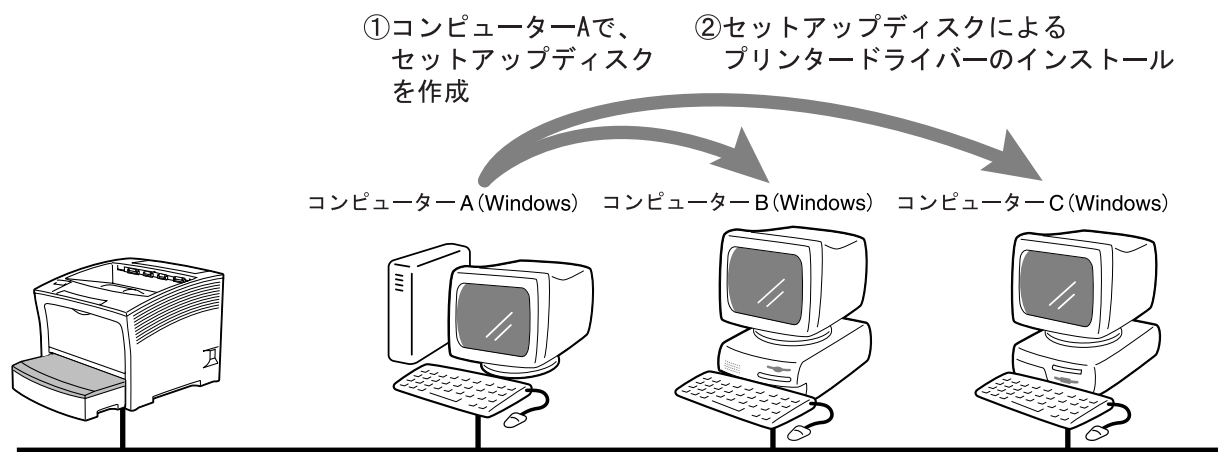
Windows 2000、Windows XP では OS 標準の lpr ポートを使用します。
コンピューターに「インターネットプロトコル（TCP/IP)」がインストールされていることを確認します。インストールされていない場合は、Windows 2000、Windows XP に付属の説明書を参照してインストールしてください。

3.1.4 プリンタードライバーのインストール方法について

CentreWare Utilitiesを使用したプリンタードライバーのインストールには、次の6つの方法があります。
使用環境に合った方法を選択し、インストールしてください。

- **TCP/IP(lpd)を使用して印刷する場合**
  「3.2.1 ネットワーク上のプリンターを自動で追加する場合」を参照してください。
- **Windows NT 4.0、Windows 2000、Windows XP上の共有プリンターを使用して印刷する場合、またNetWareサーバーを経由して印刷する場合**
  「3.2.2 共有/NetWareサーバー上のプリンターを使用する場合」を参照してください。
- **ローカルプリンターに印刷する場合**
  「3.2.3 ローカルプリンターを使用する場合」を参照してください。
- **SMBを使用して印刷する場合**
  同梱されているCD-ROM内の説明書を参照してください。
- **IPPを使用してインターネット印刷をする場合**
  同梱されているCD-ROM内の説明書を参照してください。
- **Port9100を使用して印刷する場合**
  同梱されているCD-ROM内の説明書を参照してください。

同一設定のプリンタードライバーを複数のコンピューターにインストールする場合は

「セットアップディスク作成ツール」で作成したドライバーファイルを、フロッピーディスクやネットワーク上のサーバーなどを使って、各ユーザーのコンピューターにコピーし、プリンタードライバーをインストールできます。
これによって、複数のコンピューターに同一の設定のプリンタードライバーをインストールする管理者の作業が軽減できます。

補足
セットアップディスクの作成方法や、セットアップディスクを使ったインストール方法については、同梱されているCD-ROM内の説明書を参照してください。

3.1.5 プリンタードライバーのアンインストールについて

CentreWare Utilities では、インストールしたプリンタードライバーをコンピューターから削除（アンインストールといいます）するツールを提供しています。プリンタードライバーのアンインストールについては、同梱されているCD-ROM内の説明書を参照してください。

補足
TCP/IP Direct Print UtilityをWindows 95、Windows 98、またはWindows Meから削除する場合は、同梱されているCD-ROMをドライブにセットし、[CD-ROMの参照] をクリックします。表示された画面から、「dpu」フォルダーの「Win9x」フォルダーを選択し、その中にある、「readme.txt」を参照して、削除してください。

3.2 プリンタードライバーをインストールする

「3.1.4 プリンタードライバーのインストール方法について」を参照し、使用環境に合った方法を選択し、インストールしてください。

3.2.1 ネットワーク上のプリンターを自動で追加する場合

コンピューターから、ネットワーク上の TCP/IP、または lpd 接続されたプリンターに出力する場合の、プリンタードライバーをインストールする手順について説明します。
この方法では、お使いのコンピューターと同じサブネットで TCP/IP または lpd 接続されたプリンターが自動で検索されます。
検索されたすべてのプリンターの設定を、1 回の操作で同時に行うことができます。

補足

- Windows 95、Windows 98、Windows Me の場合は、弊社製の TCP/IP Direct Print Utility も同時にインストールされます。
- Windows NT 4.0、Windows 2000、Windows XP の場合は、OS 標準の LPR ポートを使用します。

注記

DHCP サーバーでプリンターの IP アドレスを設定している場合は、プリンタードライバーをインストールしたあとに、印刷先のポートがプリンター設定リストの「Interfaces」の「SMB：ホスト名」に記載されたホスト名になっているかを確認してください。

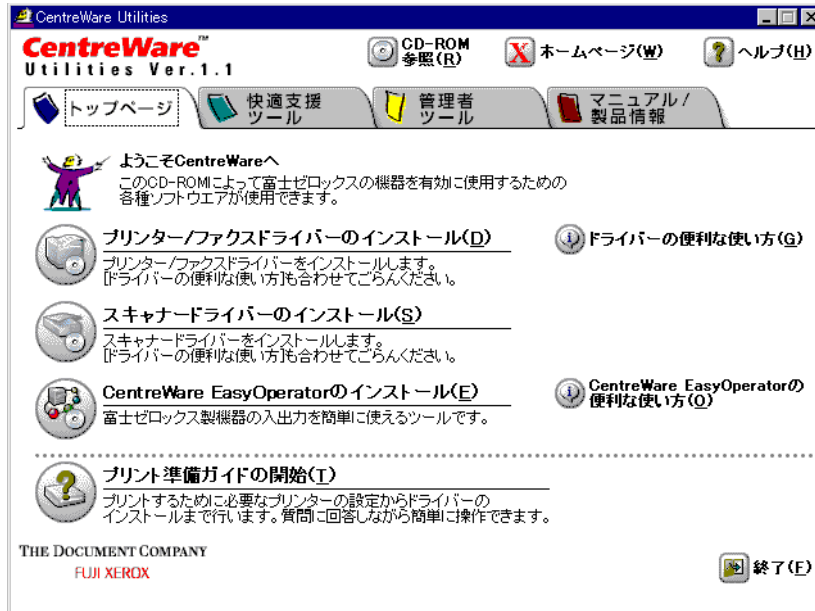
操作手順

1 同梱されている CD-ROM を、お使いのコンピューターの CD-ROM ドライブにセットします。

インストールメニューが起動します。

補足

Windows の設定によっては、インストールメニューが自動的に起動しません。その場合は、同梱されている CD-ROM 内の「Launcher.exe」を実行してください。

2 **[プリンター/ファクスドライバーのインストール] をクリックします。**

［セットアップ方法の選択］ダイアログボックスが表示されます。

補足

Windows 95、Windows 98、Windows　Me に TCP/IP プロトコルが組み込まれていない状態で、CD-ROM から TCP/IP Direct Print Utility をセットアップすると、「TCP/IP ネットワークを初期化できませんでした。このコンピュータのネットワークを再設定してからツールを起動してください。」というダイアログボックスが表示されます。また、Windows NT 4.0 に TCP/IP 印刷サービスがインストールされていない状態で、CD-ROM からセットアップすると、「Microsoft TCP/IP 印刷サービスがインストールされていません。」というダイアログボックスが表示されます。その場合は、「3.1.3 プリンタードライバーをインストールする前の確認」を参照して、お使いのコンピューターに TCP/IP プロトコルを設定してください。

3 **[標準セットアップ] をクリックします。**

［プリンタ・複合機の選択］ダイアログボックスが表示されます。

同じサブネット内の TCP/IP で接続されたプリンターが検索され、［検索されたプリンタ・複合機］に表示されます。

4 **DocuPrint 360 のチェックボックスがオンになっていることと、その IP アドレスを確認します。このとき、インストールする必要がないプリンターのチェックボックスは、オフにします。確認したら、［次へ］をクリックします。**

補足
追加したいプリンターは、このリストで複数選択できます。

［アプリケーションの選択］ダイアログボックスが表示されます。

<本機が検索されなかった場合>

本機が検索されなかった場合は、本機側の IP アドレスなどのアドレスの設定が正しいこと、エージェントで UDP が起動されていることを確認してください。そのあとで、［再検索］をクリックして、検索し直してください。

補足
各アドレスやポートの起動状態は、プリンター設定リストで確認できます。

また、本機がお使いのコンピューターと異なるサブネットに接続されている場合は、自動で検索されません。次の手順に従ってください。

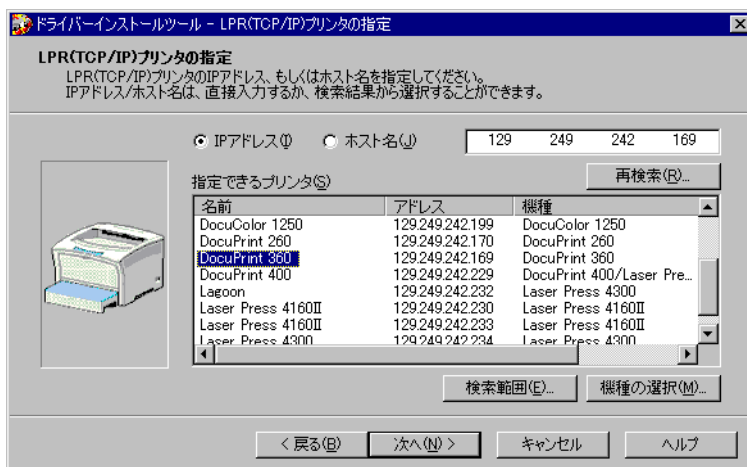
①［戻る］を選択し、［セットアップ方法の選択］ダイアログボックスで［カスタムセットアップ］をクリックします。

②［LPR（TCP/IP）プリンタを指定する］を選択して［次へ］をクリックします。

［LPR（TCP/IP）プリンタの指定］ダイアログボックスが表示されます。

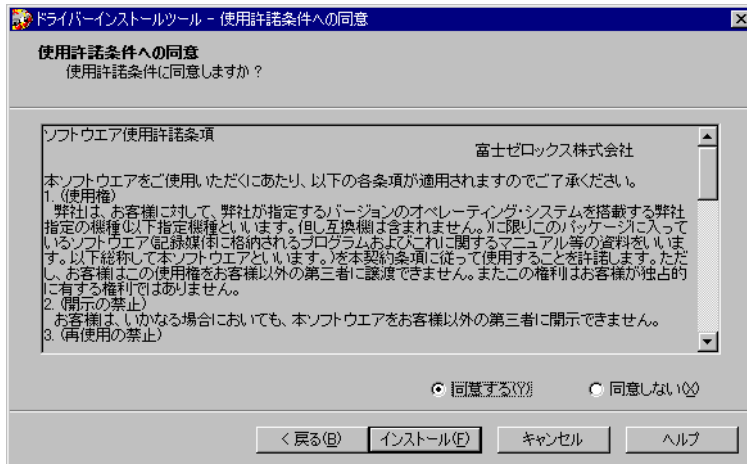
③［検索範囲］をクリックして表示されるダイアログボックスで、サブネットを指定し、［OK］をクリックします。

指定した範囲で検索し直され、［LPR（TCP/IP）プリンタの指定］ダイアログボックスの［指定できるプリンタ］に表示されます。

④[DocuPrint 360] を選択し、[次へ] をクリックします。

⑤[インストールの確認] ダイアログボックスが表示されるので、内容を確認し、[はい] をクリックします。

5 必要に応じてアプリケーションを選択し、[次へ] をクリックします。

[使用許諾条件への同意] ダイアログボックスが表示されます。

6 内容を確認して、[同意する] を選択し、[インストール] をクリックします。

セットアップが始まり、本機のグラフィックと、インストールしているプリンタードライバー名が表示されます。

Windows 95、Windows 98、Windows Me の場合は、TCP/IP Direct Print Utility もインストールされます。セットアップが完了すると [セットアップ完了] ダイアログボックスが表示されます。このドライバーインストールツールでは、本機に装着されているオプションの設定も、自動で行われます。

補足

「デバイスオプションの取得ができませんでした」というメッセージが表示された場合は、インストール終了後に、必ずオプション品の設定をしてください。オプション品の設定は、[スタート] メニューの [設定] から [プリンタ] をクリックし、インストールしたプリンターアイコンのプロパティ画面を開いて、[デバイスの設定] タブで行います。

7 本機を通常使用するプリンターとして設定するかどうかを、[通常使うプリンタの設定] から選択します。

本機を通常使用するプリンターとして設定する場合は、本機を選択します。通常使用するプリンターを現在使用中のプリンターから変更しない場合は、[変更しない] を選択します。

補足

必要に応じて、[追加 / 更新されたプリンタ] に表示された本機を選択し、[共有の設定]、[プリンタ名の変更]、[プロパティ]、[印刷指示の設定] の設定をします。なお、お使いの OS によって選択できないボタンは、グレー表示になっています。

8 ［テスト印刷］をクリックし、本機から印刷できるかどうかを確認します。

9 ［完了］をクリックします。

10 表示された［ドライバーインストールツール］ダイアログボックスで［はい］をクリックし、インストールを終了します。

3.2.2 共有 /NetWare サーバー上のプリンターを使用する場合

Windows NT 4.0、Windows 2000、Windows XP 上の共有プリンターに出力する場合や、NetWare サーバーを経由して印刷する場合のプリンタードライバーをインストールする手順について説明します。

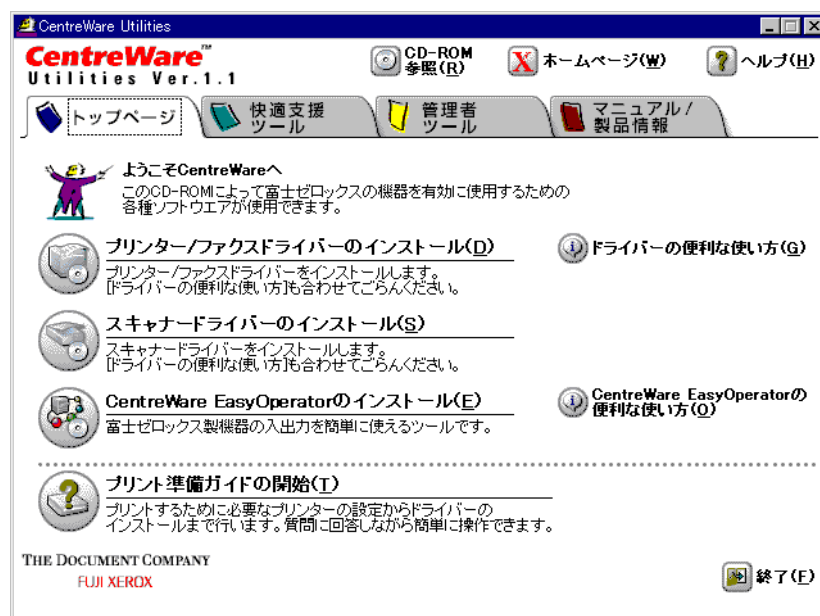
操作手順

1 同梱されている CD-ROM を、お使いのコンピューターの CD-ROM ドライブにセットします。

インストールメニューが起動します。

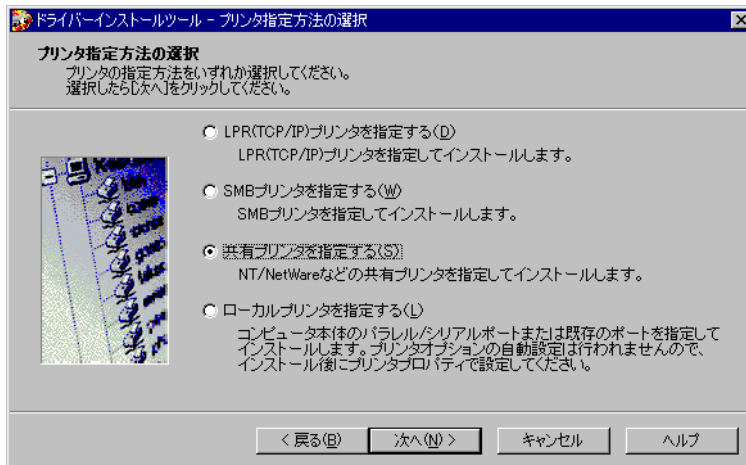
補足

Windows の設定によっては、インストールメニューが自動的に起動しません。その場合は、同梱されている CD-ROM 内の「Launcher.exe」を実行してください。

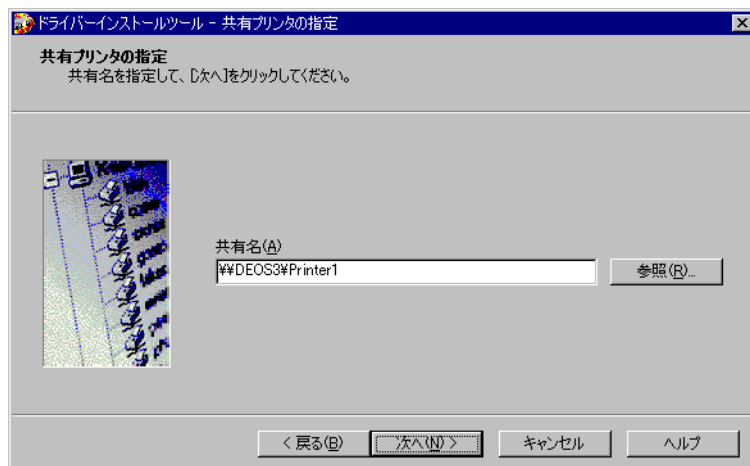
2 ［プリンター/ファクスドライバーのインストール］をクリックします。

［セットアップ方法の選択］ダイアログボックスが表示されます。

3 **［カスタムセットアップ］をクリックします。**

［プリンタ指定方法の選択］ダイアログボックスが表示されます。

4 **［共有プリンタを指定する］を選択して、［次へ］をクリックします。**

［共有プリンタの指定］ダイアログボックスが表示されます。

5 ［共有名］に共有プリンターのパス名を入力するか、［参照］をクリックして共有プリンターを指定し、［次へ］をクリックします。

次の画面は、DEOS3 コンピューター上の共有プリンター「Printer1」を使用する場合の例です。

補足

NetWare サーバーを経由して印刷する場合は、［共有名］に利用するプリントキューのパス名を指定します。

＜［プリンタの指定］ダイアログボックスが表示された場合＞

本機を認識できなかった場合、［プリンタの指定］ダイアログボックスが表示されます。［プリンタの指定］ダイアログボックスが表示された場合は、IP アドレス、ホスト名、IPX アドレス、または機種名を直接指定し、［次へ］をクリックします。

補足

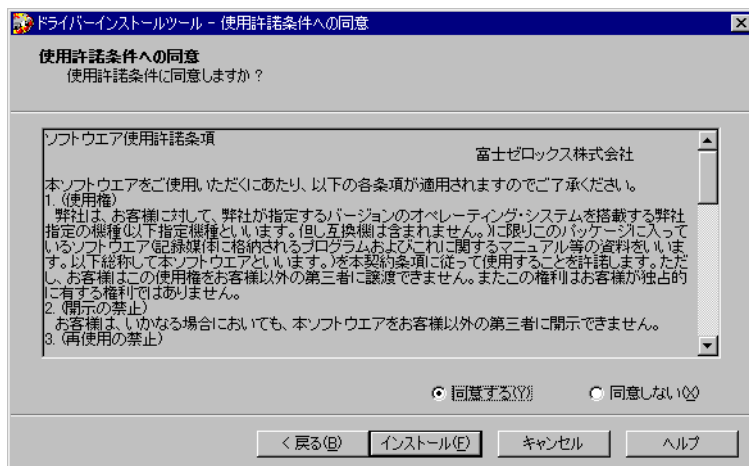
機種名を選択してインストールを行う場合は、本機に装着されているオプションの設定が自動で行われません。インストール終了後に、必ずオプション品の設定をしてください。オプション品の設定は、［スタート］メニューの［設定］から［プリンタ］をクリックし、インストールしたプリンターアイコンのプロパティ画面を開いて、［デバイスの設定］タブで行います。

6 表示された内容を確認し、[はい] をクリックします。

[アプリケーションの選択] ダイアログボックスが表示されます。

7 必要に応じてアプリケーションを選択し、[次へ] をクリックします。

[使用許諾条件への同意] ダイアログボックスが表示されます。

8 内容を確認して［同意する］を選択し、［インストール］をクリックします。

セットアップが始まり、本機のグラフィックとインストールしているプリンタードライバー名が表示されます。

セットアップが完了すると［セットアップ完了］ダイアログボックスが表示されます。

このドライバーインストールツールでは、本機に装着されているオプションの設定も、自動で行われます。

補足

「デバイスオプションの取得ができませんでした」というメッセージが表示された場合は、インストール終了後に、必ずオプション品の設定をしてください。オプション品の設定は、［スタート］メニューの［設定］から［プリンタ］をクリックし、インストールしたプリンターアイコンのプロパティ画面を開いて、［デバイスの設定］タブで行います。

9 本機を通常使用するプリンターとして設定するかどうかを、［通常使うプリンタの設定］から選択します。

本機を通常使用するプリンターとして設定する場合は、本機を選択します。通常使用するプリンターを現在使用中のプリンターから変更しない場合は、［変更しない］を選択します。

補足

必要に応じて、［追加 / 更新されたプリンタ］に表示された本機を選択し、［共有の設定］、［プリンタ名の変更］、［プロパティ］、［印刷指示の設定］の設定をします。なお、お使いのOS によって選択できないボタンは、グレー表示になっています。また、プリンター名も異なる場合があります。

10 **［テスト印刷］をクリックし、本機から印刷できるかどうかを確認します。**

11 **［完了］をクリックします。**

12 **表示された［ドライバーインストールツール］ダイアログボックスで［はい］をクリックし、インストールを終了します。**

3.2.3 ローカルプリンターを使用する場合

ローカルプリンターに印刷する場合の、プリンタードライバーをインストールする手順について説明します。

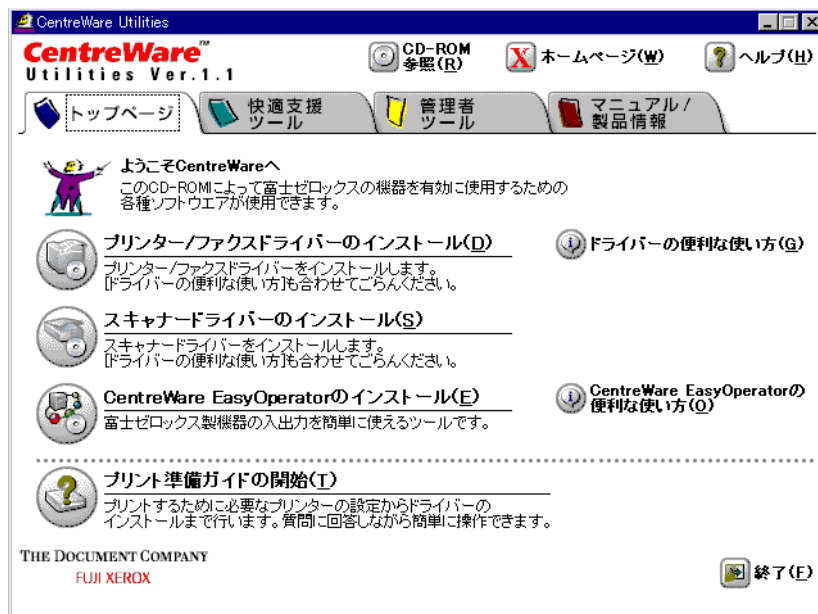
操作手順

1 **同梱されている CD-ROM を、お使いのコンピューターの CD-ROM ドライブにセットします。**

インストールメニューが起動します。

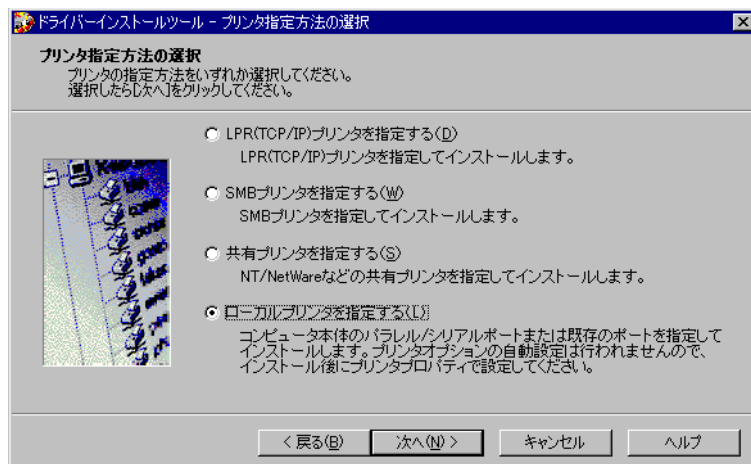
補足

- Windows の設定によっては、インストールメニューが自動的に起動しません。その場合は、同梱されている CD-ROM 内の「Launcher.exe」を実行してください。
- 本機の電源を入れたあとにコンピューターの電源を入れた場合、お使いの OS によって、Windows の起動後、「新しいハードウェアの追加」といった内容のダイアログボックスが表示されることがあります。その場合は、［キャンセル］をクリックして、ダイアログボックスを閉じてください。

2 **[プリンター/ファクスドライバーのインストール] をクリックします。**

［セットアップ方法の選択］ダイアログボックスが表示されます。

3 **[カスタムセットアップ] をクリックします。**

［プリンタ指定方法の選択］ダイアログボックスが表示されます。

4 ［ローカルプリンタを指定する］を選択して、［次へ］をクリックします。

［ローカルプリンタの指定］ダイアログボックスが表示されます。

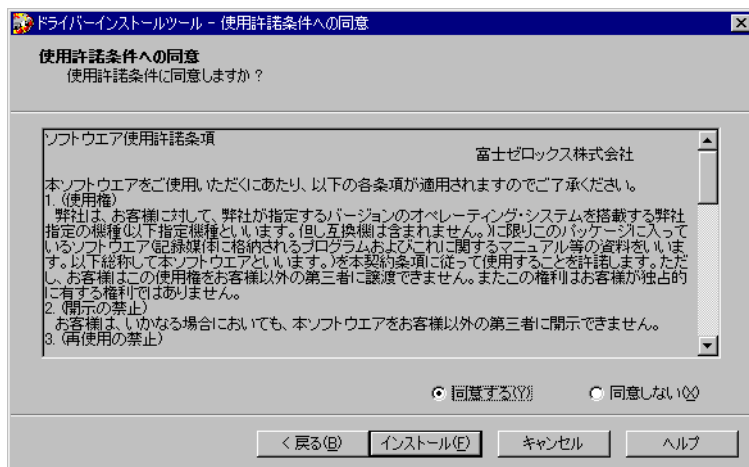
5 ［ポート］から使用するポートを選択し、［機種］から［DocuPrint 360］を選択して［次へ］をクリックします。

次の画面は、本機をパラレルケーブルで「LPT1」ポートに接続している場合の例です。

［アプリケーションの選択］ダイアログボックスが表示されます。

6 必要に応じてアプリケーションを選択し、[次へ] をクリックします。

[使用許諾条件への同意] ダイアログボックスが表示されます。

7 内容を確認して [同意する] を選択し、[インストール] をクリックします。

セットアップが始まり、本機のグラフィックとインストールしているプリンタードライバー名が表示されます。

セットアップが完了すると、[セットアップ完了] ダイアログボックスが表示されます。

8 **本機を通常使用するプリンターとして設定するかどうかを、[通常使うプリンタの設定] から選択します。**

本機を通常使用するプリンターとして設定する場合は、本機を選択します。通常使用するプリンターを現在使用中のプリンターから変更しない場合は、[変更しない] を選択します。

補足

[追加 / 更新されたプリンタ] に表示された本機を選択し、必要に応じて [共有の設定]、[プリンタ名の変更]、[プロパティ]、[印刷指示の設定] の設定をします。なお、お使いの OS によって選択できないボタンは、グレー表示になっています。

9 **ローカルプリンターの場合、本機に装着されているオプションの設定は、自動で行われません。[追加 / 更新されたプリンタ] に表示された本機を選択し、[プロパティ] をクリックします。**

プロパティ画面が表示されます。

補足

装着されているオプションがない場合は、次ページの手順 12 に進んでください。

10 ［デバイスの設定］タブを選択し、本機に装着されているオプションについて設定します。

補足
装着しているオプションについては、プリンター設定リストを印刷し、確認してください。プリンター設定リストの印刷方法については、「6.3.2　レポート / リストの印刷方法」の「プリンター設定リストの場合」を参照してください。

11 ［OK］をクリックして、プロパティ画面を閉じます。

12 ［セットアップ完了］ダイアログボックスの［テスト印刷］をクリックし、本機から印刷できるかどうかを確認します。

13 ［完了］をクリックします。

14 表示された［ドライバーインストールツール］ダイアログボックスで［はい］をクリックし、インストールを終了します。

4章

プリンターの基本操作

4.1 電源を入れる / 切る

本機を使用するには、電源を入れます。電源スイッチを入れてから約 40 秒後（オプションなし、工場出荷時のポートの起動状態）に印刷できる状態になります。
1 日の印刷作業の終わりや長期間本機を使用しないときには、電源を切ってください。

補足

- 電源を切ると、本機のメモリーに蓄積されている印刷データなどの情報が消去されます。
- 電源を入れると、自動的にスタートページが印刷されます (工場出荷時の設定)。スタートページでは、オプション品の装着状況、起動ポートなどについて確認できます。

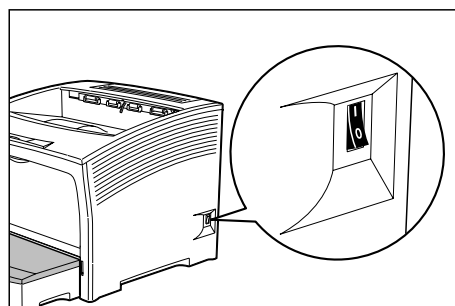
参照

スタートページを印刷しないように設定できます。「6.3.2　レポート / リストの印刷方法」の「スタートページの場合」を参照してください。

4.1.1　電源を入れる

次の手順に従って、電源を入れます。

操作手順

1 **本機の右側面にある電源スイッチの［ | ］の側を押し、電源を入れます。**

2 **電源を入れると、操作パネルのディスプレイに【オマチクダサイ】と表示されます。この表示が【プリントデキマス】に変わります。**

補足

【オマチクダサイ】の表示になっているときは、本機のウォーミングアップ中です。この間は印刷できません。印刷できる状態になると、表示が【プリントデキマス】に変わります。

参照

エラーメッセージが表示された場合には、「7.4 メッセージ一覧 (50 音順)」を参照して対処してください。

プリンターの基本操作

4

4.1.2　電源を切る

次の手順に従って、電源を切ります。

補足

電源を切ると、本機内に残っている印刷データや本機のメモリー上に蓄えられた情報は消去されます。

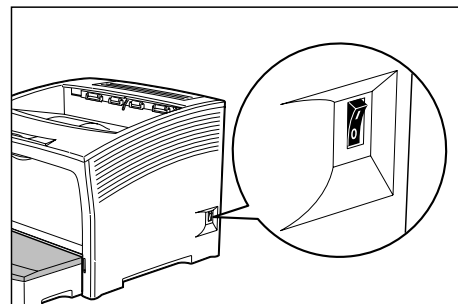
操作手順

1　**操作パネルの表示などから、本機が処理中でないことを確認します。**

プ゜リント デ゛キマス

参照

エラーメッセージが表示されている場合には、「7.4 メッセージ一覧 (50 音順)」を参照して対処してください。

2　**本機の右側面にある電源スイッチの［○］の側を押し、電源を切ります。**

4.2 コンピューターから印刷する

4.2.1 印刷の流れ

Windows の場合

Windows® 環境から印刷をする場合の基本的な流れを説明します。
(使用しているコンピューターやシステム構成によって、異なる場合があります。)

コンピューター側で使用する
アプリケーションを起動する

操作については、アプリケーションの説明書を参照してください。

必要に応じて **メニュー操作をする**

コンピューター側から印刷するデータを送信する前に、操作パネルで次のことを確認してください。

① 共通メニューの【メンテナンスモード】の【ポート状態】で、使用するポート状態を確認する
② 共通メニューの【ポート設定】で、使用するポートの【プリントモード指定】を確認する

参照

操作については、「6.2 共通メニューの設定を変更する」を参照してください。

アプリケーションなどから
印刷を指示する

操作については、アプリケーションの説明書を参照してください。

必要に応じて **印刷を中止する**

参照

操作については、「4.4 印刷を中止する / 確認する」を参照してください。

必要に応じて **排出する**

参照

操作については、「4.5 印刷データを強制排出する」を参照してください。

終了

DOS の場合

DOS 環境から印刷する場合の基本的な流れを説明します。
（使用しているコンピューターやシステム構成によって、異なる場合があります。）

コンピューター側で使用する
アプリケーションを起動する

操作については、アプリケーションの説明書を参照してください。

必要に応じて　**メニュー操作をする**

コンピューター側から印刷するデータを送信する前に、次のことを確認してください。

① 共通メニューの【メンテナンスモード】の【ポート状態】で、使用するポート状態を確認する
② 共通メニューの【ポート設定】で、使用するポートの【プリントモード指定】を確認する

参照

操作については、「6.2 共通メニューの設定を変更する」を参照してください。

③ 使用するエミュレーションのモードメニューで、印字方法（例：倍率）の設定を確認する

参照

操作については、同梱されている CD-ROM 内の説明書を参照してください。

アプリケーションなどから
印刷を指示する

操作については、アプリケーションの説明書を参照してください。

必要に応じて　**印刷を中止する**

参照

操作については、「4.4 印刷を中止する / 確認する」を参照してください。

必要に応じて　**排出する**

参照

操作については、「4.5 印刷データを強制排出する」を参照してください。

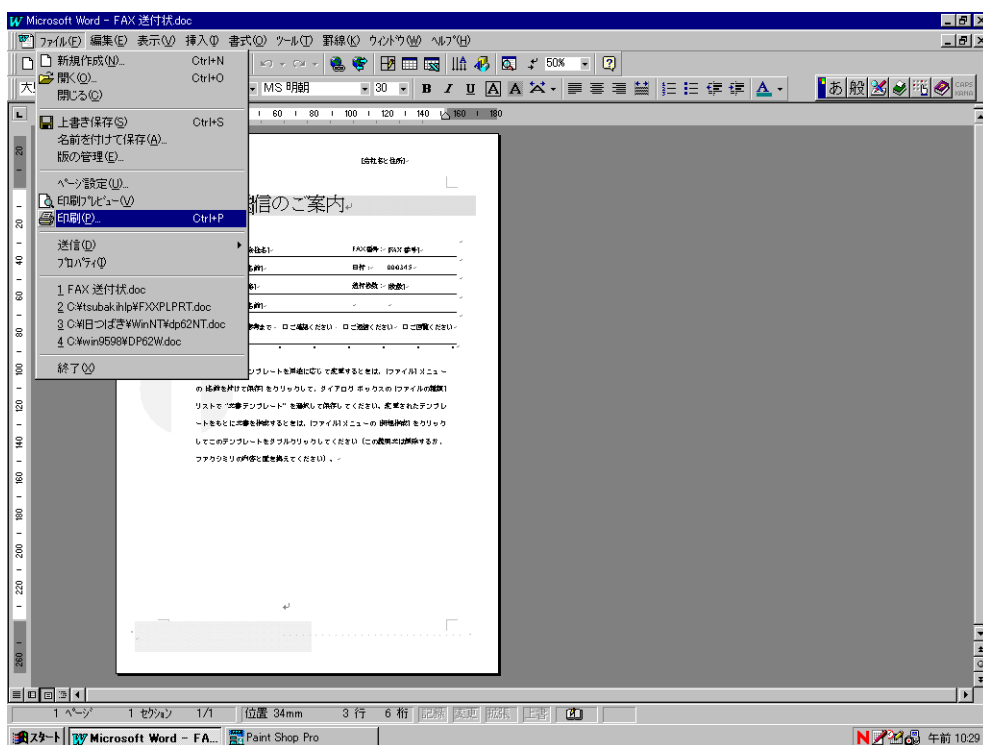
終了

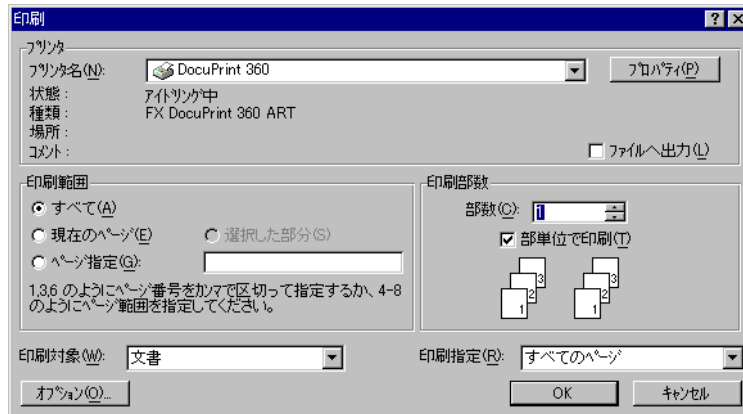
4.2.2　印刷する

コンピュータ上のアプリケーションで作成した文書の、印刷手順について説明します。
ほとんどのアプリケーションでは、[印刷 (プリント)] コマンドを選択するだけで、印刷できます。
Windows® 98 の Microsoft® Word 97 で作成した A4 サイズの文書を、A4 サイズの用紙に等倍で印刷する例で説明します。

補足
- ダイアログボックスの各タブの設定は、初期値であることを前提とします。
- 印刷の設定をするためのダイアログボックスの表示方法や内容は、使用しているコンピューターの OS やアプリケーションによって異なります。各アプリケーションの説明書を参照してください。

操作手順

1　**[ファイル] メニューから [印刷] をクリックします。**

「印刷」ダイアログボックスが表示されます。

2 [プリンタ名] を DocuPrint 360 に設定し、[プロパティ] をクリックします。

3 [用紙] タブをクリックします。

参照

各タブの項目についての詳細は、オンラインヘルプを参照してください。また、オンラインヘルプの使用方法については、「4.3 オンラインヘルプを参照する」を参照してください。

4 [原稿サイズ] の▼をクリックし、[A4(210 × 297mm)] を選択します。

5 [OK] をクリックします。

[印刷] ダイアログボックスに戻ります。

6 [OK] をクリックします。

印刷データが DocuPrint 360 に送信されます。

4.3 オンラインヘルプを参照する

オンラインヘルプでは、プリンタードライバー画面に表示されている項目の機能について説明しています。
オンラインヘルプの表示方法は、次のとおりです。ここでは、Windows 98 を例に説明します。

操作手順

1 ［スタート］メニューの［設定］から、［プリンタ］をクリックし、使用するプリンターのプロパティ画面を表示します。

2 使用する機能によって各タブを選択し、[?] をクリックして知りたい機能の項目をクリックします。

4.4 印刷を中止する / 確認する

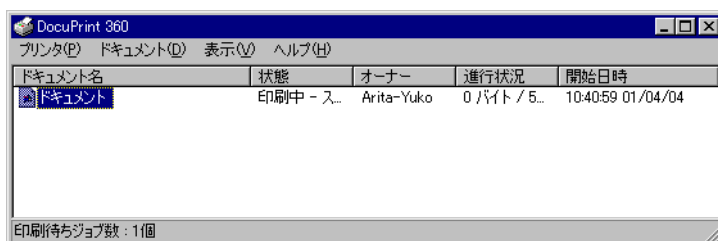
印刷を中止するには、まずコンピューター側で印刷の指示を取り消します。印刷を取り消すことができなかった場合は、プリンター側で取り消します。
また、印刷を指示したジョブの処理状況は、コンピューター側で確認できます。

4.4.1 コンピューター側で印刷を中止する

Windows での取り消し方法

Windows を使用している場合の取り消し方法について説明します。

操作手順

1. ［スタート］メニューの［設定］から、［プリンタ］をクリックします。
2. 該当するプリンターアイコンをダブルクリックします。
3. 表示されたウィンドウから、取り消すドキュメント名をクリックし、キーボードの〈Delete〉キーを押して削除します。

CentreWare Internet Services を使った取り消しについて

CentreWare Internet Services を使用して、本機に指示した印刷データを取り消すことができます。

参照

CentreWare Internet Services については、「6.5 コンピューターからプリンターを設定する（CentreWare Internet Services)」を参照してください。

プリンターの基本操作

4

4.4.2　プリンター側で印刷を中止する

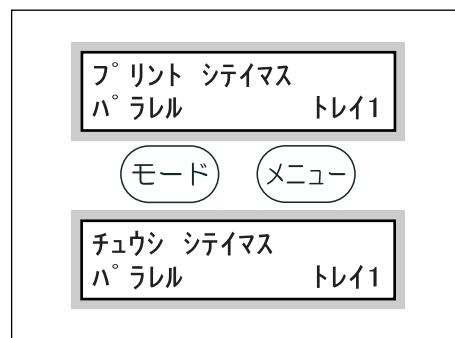
処理中のジョブを中止する

本機側で処理中のジョブの印刷を中止する方法は、次のとおりです。
ただし、印刷中のページは印刷されます。

操作手順

1 **右記のメッセージが表示されている状態で、〈モード〉と〈メニュー〉を同時に押します。**

中止の処理が行われます。

処理が終了すると、【プリントデキマス】と表示されます。

プリンター内のすべてのジョブを中止する

本機に受信されているすべてのジョブに対して、印刷を中止する方法は、次のとおりです。
この操作によって、データの受信を中断し、バッファを空の状態にできます。

補足

バッファとは、コンピューターから送信されたデータを蓄えておく場所のことです。

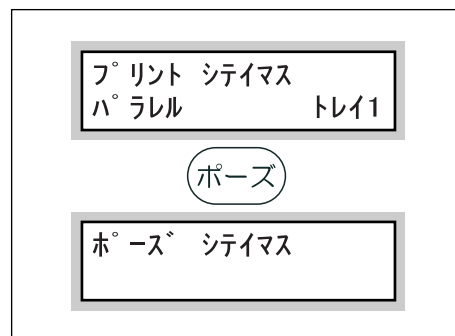
参照

バッファを空にするには、本機内のすべてのジョブを実行して印刷する方法もあります。詳しくは、「4.5.2 プリンター内のすべてのジョブを排出する」を参照してください。

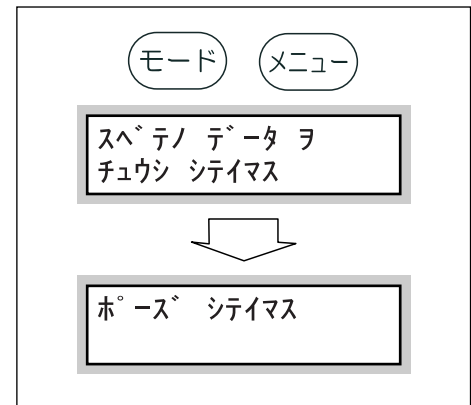
操作手順

1 **右記のメッセージが表示されている状態で〈ポーズ〉を押します。**
ポーズ状態になります。

補足

〈ポーズ〉を押すと、本機は自動的にデータの受信ができない状態になります。

2 **(モード)と(メニュー)を同時に押します。**

中止の処理が行われます。

処理が終了すると、【ポーズシテイマス】と表示されます。

3 **(ポーズ)を押します。**

【プリントデキマス】と表示されます。

4.4.3 印刷を指示したジョブの状態を確認する

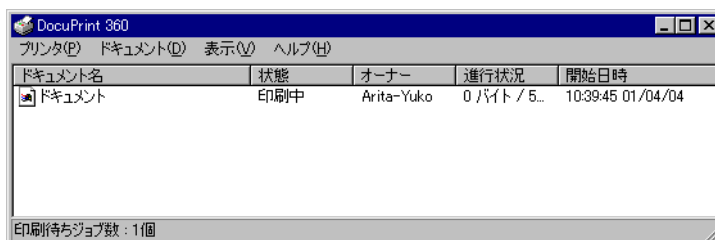
Windows での確認方法

Windows を使用している場合の確認方法について説明します。

操作手順

1 **［スタート］メニューの［設定］から、［プリンタ］をクリックします。**

2 **該当するプリンターアイコンをダブルクリックします。**

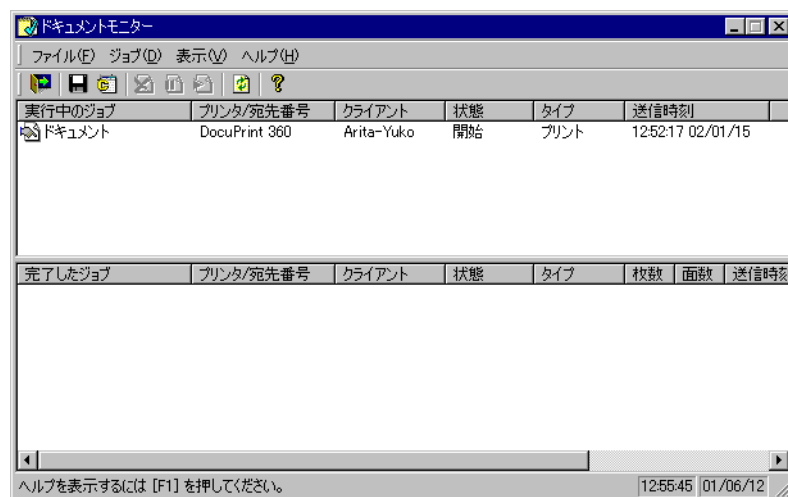
3 **表示されたウィンドウの［状態］を確認します。**

CentreWare Internet Servicesを使った確認について

CentreWare Internet Services を使用して、本機に印刷を指示したジョブの状態を確認できます。

参照

CentreWare Internet Servicesについては、「6.5 コンピューターからプリンターを設定する（CentreWare Internet Services)」を参照してください。

プリンターモニターを使った確認について

プリンターモニターとは、コンピューター上で自分が印刷を指示したジョブや、本機の状態を確認できるツールです。このツールは、同梱されているCD-ROMからコンピューターにインストールして使用します。

プリンターモニターでは、次のことができます。

- 登録したプリンターに対して、印刷を指示したジョブの状態を表示する（［ドキュメントモニター］ウィンドウに表示されます)。
- 印刷指示をしたジョブの一時停止、再開、削除を行う。
- 印刷指示をしたジョブの実行中に、本機で発生したエラーを表示する。

参照

プリンターモニターのインストール方法については、CD-ROM内の説明書を参照してください。

4.5 印刷データを強制排出する

排出には、次の 2 種類があります。

- **残ったデータを強制排出する場合** 参照 「4.5.1」
- **プリンター内のすべてのジョブを排出する場合** 参照 「4.5.2」

4.5.1 残ったデータを強制排出する

201H、ESC/P、HP-GL/2 のエミュレーションモードでは、1 ページ分のデータがすべてそろうまでデータは排出されません。データの最後がページの途中で終了してしまうと、「自動排出時間」で設定されている時間が経過するまで次のデータ待ちになり、[オンライン] ランプと [処理中] ランプが点灯したままになります。
強制排出は、このようなときに自動排出時間を待たないで、本機内のデータを強制的に印刷する操作です。

補足
パラレルインターフェイスの場合、前のジョブが続きのデータを待っている間に次のジョブを送信すると、正常に印刷されない場合があります。
次のジョブは、強制排出後、または自動排出時間の経過後に送信してください。

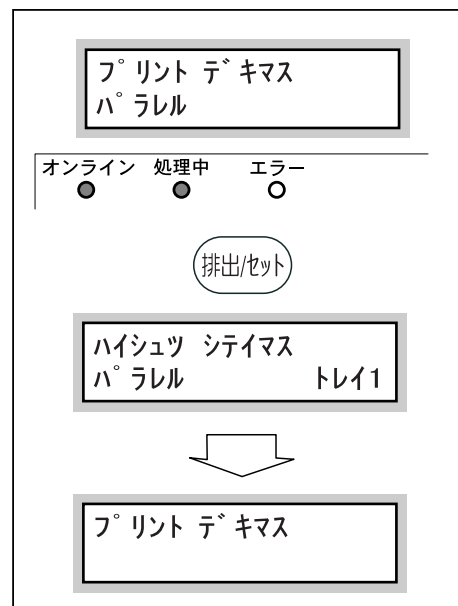
参照
自動排出時間については、「6.2 共通メニューの設定を変更する」を参照してください。

操作手順

1 **[オンライン] ランプと [処理中] ランプが点灯している状態で、(排出/セット)を押します。**

印刷が開始されます。

印刷が終了すると、【プリントデキマス】と表示されます。

プリンターの基本操作 4

4.5.2　プリンター内のすべてのジョブを排出する

本機が受信しているすべてのジョブを実行して印刷します。
この操作によって、データの受信を中断し、バッファを空の状態にすることができます。

参照

バッファを空の状態にするには、本機内のすべてのジョブを消去する方法もあります。消去する方法については、「4.4 印刷を中止する / 確認する」を参照してください。

操作手順

1 右記のメッセージが表示された状態で（ポーズ）を押します。

ポーズ状態になります。

補足

（ポーズ）を押すと、本機は自動的にデータの受信ができない状態になります。

2 （排出/セット）を押します。

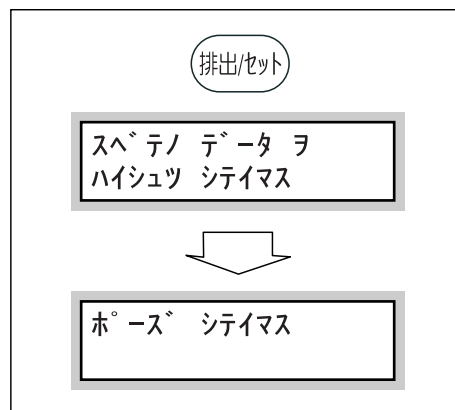
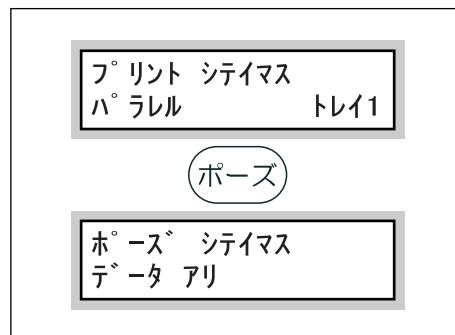
印刷が開始されます。

すべてのジョブを実行して印刷すると、【ポーズシテイマス】と表示されます。

補足

パラレルインターフェイスの場合、手順 1 の（ポーズ）を押すタイミングによって、データ受信がジョブの途中になることがあります。
この場合、それ以降のデータは（排出/セット）を押したあと、新しいジョブとして認識され、手順 3 のポーズ解除後、新しいジョブとして処理されます。

プリンターの基本操作

4

3 (ポーズ)を押します。

【プリントデキマス】と表示されます。

補足

ここでのポーズ解除後、新しいジョブとして処理されるデータは、共通メニューの【プリントモード指定】で【AUTO】が設定されている場合、正常に印刷されないことがあります。

参照

【プリントモード指定】については、「6.2 共通メニューの設定を変更する」を参照してください。

4.6 印刷機能の設定について

4.6.1　印刷機能を設定する

ほとんどの印刷機能は、アプリケーションから印刷するときに表示するプロパティや、コンピューターにインストールしたプリンターアイコンのプロパティ画面で、各タブを切り替えながら設定します。
各機能の説明ついては、プリンタードライバーのオンラインヘルプを参照してください。

補足

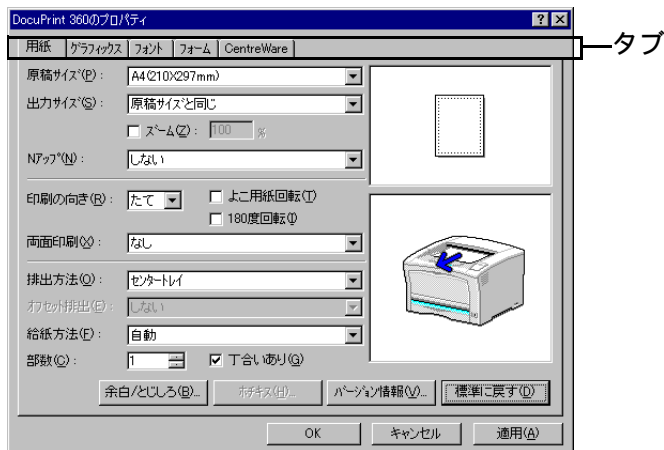
- オンラインヘルプの使い方については、「4.3　オンラインヘルプを参照する」を参照してください。
- オプション品を装着している場合は、プリンターのプロパティを開いて設定を変更してください。設定を行わないと、グレー表示されて使用できない機能があります。

参照

オプション品の設定については､「4.7　オプション品の構成について」を参照してください。

プロパティ画面

［スタート］メニューの［設定］から、［プリンタ］をクリックし、プリンターアイコンのプロパティ画面を表示した場合（Windows 98 の場合）

アプリケーションからの印刷設定で本機のプロパティ画面を表示した場合（Windows 98 のワードパッドの場合）

4.7 オプション品の構成について

DocuPrint 360 を設置したあとで、次のオプション品を追加した場合は、プリンタードライバーの設定を変更する必要があります。

補足

ここでは、オプション品の取り付けは完了していることを前提に説明します。

参照

- オプション品の取り付け手順については、オプション品に同梱されている説明書を参照してください。
- オプション品については、「付録 C オプション品と消耗品の紹介」を参照してください。

□ 大容量給紙モジュール
□ 内蔵増設ハードディスク装置
□ ペーパーフィーダー (用紙カセット A3/A4 対応)

オプション品の構成を変更する

Windows 98 の手順を例に説明します。

補足

プリンタードライバーなどでは、本機標準の用紙カセットを「トレイ 1」と、2 段めに追加された用紙カセットを「トレイ 2」、3 段めに追加された用紙カセットを「トレイ 3」と説明していることがあります。

操作手順

1 [スタート] メニューの [設定] から、[プリンタ] をクリックします。

「プリンタ」ウィンドウが表示されます。

補足

Windows® XP の場合は、[スタート] メニューの [プリンタと FAX] をクリックします。

2 本機のプリンターアイコンを選択し、[ファイル] メニューから [プロパティ] をクリックします。

「プロパティ」ダイアログボックスが表示されます。

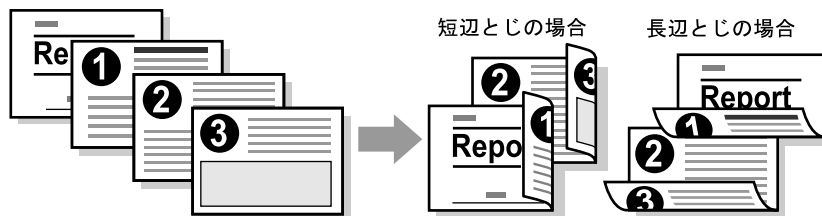
3 [デバイスの設定] タブをクリックします。

4 追加したオプションをクリックし、該当する構成を選択して [OK] をクリックします。

5章

印刷する

5.1 両面印刷をする

両面印刷には、「長辺とじ」と「短辺とじ」があります。とじる辺に合わせて、どちらかを選択します。長辺とじは用紙の長辺、短辺とじは用紙の短辺を軸に、おもてとうらのイメージの上方向が一致するように印刷されます。

補足

- 両面印刷をするときは、アプリケーション固有の印刷ダイアログボックスで、ページをそろえて印刷する機能を指定しないでください。（例：［部単位で印刷］、［丁合］など）
- 両面印刷ができる用紙サイズは、最小：A5、最大：A3または 11 × 17"です。
- 穴あき用紙を使って両面印刷する場合は、穴がない方を給紙口に向けてセットしてください。

ここでは、Windows 98 のワードパッドを例に手順を説明します。

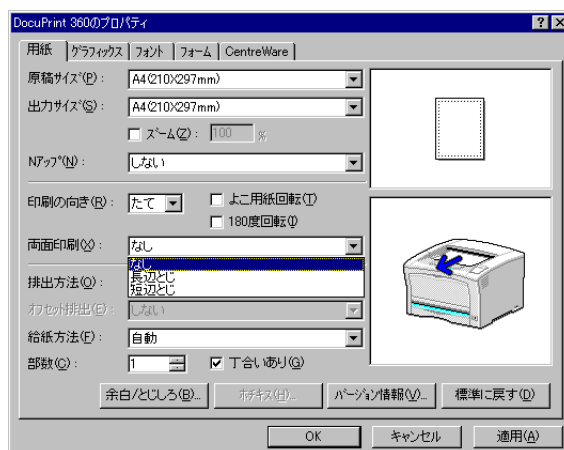
補足

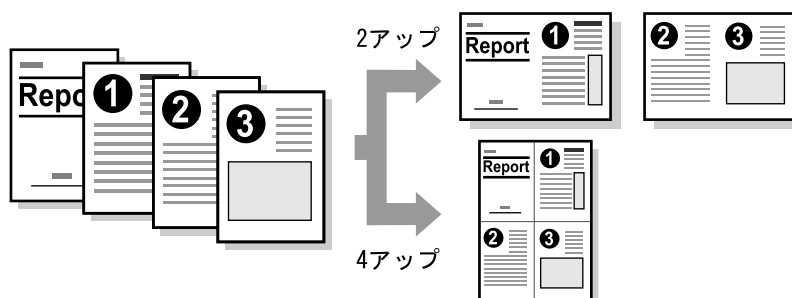
- プリンターのプロパティ画面の表示方法は、アプリケーションによって異なります。各アプリケーションの説明書を参照してください。
- ［デバイスの設定］タブの［両面ユニット］が［なし］に設定されていると、両面印刷の指定はできません。

操作手順

1. **［ファイル］メニューから、［印刷］を選択します。**
2. **［プリンタ名］を確認し、［プロパティ］をクリックします。**
3. **［用紙］タブをクリックします。**
4. **［両面印刷］から、［短辺とじ］または［長辺とじ］を選択します。**
5. **［OK］をクリックしてプロパティ画面を閉じ、印刷を実行します。**

印刷する

5

5.2 複数のページの原稿をまとめて 1 枚に印刷する (N アップ)

連続する 2 ページ、または 4 ページ分の原稿を、1 枚の用紙にまとめて印刷します。この機能を「N アップ」といいます。
まとめて 1 枚に印刷するページ数とページ配置を、[N アップ] の一覧から選択します。

補足

- まとめて 1 枚に印刷するときは、アプリケーション固有の印刷ダイアログボックスで、ページをそろえて印刷する機能を指定しないでください。（例：[部単位で印刷]、[丁合] など）
- [印刷の向き] に合わせてページ配置が決まります。原稿の向きと [印刷の向き] が合っていないと、正しく印刷されないことがあります。

ここでは、Windows 98 のワードパッドを例に手順を説明します。

補足

プリンターのプロパティ画面の表示方法は、アプリケーションによって異なります。各アプリケーションの説明書を参照してください。

操作手順

1 **[ファイル] メニューから、[印刷] を選択します。**

2 **[プリンタ名] を確認し、[プロパティ] をクリックします。**

3 **[用紙] タブをクリックします。**

4 **[出力サイズ] から印刷する用紙サイズ（[原稿サイズと同じ] 以外）を選択します。**

5 **[N アップ] から、1 枚にまとめるページ数と配置の順番を選択します。**

6 **[OK] をクリックしてプロパティ画面を閉じ、印刷を実行します。**

印刷する
5

5.3 拡大 / 縮小して印刷する

印刷に使用する用紙サイズを指定すると、その用紙にちょうど原稿が収まるように、自動的に拡大 / 縮小して印刷されます。また、任意の倍率を指定して、拡大 / 縮小することもできます。

補足
N アップ機能を指定している場合は、任意の倍率（ズーム）は指定できません。

ここでは、Windows 98 のワードパッドを例に手順を説明します。

補足
プリンターのプロパティ画面の表示方法は、アプリケーションによって異なります。各アプリケーションの説明書を参照してください。

操作手順

1 **［ファイル］メニューから、［印刷］を選択します。**

2 **［プリンタ名］を確認し、［プロパティ］をクリックします。**

3 **［用紙］タブをクリックします。**

4 **［原稿サイズ］で印刷するファイルの原稿サイズを、［出力サイズ］で印刷に使用する用紙のサイズを指定します。**

自動的に原稿サイズが出力用紙サイズに拡大 / 縮小されます。

任意に拡大 / 縮小する場合は、［ズーム］チェックボックスをオンにして、倍率を入力します。

倍率は、25 ～ 400% の間で、1% 刻みに指定できます。

5 **［OK］をクリックしてプロパティ画面を閉じ、印刷を実行します。**

5.4 OHPフィルムや厚紙に印刷する

弊社の OHP フィルムや厚紙は、用紙カセット (A3)、用紙カセット (A4)、または手差しトレイにセットして印刷します。

5.4.1 OHP フィルムや厚紙をセットする

A4 サイズの OHP フィルムを、横置きでセットする手順を例に説明します。

補足

用紙上限線を超えて、用紙をセットしないでください。

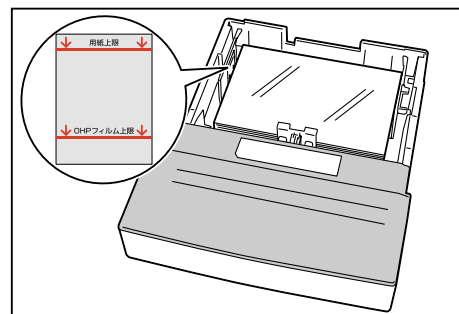
参照

用紙のセット方法の詳細については、「8.2 用紙を補給する / 用紙サイズを変更する」を参照してください。

操作手順

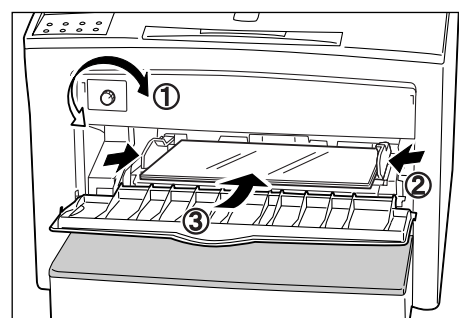
■用紙カセットにセットする場合

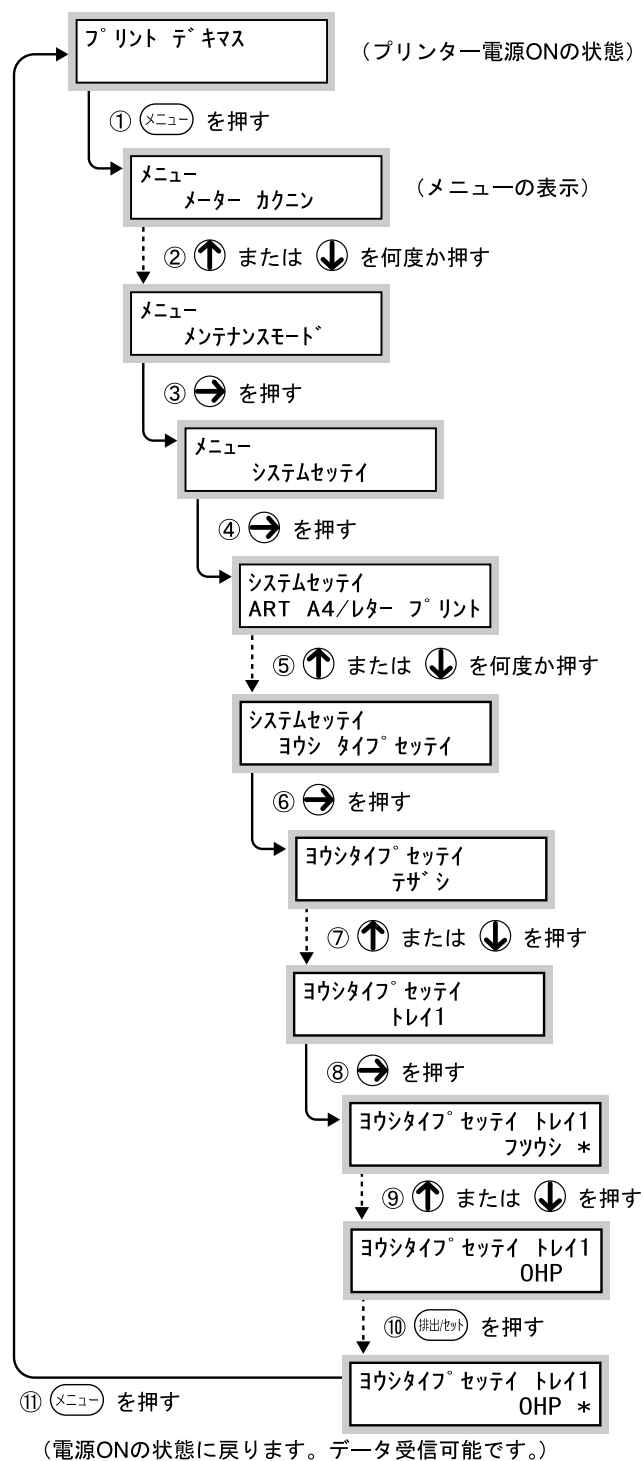
1 **用紙カセットの横ガイド、縦ガイドを、セットしたい OHP フィルムのサイズに合わせます。**

2 **OHP フィルムを、印刷する面を上にしてセットします。**

■手差しトレイにセットする場合

1 **手差しトレイサイズ設定ダイヤルを、OHP フィルムのサイズに合わせます (①)。**

2 **手差しトレイの用紙ガイドを、セットする OHP フィルムのサイズに合わせます (②)。**

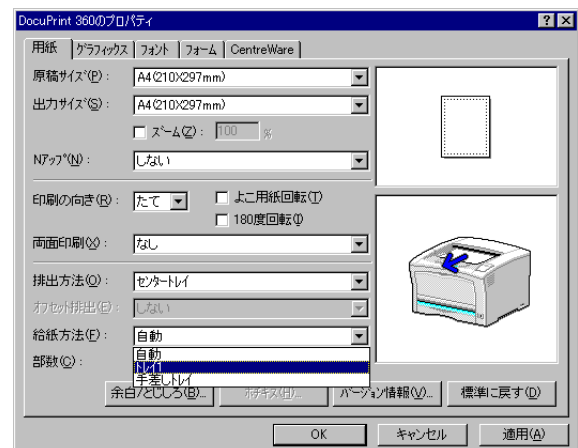
3 **OHP フィルムの印刷する面を上にしてセットします (③)。**

5.4.2　用紙種類を設定する

OHP フィルムや厚紙に印刷するには、操作パネルの共通メニューで用紙の種類を設定します。
例：OHP フィルムをトレイ 1 にセットした場合

5.4.3 OHP フィルムや厚紙に印刷する

ここでは、Windows 98 のワードパッドを使用して OHP フィルムに印刷する手順を例に説明します。

補足
プリンターのプロパティ画面の表示方法は、アプリケーションによって異なります。各アプリケーションの説明書を参照してください。

操作手順

1. **［ファイル］メニューから、［印刷］を選択します。**
2. **［プリンタ名］を確認し、［プロパティ］をクリックします。**
3. **［用紙］タブをクリックし、［原稿サイズ］から、任意の原稿サイズを選択します。**
4. **［出力サイズ］から、［A4（210 × 297mm）］または［8.5 × 11"（レター）］を指定します。**
5. **［給紙方法］から、OHP フィルムをセットしているトレイを選択します。**
6. **［OK］をクリックしてプロパティ画面を閉じ、印刷を実行します。**

5.5 はがきに印刷する

はがきは、用紙カセット (A4) または、手差しトレイにセットして印刷します。
はがきのうら面に印刷する場合を例に説明します。

はがきのうら面

Wine party

注記
はがきは、長辺を給紙口に向けてセットしてください。

5.5.1 はがきをセットする

補足
用紙上限線を超えて、用紙をセットしないでください。

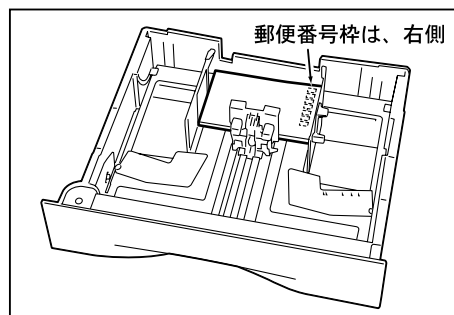
参照
用紙のセット方法の詳細については、「8.2 用紙を補給する / 用紙サイズを変更する」を参照してください。

操作手順

■用紙カセットにセットする場合

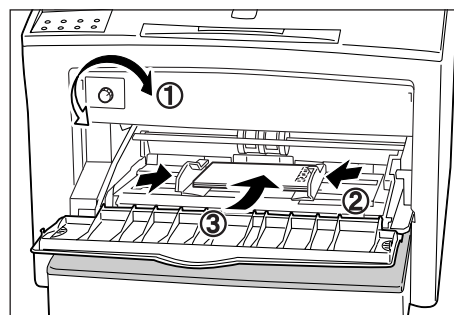
1 用紙カセットの横ガイド、縦ガイドを、はがきサイズに合わせます。

2 はがきを、印刷する面を上にして、郵便番号枠が向かって右側になるようにセットします。

補足
はがきは、うら面 / あて先面のどちらに印刷する場合でも、郵便番号枠側が右側になるようにしてセットしてください。

■手差しトレイにセットする場合

1 手差しトレイサイズ設定ダイヤルを、[官製はがき] に合わせます (①)。

2 手差しトレイを引き出し、用紙ガイドをはがきサイズに合わせます (②)。

参照
小さいサイズの用紙を手差しトレイにセットするときは、手差しトレイを引き出してセットできます。「8.2.1　手差しトレイ」の「小さいサイズの用紙をセットする場合」を参照してください。

3 **はがきを、印刷する面を上にして、郵便番号枠が向かって右側になるようにセットします (③)。**

補足
はがきは、うら面 / あて先面のどちらに印刷する場合でも、郵便番号枠側を右側にしてセットしてください。

4 **引き出した手差しトレイを元の位置に戻します。**

5.5.2 はがきに印刷する

ここでは、Windows 98 のワードパッドを例に手順を説明します。

補足
プリンターのプロパティ画面の表示方法は、アプリケーションによって異なります。各アプリケーションの説明書を参照してください。

操作手順

1 **［ファイル］メニューから、［印刷］を選択します。**

2 **［プリンタ名］を確認し、［プロパティ］をクリックします。**

3 **［用紙］タブをクリックし、［原稿サイズ］から、任意の原稿サイズを選択します。**

4 **［出力サイズ］から、［はがき（100 × 148mm）］を指定します。**

5 **［給紙方法］から、はがきをセットしたトレイを選択します。**

6 **［OK］をクリックしてプロパティ画面を閉じ、印刷を実行します。**

5.6 非定型サイズの用紙に印刷する

非定型サイズは、用紙カセット (A3)、用紙カセット (A4)、または手差しトレイにセットして印刷します。

注記
- 非定型サイズの用紙は、短辺を給紙口に向けてセットしてください。
- 各用紙カセット (トレイ) にセットできる非定型サイズは、次のとおりです。
  - ・用紙カセット (A3) の場合－幅：210 ～ 297mm、長さ：210 ～ 431mm
  - ・用紙カセット (A4) の場合－幅：148 ～ 216mm、長さ：148 ～ 216mm
  - ・手差しトレイの場合－幅：100 ～ 297mm、長さ：148 ～ 431mm

参照
長尺紙 (297 × 900mm) に印刷する場合は､「5.7　長尺紙 (297 × 900mm) に印刷する」を参照してください。

5.6.1　非定型サイズの用紙をセットする

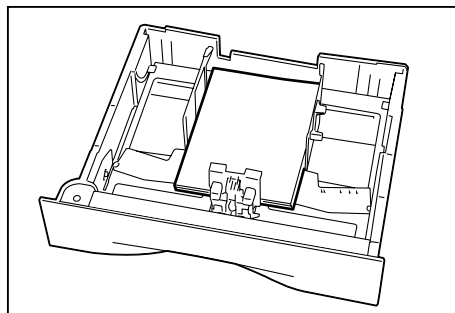
補足
用紙上限線を超えて、用紙をセットしないでください。

参照
用紙のセット方法の詳細については､「8.2 用紙を補給する / 用紙サイズを変更する」を参照してください。

操作手順

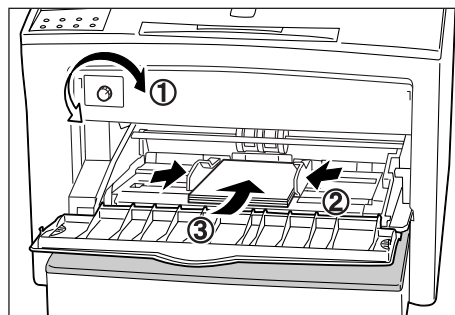
■用紙カセットにセットする場合

1 **用紙を、印刷する面を上にしてセットします。**

2 **用紙カセットの横ガイド､縦ガイドを、セットした用紙サイズに合わせます。**

■手差しトレイにセットする場合

1 **手差しトレイサイズ設定ダイヤルを、[その他] に合わせます (①)。**

2 **用紙ガイドをセットした用紙サイズに合わせます (②)。**

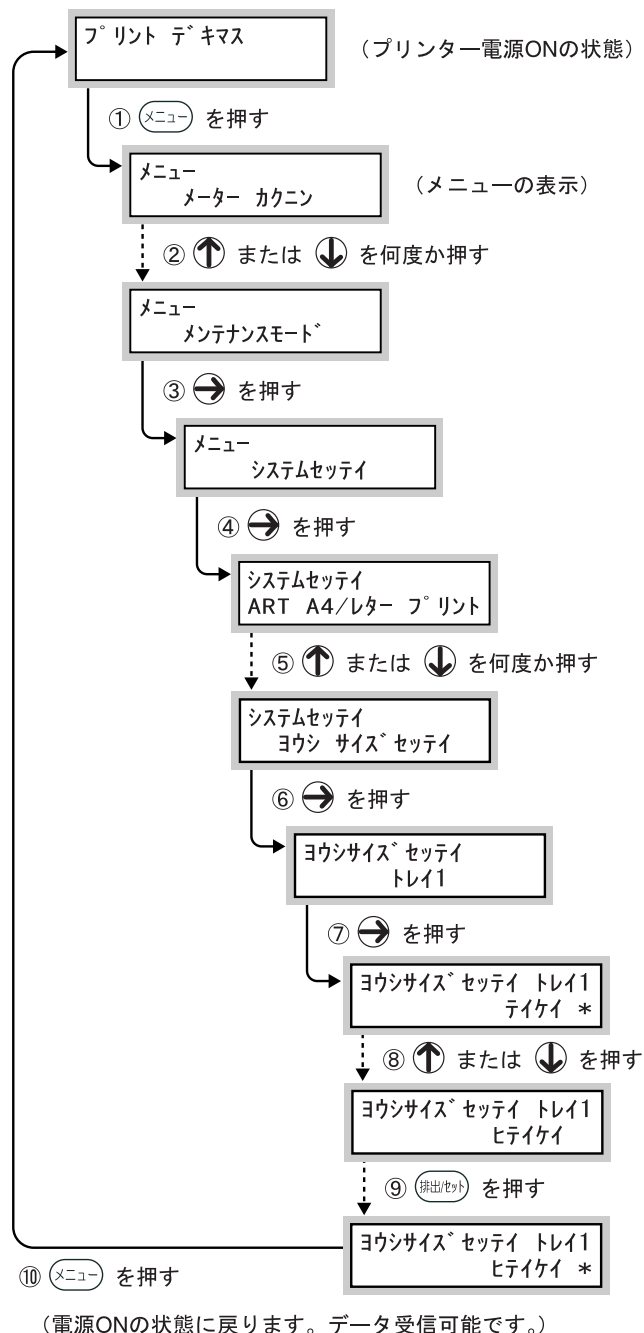
参照
小さいサイズの用紙を手差しトレイにセットするときは、手差しトレイを引き出してセットできます。「8.2.1　手差しトレイ」の「小さいサイズの用紙をセットする場合」を参照してください。

3 **用紙を、印刷する面を上にしてセットします (③)。**

手順 2 で、手差しトレイを引き出したときは、元の位置に戻します。

5.6.2 用紙サイズを非定型に設定する

非定型サイズの用紙を用紙カセットにセットして印刷するには、操作パネルの共通メニューで用紙サイズを非定型に設定します。

補足
非定型サイズの用紙を手差しトレイにセットした場合は、この設定は必要ありません。

例：非定型サイズの用紙をトレイ 1 にセットした場合

5.6.3 非定型サイズの用紙に印刷する

非定型サイズの用紙に印刷する場合は、[用紙定義] ダイアログボックスで非定型サイズを設定してから行います。
ここでは、Windows 98 のワードパッドを例に手順を説明します。

補足

プリンターのプロパティ画面の表示方法は、アプリケーションによって異なります。各アプリケーションの説明書を参照してください。

操作手順

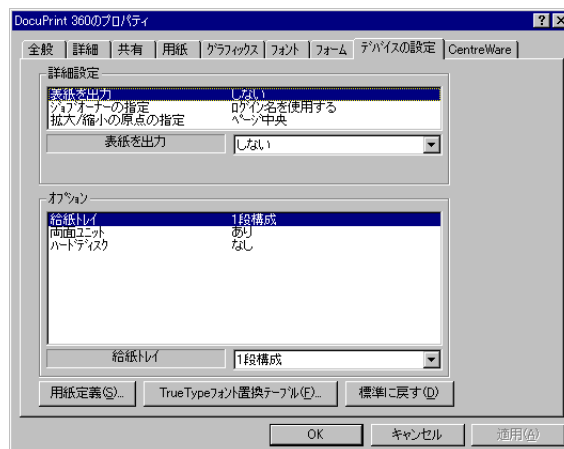
■非定型サイズを設定する

1 **[スタート] メニューの [設定] から、[プリンタ] をクリックします。**

補足

Windows® XP の場合は、[スタート] メニューの [プリンタと FAX] をクリックします。

2 **本機のプリンターアイコンを選択し、[ファイル] メニューから [プロパティ] をクリックします。**

3 **[デバイスの設定]タブをクリックし、[用紙定義]をクリックします。**

4 **ユーザー定義用紙 1 ～ 5 のどれかに、長辺、短辺を入力します。**

例：[ユーザー定義用紙 1] の長辺に「210mm」、短辺に「150mm」と入力し、用紙名称を「非定型」とします。

補足

Windows NT® 4.0、Windows® 2000、Windows XP の場合は、用紙名称は変更できません。

5 **[OK] をクリックします。**

6 **[OK] をクリックして、プロパティ画面を閉じます。**

■印刷する

1 ［ファイル］メニューから、［印刷］を選択します。

2 ［プリンタ名］を確認し、［プロパティ］をクリックします。

3 ［用紙］タブをクリックし、［原稿サイズ］から、設定した非定型サイズを選択します。

参照

非定型サイズの設定については、「■非定型サイズを設定する」(P.80) を参照してください。

4 ［出力サイズ］から、［原稿サイズと同じ］を指定します。

5 ［給紙方法］から、非定型サイズの用紙をセットしたトレイを選択します。

6 ［OK］をクリックしてプロパティ画面を閉じ、印刷を実行します。

5.7 長尺紙 (297 × 900㎜) に印刷する

長尺紙 (297 × 900㎜) は、手差しトレイに 1 枚ずつセットして印刷します。

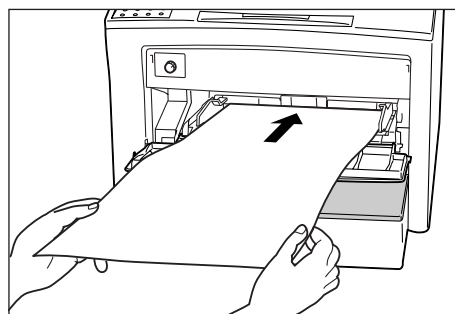
補足
長尺紙 (297 × 900㎜) に印刷するには、オプションの増設 SDRAM モジュール (64MB) が必要です。

5.7.1 長尺紙 (297 × 900㎜) をセットする

操作手順

1 **手差しトレイサイズ設定ダイヤルを、［その他］に合わせます。**

2 **手差しトレイの用紙ガイドを、長尺紙 (297 × 900㎜) の短辺に合わせます。**

3 **用紙を、印刷する面を上にして、セットします。**

注記
長尺紙 (297 × 900㎜) は、1 枚ずつ手で支えながら給紙してください。

5.7.2 長尺紙 (297 × 900㎜) に印刷する

ここでは、Windows 98 のワードパッドを例に手順を説明します。

補足

プリンターのプロパティ画面の表示方法は、アプリケーションによって異なります。各アプリケーションの説明書を参照してください。

操作手順

1. **[ファイル] メニューの [印刷] をクリックします。**
2. **[プリンタ名] を確認し、[プロパティ] をクリックします。**
3. **[用紙] タブをクリックし、[原稿サイズ] から、任意の原稿サイズを選択します。**
4. **[出力サイズ] から、[長尺紙 (297 × 900㎜)] を指定します。**
5. **[給紙方法] から、[手差しトレイ] を選択します。**
6. **[OK] をクリックしてプロパティ画面を閉じ、印刷を実行します。**

印刷する

5

5.8 丁合い（ソート）を使用する

複数部数を、1 部ごとに丁合い（ソート）して印刷できます。

注記

- オプション品の内蔵増設ハードディスク装置と増設 SDRAM モジュールを装着している場合は、電子丁合いが行われます。電子丁合いとは、印刷データを内蔵増設ハードディスク装置に取り込み、2 部め以降は印刷データを内蔵増設ハードディスク装置から取り出して印刷する機能です。部数の多い文書の印刷時間を短縮できます。
- 内蔵増設ハードディスク装置を取り付けた場合は、プロパティダイアログボックスでオプションの設定を［あり］にしてください。

ここでは、Windows 98 のワードパッドを例に説明します。

補足

- プリンターのプロパティ画面の表示方法は、アプリケーションによって異なります。各アプリケーションの説明書を参照してください。
- 丁合いを行うときは、アプリケーション固有の印刷ダイアログボックスで、ページをそろえて印刷するような機能を指定しないでください。

操作手順

1. **［ファイル］メニューから、［印刷］を選択します。**
2. **［プリンタ名］を確認し、［プロパティ］をクリックします。**
3. **［用紙］タブをクリックします。**
4. **［丁合いあり］をオンにします。**
5. **[OK] をクリックしてプロパティ画面を閉じ、印刷を実行します。**

5.9 とじしろを設定する

とじしろの位置と値を設定します。とじしろを設定すると、印刷領域を標準の位置からずらして印刷します。とじしろは、用紙のおもて面、うら面にそれぞれの値を設定できます。両面に印刷した文書をとじるときなどに、とじ位置の印刷が見えにくくなることを防ぎます。
ここでは、Windows 98 のワードパッドを例に説明します。

補足
プリンターのプロパティ画面の表示方法は、アプリケーションによって異なります。各アプリケーションの説明書を参照してください。

操作手順

1 [ファイル] メニューから、[印刷] を選択します。

2 [プリンタ名] を確認し、[プロパティ] をクリックします。

3 [用紙] タブをクリックします。

4 [余白 / とじしろ] をクリックします。

5 [とじしろ] から、とじしろ位置を選択します。

6 [おもて] のとじしろ値を入力します。

入力できる範囲は 0 ～ 50mm で、1mm 単位で入力します。

両面印刷の場合は、[うら] のとじしろ値も入力します。

補足
両面印刷が設定されていない場合は、[うら] のとじしろ設定はできません。

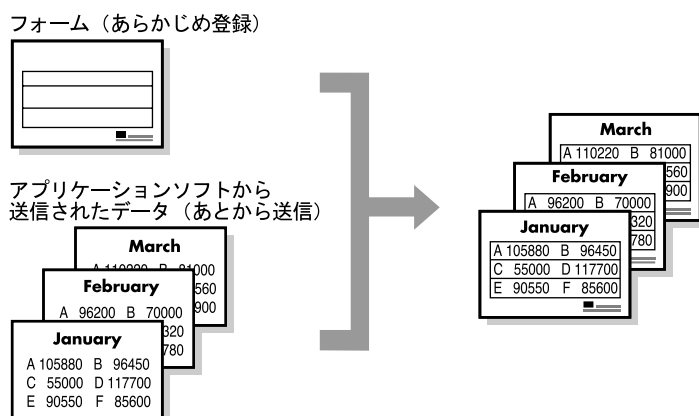
7 [イメージエリア] を選択します。

参照
[イメージエリア] の項目については、オンラインヘルプを参照してください。

8 [OK] をクリックします。

9 [OK] をクリックしてプロパティ画面を閉じ、印刷を実行します。

5.10 登録したフォームに印刷する（オーバーレイ印字）

あらかじめ作成しておいたフォームに、原稿を重ね合わせて印刷することができます。この機能を「オーバーレイ印字」といいます。複数ページの原稿にも、すべてのページにフォームを重ねて印刷します。
オーバーレイ印字をする場合は、あらかじめフォームデータファイルを作成 / 登録する必要があります。

ここでは、Windows 98 のワードパッドを例に説明します。

補足

- プリンターのプロパティ画面の表示方法は、アプリケーションによって異なります。各アプリケーションの説明書を参照してください。
- フォームは、64 ファイルまで登録できます。

5.10.1 フォームデータファイルを作成 / 登録する

操作手順

1 **アプリケーションでフォームデータファイルの原稿を作成します。**

2 **［ファイル］メニューから、［印刷］を選択します。**

3 **［プリンタ名］を確認し、［プロパティ］をクリックします。**

4 **［フォーム］タブをクリックします。**

5 **［フォーム作成 / 登録］チェックボックスをオンにします。**

6 **［ディレクトリィ］にバックアップデータを保存するフォルダー名を、127 文字以内で入力します。**

補足

フォームを本機に登録すると、コンピューターにも、バックアップ用として［ディレクトリィ］で指定したフォルダーに、同じデータが保存されます。

7 **［フォーム名］にフォーム名を、半角英数、半角カタカナを使って、8 文字以内で入力します。**

補足

すでに作成してあるフォームを修正したい場合は、［参照］をクリックして、バックアップされているフォームファイルを指定し、［再登録］をクリックします。

参照

Windows NT 4.0、Windows 2000、Windows XP の場合は、[フォーム作成 / 登録] に [登録データ種] が表示され、フォームとして登録するデータの種類を選択できます。詳細については、オンラインヘルプを参照してください。

8 **プロパティダイアログボックスの［OK］をクリックします。**

9 **[印刷] ダイアログボックスの［OK］をクリックします。**

アプリケーションで作成した原稿が、フォームファイルとして本機に登録されます。

補足

ここでは、フォームは印刷されません。

参照

登録したフォームは、ユーザー定義リストで確認できます。ユーザー定義リストについては、「6.3 レポート / リストを印刷する」を参照してください。

5.10.2 フォームを使用して印刷する

操作手順

1 アプリケーションで、フォームに重ねる原稿を作成します。

2 ［ファイル］メニューから、［印刷］を選択します。

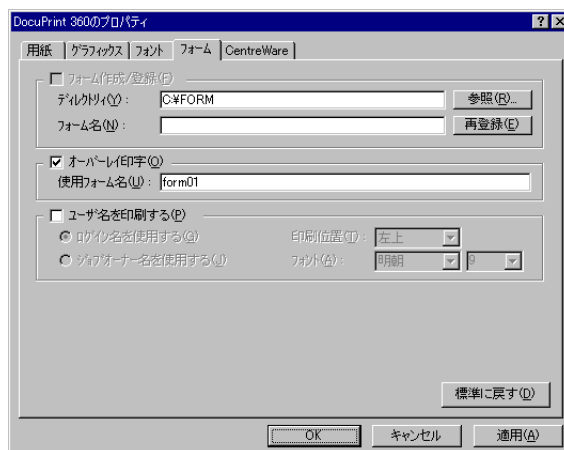
3 ［プリンタ名］を確認し、［プロパティ］をクリックします。

4 ［フォーム］タブをクリックします。

5 ［オーバーレイ印字］チェックボックスをオンにします。

6 ［使用フォーム名］に、本機に登録されているフォーム名と同じ名前を、半角英数、半角カタカナを使って、8 文字以内で指定します。

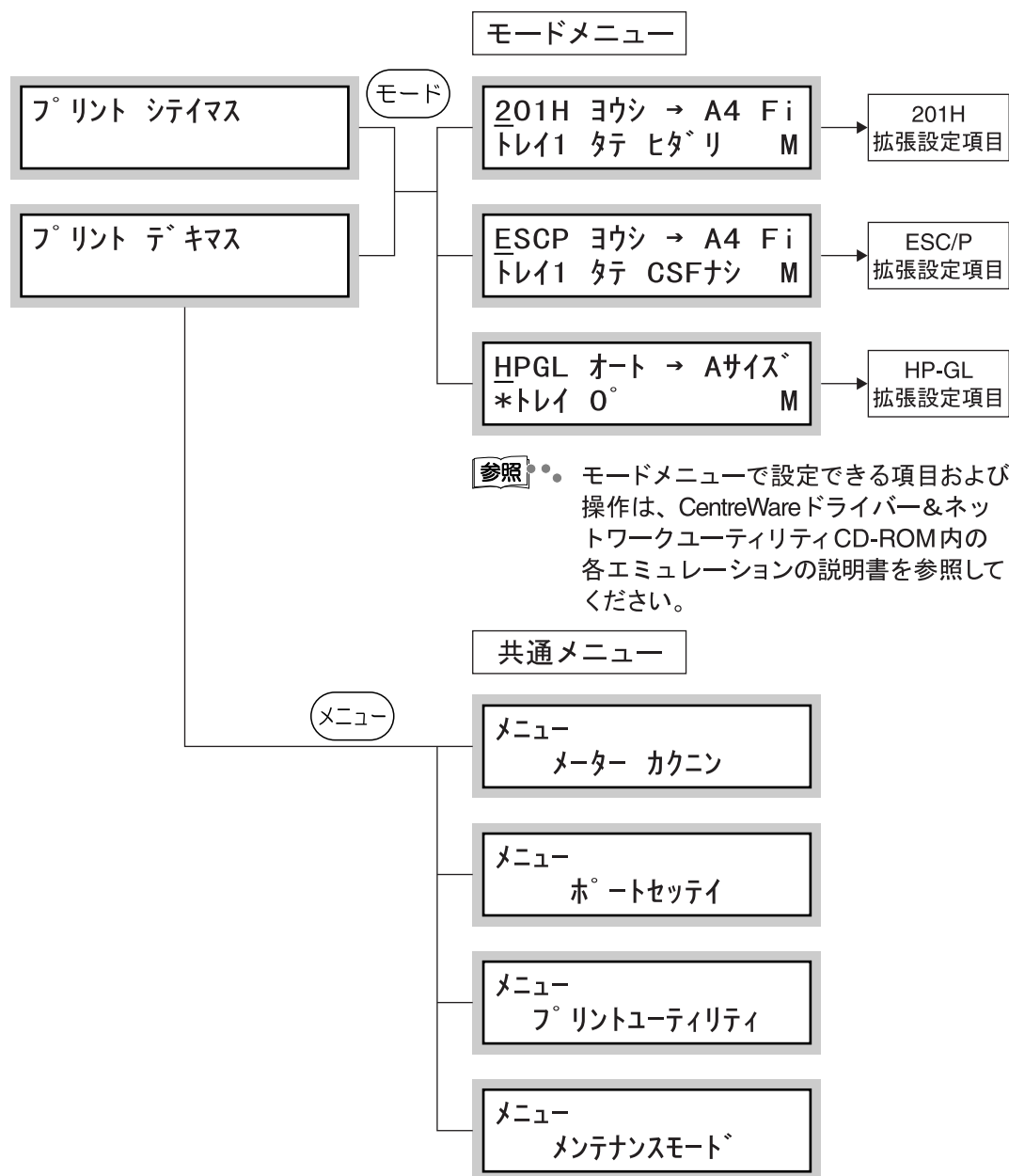
参照

Windows NT 4.0、Windows 2000、Windows XP の場合は、[オーバーレイ印字] に［出力データ種］が表示され、印刷するデータの種類を選択できます。詳細については、オンラインヘルプを参照してください。

7 ［OK］をクリックしてプロパティ画面を閉じ、印刷を実行します。

6章

プリンターの設定と管理

6.1 モードメニューと共通メニュー

操作パネルから設定するメニュー項目とメニューの階層について説明します。
メニューには、「モードメニュー」と「共通メニュー」があります。

6.2 共通メニューの設定を変更する

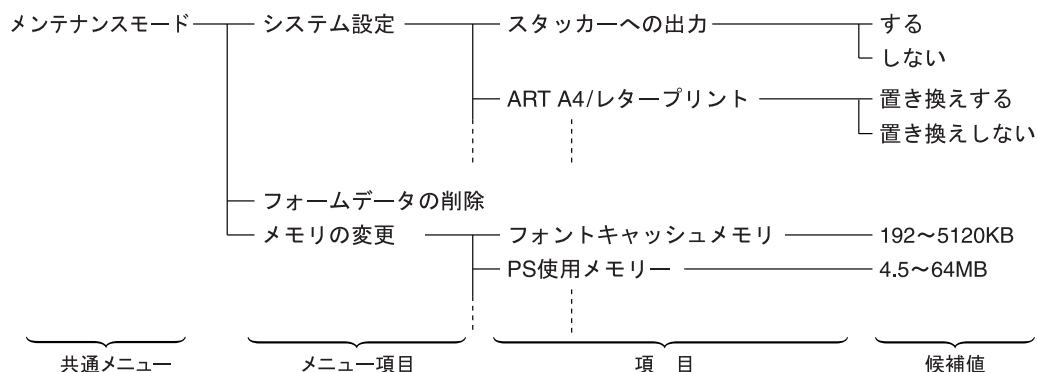
6.2.1 共通メニューについて

共通メニューは、メーター確認、ポート設定、プリントユーティリティ、メンテナンスモードから構成されています。すべてのプリントモードに共通の項目を設定する画面です。

共通メニュー	概要	参照先
メーター確認	プリントした枚数を表示します。	「8.6 メーターを確認する」
ポート設定	コンピューターと接続するインターフェイスの種類、およびその通信に必要な条件を設定します。 補足 メンテナンスモード＞ポート状態で、【停止】に設定されているポートの各種設定はできません。	「6.2.2 共通メニューの項目一覧」
プリントユーティリティ	エミュレーションモードの設定内容、プリンターの設定情報、エラー履歴、フォントに関する情報などを印刷します。	「6.3 レポート / リストを印刷する」
メンテナンスモード	節電時間、システム時計、メモリー容量の変更、ポート状態の設定、オプションのハードディスク装置の初期化などを行います。	「6.2.2 共通メニューの項目一覧」

共通メニューは、次のような階層で構成されています。

- 共通メニュー＞メニュー項目＞項目＞候補値

下図は、メンテナンスモードの階層の一部を示したものです。

6.2.2　共通メニューの項目一覧

共通メニューのポート設定、メンテナンスモードで設定できる項目の詳細について説明します。

参照

- メニューの設定方法については、「6.2.3　共通メニューの設定を変更する」を参照してください。
- レポート / リスト (プリントユーティリティ) の印刷方法については、「6.3　レポート / リストを印刷する」を参照してください。
- 一覧の中には、CentreWare　Internet　Services から設定する項目も含まれています。CentreWare　Internet　Services の使い方については、「6.5.6　CentreWare　Internet　Services を使用する」を参照してください。

ポート設定一覧

ポート設定メニューでは、コンピューターに接続されている本機のインターフェイスの種類、およびその通信に必要な条件を設定します。

パラレル

パラレルインターフェイスを使う場合に設定します。

■プリントモード指定　* 注記 (1)

印刷データの処理方法 (使用するプリント言語) を設定します。
候補値は次のとおりです。
【AUTO】(初期値)
コンピューターから受信したデータが、どのプリント言語で記述されているかを自動で判別し、データに合わせて適切な印刷を行います。
【201H】【ESCP】【HPGL】【ART】【TIFF】【PS】
コンピューターから受信したデータを、それぞれのデータとして処理します。【PS】は、PostScript ソフトウェアキットを装着している場合に表示されます。
【DUMP】
コンピューターから受信したデータの内容を確認するため、印刷データを 16 進表記形式と対応する ASCII コードで印刷します。

■JCL スイッチ　* 注記 (2)

本機では、どのプリント言語にも依存しない JCL コマンドが使えます。JCL コマンドとは、印刷ジョブを制御するコマンドで、プリンタードライバーを使って印刷する場合に必要です。JCL コマンドを使うと、その時点で本機がどのプリント言語で処理していても、次のデータのプリント言語を指定できます。
ここでは、コンピューターから送られてくる JCL コマンドを有効 (ON) にするか無効 (OFF) にするかを設定します。通常は、初期値の【ON】で使用します。

■自動排出時間　* 補足 (1)

データが受信されない状態が継続したとき、本機内に残っているデータを自動的に印刷して排出する時間を設定します。
時間は 5 ～ 1275 秒の間で、5 秒単位に設定します。初期値は【30 ビョウ】です。また、最後のデータを受信してからここで設定した時間内に次のデータが受信されない場合は、ジョブの終了と判断されます。

■**Adobe 通信プロトコル**

PostScript の通信プロトコルを設定します。この項目は、PostScript ソフトウェアキットを装着している場合に表示されます。
候補値は次のとおりです。
【Standard】(初期値)
通信プロトコルが ASCII 形式のときに設定します。
【Binary】
通信プロトコルがバイナリー形式のときに設定します。データによっては、印刷処理が【Standard】に比べて速くなることがあります。
【TBCP】
通信プロトコルがASCII形式とバイナリー形式が混在し、それらを特定の制御コードによって切り替えるときに設定します。

注記

- コンピューターのプリンタードライバーが出力するデータの形式に合わせて設定してください。
- 通常は、初期値の【Standard】で使用してください。
- ここでの設定は、パラレルのプリントモード指定が【PS】の場合にだけ有効です。

■**双方向**

パラレルインターフェイスの双方向通信 (IEEE1284) を有効にするかどうかを設定します。
初期値は【ON】です。

■**インプットプライム**

INPUT_PRIME 制御(ハードウェアリセット)を有効にするか無効にするかを設定します。
INPUT_PRIME 信号を受信すると、リセット処理が行われます。初期値は【ユウコウ】です。

参照

この設定は、エミュレーションで使います。

注記

コンピューターによっては、印刷するたびに INPUT_PRIME 信号が出力されてリセット処理が行われるので、操作パネルから指定したメニュー操作の内容が印刷結果に反映されないことがあります。このような場合は【ムコウ】を指定することによって、メニュー操作の内容を反映できます。

---

lpd

lpd を使う場合に設定します。

■**プリントモード指定　* 注記 (1)**

印刷データの処理方法 (使用するプリント言語) を設定します。
候補値は次のとおりです。
【AUTO】(初期値)
コンピューターから受信したデータが、どのプリント言語で記述されているかを自動で判別し、データに合わせて適切な印刷を行います。
【201H】【ESCP】【HPGL】【ART】【TIFF】【PS】
コンピューターから受信したデータを、それぞれのデータとして処理します。【PS】は、PostScript ソフトウェアキットを装着している場合に表示されます。
【DUMP】
コンピューターから受信したデータの内容を確認するため、印刷データを 16 進表記形式と対応する ASCII コードで印刷します。

■**JCL スイッチ　　* 注記 (2)**

本機では、どのプリント言語にも依存しない JCL コマンドが使えます。JCL コマンドとは、印刷ジョブを制御するコマンドで、プリンタードライバーを使って印刷する場合に必要です。JCL コマンドを使うと、その時点で本機がどのプリント言語で処理していても、次のデータのプリント言語を指定できます。
ここでは、コンピューターから送られてくる JCL コマンドを有効（ON）にするか無効（OFF）にするかを設定します。通常は、初期値の【ON】で使用します。

■**TBCP フィルター**

PostScript データを処理する場合に、TBCP フィルターを有効にするかどうかを設定します。初期値は【ユウコウ】です。

注記

ここでの設定は、lpd のプリントモード指定が【PS】の場合にだけ有効です。

■**コネクションタイムアウト　　* 補足 (1)**

印刷データの受信中に、データが送られなくなってから接続を切断するまでの時間を 2 ～ 3600 秒の間で 1 秒単位に設定します。初期値は【16 ビョウ】です。

■**受け付け IP の制限**

印刷を受け付けている IP アドレスを制限するかしないかを設定します。【スル】に設定すると、登録されている IP アドレスからの印刷だけを受け付けます。初期値は【シナイ】です。

補足

【スル】に設定しても、登録されている IP アドレスがすべて「000.000.000.000」の場合は、無効になります。

■**受け付け IP の登録　　* 補足 (1)**

受け付け IP の制限機能を使う場合に、印刷を受け付ける IP アドレスとアドレスマスクを登録します。IP アドレスとアドレスマスクは、10 個まで登録できます。
IP アドレスには、xxx.xxx.xxx.xxx の形式で入力します。xxx は、0 ～ 255 までの数値です。
アドレスマスクには、xxx.xxx.xxx.xxx の形式で、0、128、192、224、240、248、252、254、255 の数値を xxx に設定します。

SMB

SMB ポートを使用する場合に設定します。

■**プリントモード指定　　* 注記 (1)**

印刷データの処理方法 (使用するプリント言語) を設定します。
候補値は次のとおりです。
【AUTO】（初期値）
コンピューターから受信したデータが、どのプリント言語で記述されているかを自動で判別し、データに合わせて適切な印刷を行います。
【201H】【ESCP】【HPGL】【ART】【TIFF】【PS】
コンピューターから受信したデータを、それぞれのデータとして処理します。【PS】は、PostScript ソフトウェアキットを装着している場合に表示されます。
【DUMP】
コンピューターから受信したデータの内容を確認するため、印刷データを 16 進表記形式と対応する ASCII コードで印刷します。

■JCL スイッチ　＊注記 (2)

本機では、どのプリント言語にも依存しない JCL コマンドが使えます。JCL コマンドとは、印刷ジョブを制御するコマンドで、プリンタードライバーを使って印刷する場合に必要です。JCL コマンドを使うと、その時点で本機がどのプリント言語で処理していても、次のデータのプリント言語を指定できます。
ここでは、コンピューターから送られてくる JCL コマンドを有効（ON）にするか無効（OFF）にするかを設定します。通常は、初期値の【ON】で使用します。

■トランスポート

SMB で使うトランスポート層のプロトコルを設定します。TCP/IP、NetBEUI のどちらか、または両方が使えます。

- TCP/IP　初期値は【キドウ】です。
- NetBEUI　初期値は【キドウ】です。

補足

【TCP/IP】を使う場合は、コンピューター側、本機側ともに IP アドレスが必要です。

NetWare

NetWare を使う場合に設定します。

■プリントモード指定　＊注記 (1)

印刷データの処理方法 (使用するプリント言語) を設定します。
候補値は次のとおりです。
【AUTO】（初期値）
コンピューターから受信したデータが、どのプリント言語で記述されているかを自動で判別し、データに合わせて適切な印刷を行います。
【201H】【ESCP】【HPGL】【ART】【TIFF】【PS】
コンピューターから受信したデータを、それぞれのデータとして処理します。【PS】は、PostScript ソフトウェアキットを装着している場合に表示されます。
【DUMP】
コンピューターから受信したデータの内容を確認するため、印刷データを 16 進表記形式と対応する ASCII コードで印刷します。

■JCL スイッチ　＊注記 (2)

本機では、どのプリント言語にも依存しない JCL コマンドが使えます。JCL コマンドとは、印刷ジョブを制御するコマンドで、プリンタードライバーを使って印刷する場合に必要です。JCL コマンドを使うと、その時点で本機がどのプリント言語で処理していても、次のデータのプリント言語を指定できます。
ここでは、コンピューターから送られてくる JCL コマンドを有効（ON）にするか無効（OFF）にするかを設定します。通常は、初期値の【ON】で使用します。

EtherTalk

EtherTalk を使う場合に設定します。

■プリントモード指定　* 注記 (1)
印刷データの処理方法 (使用するプリント言語) を設定します。
候補値は次のとおりです。
【ART】（初期値）【PS】
コンピューターから受信したデータを、それぞれのデータとして処理します。【PS】は、PostScript ソフトウェアキットを装着している場合に表示されます。
【DUMP】
コンピューターから受信したデータの内容を確認するため、印刷データを 16 進表記形式と対応する ASCII コードで印刷します。

■JCL スイッチ　* 注記 (2)
本機では、どのプリント言語にも依存しない JCL コマンドが使えます。JCL コマンドとは、印刷ジョブを制御するコマンドで、プリンタードライバーを使って印刷する場合に必要です。JCL コマンドを使うと、その時点で本機がどのプリント言語で処理していても、次のデータのプリント言語を指定できます。
ここでは、コンピューターから送られてくる JCL コマンドを有効（ON）にするか無効（OFF）にするかを設定します。通常は、初期値の【ON】で使用します。

IPP

IPP を使う場合に設定します。

■プリントモード指定　* 注記 (1)
印刷データの処理方法 (使用するプリント言語) を設定します。
候補値は次のとおりです。
【AUTO】（初期値）
コンピューターから受信したデータが、どのプリント言語で記述されているかを自動で判別し、データに合わせて適切な印刷を行います。
【201H】【ESCP】【HPGL】【ART】【TIFF】【PS】
コンピューターから受信したデータを、それぞれのデータとして処理します。【PS】は、PostScript ソフトウェアキットを装着している場合に表示されます。
【DUMP】
コンピューターから受信したデータの内容を確認するため、印刷データを 16 進表記形式と対応する ASCII コードで印刷します。

■JCL スイッチ　* 注記 (2)
本機では、どのプリント言語にも依存しない JCL コマンドが使えます。JCL コマンドとは、印刷ジョブを制御するコマンドで、プリンタードライバーを使って印刷する場合に必要です。JCL コマンドを使うと、その時点で本機がどのプリント言語で処理していても、次のデータのプリント言語を指定できます。
ここでは、コンピューターから送られてくる JCL コマンドを有効（ON）にするか無効（OFF）にするかを設定します。通常は、初期値の【ON】で使用します。

■TBCP フィルター
PostScript データを処理する場合に、TBCP フィルターを有効にするかどうかを設定します。
初期値は【ムコウ】です。

注記
ここでの設定は、IPP のプリントモード指定が【PS】の場合にだけ有効です。

Port9100

Port9100 を使う場合に設定します。

■**プリントモード指定　* 注記 (1)**
印刷データの処理方法 (使用するプリント言語) を設定します。
候補値は次のとおりです。
【AUTO】(初期値)
コンピューターから受信したデータが、どのプリント言語で記述されているかを自動で判別し、データに合わせて適切な印刷を行います。
【201H】【ESCP】【HPGL】【ART】【TIFF】【PS】
コンピューターから受信したデータを、それぞれのデータとして処理します。【PS】は、PostScript ソフトウェアキットを装着している場合に表示されます。
【DUMP】
コンピューターから受信したデータの内容を確認するため、印刷データを 16 進表記形式と対応する ASCII コードで印刷します。

■**JCL スイッチ　* 注記 (2)**
本機では、どのプリント言語にも依存しない JCL コマンドが使えます。JCL コマンドとは、印刷ジョブを制御するコマンドで、プリンタードライバーを使って印刷する場合に必要です。JCL コマンドを使うと、その時点で本機がどのプリント言語で処理していても、次のデータのプリント言語を指定できます。
ここでは、コンピューターから送られてくる JCL コマンドを有効 (ON) にするか無効 (OFF) にするかを設定します。通常は、初期値の【ON】で使用します。

■**ポートナンバー　* 補足 (1)**
Port9100 で使うポートナンバーを設定します。8000 ～ 9999 の間で 1 単位に設定します。初期値は、【9100】です。

■**TBCP フィルター**
PostScript データを処理する場合に、TBCP フィルターを有効にするかどうかを設定します。初期値は【ムコウ】です。

注記
ここでの設定は、Port9100 のプリントモード指定が【PS】の場合にだけ有効です。

■**コネクションタイムアウト　* 補足 (1)**
印刷データの受信中に、データが送られなくなってから接続を切断するまでの時間を 2 ～ 65535 秒の間で 1 秒単位に設定します。初期値は【60 ビョウ】です。

*** 注記 (1)　【AUTO】設定時、自動判別の結果が本機に実装されていないプリント言語であった場合や、対象になるプリント言語に該当しない場合、そのデータは消去されます。**

(2)
- **【ON】に設定されている場合、プリントモード指定が【DUMP】に設定されていると、JCL コマンドも【DUMP】で出力されます。**
- **JCL コマンドで本機に実装されていないプリント言語が指定された場合、データは消去されます。**

*** 補足 (1)　⇧または⇩ボタンで候補値を変更するとき、ボタンを押し続けると、連続的に表示を変えることができます。また、⇧と⇩ボタンを同時に押すと、初期値が表示されます (【受け付け IP の登録】の設定は除く)。**

メンテナンスモード一覧

システム設定

■スタッカーへの出力

スタッカートレイに用紙を排出するかどうかを設定します。この項目は、A4 専用スタッカーを装着している場合に表示されます。【スル】に設定した場合、排出トレイがいっぱいになると、スタッカートレイに排出されます。初期値は【スル】です。

■ART　A4/ レタープリント

A4、またはレターサイズの ART データを用紙自動選択で印刷したときに、該当するサイズの用紙がない場合、もう一方のサイズの用紙に印刷するかどうかを設定します。初期値は【オキカエスル】です。

注記

ここでの設定は、プリントモード指定が【ART】の場合にだけ有効です。

■ART 白紙節約

ART データをプリントする場合、白紙のページを印刷しないで、用紙を節約します。初期値は【シナイ】です。

注記

ここでの設定は、プリントモード指定が【ART】の場合にだけ有効です。

■用紙自動選択

それぞれのトレイについて、用紙自動選択の対象トレイにするかどうかを設定します。【OFF】に設定したトレイは、そのトレイを指定して印刷しない限り、自動的にそのトレイが選択されることはありません。たとえば、トレイ 2 に OHP フィルムをセットしている場合に、トレイ 2 の用紙自動選択の設定を【OFF】にしておくと、自動的にトレイ 2 が選択されることがないので、誤って OHP フィルムに印刷されるのを防げます。初期値は【ON】です。

■用紙タイプ設定

それぞれのトレイについて、用紙の種類を【普通紙】（初期値）、【厚紙】、【OHP】のどれかから選択します。

■用紙サイズ設定

それぞれの用紙トレイ (手差しトレイは除く) について。用紙サイズを【定型】（初期値）、【非定型】から選択します。

■印字領域

印刷可能領域を設定します。【ヒョウジュン】（初期値）の場合は、周囲に約 4mm の消し込みを行います。
【カクチョウ】にした場合、周囲の消し込み処理を行いません。ただし、用紙の周囲が正常に印刷されない場合があります。通常は【ヒョウジュン】に設定してください。

■スタートページ

スタートページの印刷を設定します。【ON】に設定すると、電源投入後、またはシステムリセットが実行されたあとにスタートページが印刷されます。初期値は【ON】です。

■節電時間　＊補足 (1)

消費電力を節約するために、前回印刷してから一定の時間が経過すると、自動的に本機内部の定着部の温度を下げて、モーターの回転を止める機能です。ここでは、前回の印刷処理終了後、節電状態に移行するまでの時間を 1 ～ 120 分の間で 1 分単位に設定します。初期値は【30 フン】です。

■節電モード

節電モードを有効にするか無効にするかを設定します。【ムコウ】に設定すると、節電モードに移行しません。初期値は【ユウコウ】です。

■ロートナー後のプリント

トナーが少なくなったこと（ロートナー）を検知したあとの、本機の動作について設定します。初期値は【キンシ スル】です。
【キンシ スル】を選択した場合は印刷を禁止するまでの枚数を、1 〜 1000 枚の間で設定します。ロートナー検知後、ここで設定した枚数を印刷すると、それ以降は新しい EP カートリッジに交換するまで印刷できなくなります。初期値は、【200】枚です。
【キンシ シナイ】
ロートナーを検知しても、印刷を禁止しません。

■システム時計　＊補足 (1)

本機のシステム時計の日付（年 / 月 / 日）と時刻（時 / 分）を、西暦 (下 2 桁)、24 時間表示で設定します。ここで設定された日付 / 時刻がリストやレポートに印刷されます。

■自動プリント履歴

処理を行ったプリントジョブに関する情報（プリンター履歴レポート）を、自動的に印刷するかどうかを設定します。
【ON】に設定すると、過去に自動で排出されていないプリントログが 50 件になった時点で、古いものから自動的に印刷されます。実行中や実行待ちのプリントジョブは記録されません。初期値は【OFF】です。

■パネル表示

操作パネルの表示言語を、【ニホンゴ】、【エイゴ】から選択します。初期値は【ニホンゴ】です。

■奇数ページ両面

両面印刷時は、偶数ページ、奇数ページの順で印刷されます。原稿が 4 ページ (偶数) の場合は、2 → 1 → 4 → 3 の順で印刷されます。
ここでは、奇数ページ原稿の最終ページの印刷について選択します。用紙に、上下、または左右の区別がある穴あき用紙などに両面印刷する場合は、【リョウメン】を選択すると、印刷の向きがそろいます。
【カタメン】(初期値)
原稿が奇数ページの場合、最終ページが片面だけに印刷されます。
原稿が 5 ページの場合、2 → 1 → 4 → 3 → 5 の順で印刷されます。
【リョウメン】
原稿が奇数ページの場合、白紙が挿入されて両面に印刷されます。
原稿が 5 ページの場合、2 → 1 → 4 → 3 →白紙→ 5 の順で印刷されます。

■パネル操作制限

パスワードによって、パネル操作を制限するかしないかを設定します。【スル】に設定すると、パネル操作時にパスワードの入力が必要になります。初期値は【シナイ】です。

補足
【スル】に設定したときにパスワードが設定されていないと、パスワード入力画面が表示されます。
パスワードとして 4 桁の数字を、⇧または⇩ボタンを使って入力してください。

■パスワードの変更

パネル操作制限を設定している場合のパスワードを変更できます。パスワードを 4 桁の数字で入力してください。

補足
パネル操作制限が【シナイ】に設定されていると、パスワードを変更できません。

■パネル自動解除

パネル操作モードを、自動的に解除して印刷できる状態にするかどうかを設定します。自動的に解除しないか、解除する場合は解除する時間を 1 〜 30 分の間で 1 分単位に設定します。初期値は【シナイ】です。

フォームデータの削除

本機に登録されているフォームを削除します。フォームはプリントモードごと（ART、201H、ESC/P）に登録されています。

メモリの変更　＊補足 (1)

メモリーの変更メニューでは、各インターフェイスのメモリーや、フォームメモリーの容量の変更を行います。

注記
- メモリー容量を変更すると、メモリーがリセットされるので、各メモリー領域に格納されているデータは、すべて消去されます。
- メモリーの全体量を超えた割り振りはできません。本機の電源を入れたときに、設定値が搭載メモリー容量を超えた場合は、システムによって自動的に調整されます。

参照
メモリーの割り振りについては、「2.6　メモリーの割り当てについて」を参照してください。

■フォントキャッシュメモリ

フォントキャッシュメモリーの容量を設定します。
フォントキャッシュメモリーとは、アウトラインフォントデータを保管しておくメモリーのことです。フォントキャッシュメモリーの容量を大きくすることによって、格納できるデータ量が大きくなり、印刷にかかる時間を短縮できます。
192 ～ 5120kbyte の間で 32kbyte 単位にメモリー容量を設定します。設定できる最大値は、メモリーの空き容量によって変化します。初期値は【192K】です。

■PS 使用メモリ

PostScript 言語を使用する場合のメモリー容量を設定します。この項目は、PostSript ソフトウェアキットを装着している場合に表示されます。
4.50 ～ 64Mbyte の間で 0.25Mbyte 単位にメモリー容量を設定します。設定できる最大値は、メモリーの空き容量によって変化します。初期値は【4.50M】です。

■受信バッファメモリ

インターフェイスごとに受信バッファ（コンピューターから送信されるデータを一時的に蓄えておく場所）のメモリー容量を設定します。lpd、SMB、IPP の場合は、スプール処理の有無、配置場所、メモリー容量をそれぞれ設定します。
受信バッファメモリーは、使用状況と目的に応じて変更できます。受信バッファの容量を増やすと、各インターフェイスに対応するコンピューターの解放が早くなることがあります。設定できる最大値は、メモリーの空き容量によって変化します。

補足
- ポート状態が【テイシ】に設定されている場合は、対応する各項目は表示されません。
- コンピューターから送信されるデータ量によっては、メモリーの容量を増やしてもコンピューターの解放時間が変わらない場合があります。

候補値は、次のとおりです。
- パラレルメモリ、NetWare メモリ、Salutation メモリ、EtherTalk メモリ、IPP メモリ、Port9100 メモリ
  64 ～ 1024kbyte の間で 32kbyte 単位にメモリー容量を設定します。初期値はパラレルが【64K】、それ以外は【256K】です。
  内蔵増設ハードディスク装置を装着している場合は、【IPP メモリ】は表示されず、【IPP スプール】が表示されます。

- lpd スプール、SMB スプール、IPP スプール
  スプール処理の有無、配置場所、メモリー容量を設定します。
  【IPP スプール】は、内蔵増設ハードディスク装置を装着している場合に表示されます。
  【シナイ】
  スプール処理は行われません。あるコンピューターからの lpd、SMB、IPP の印刷処理をしている間は、ほかのコンピューターからの同じインターフェイスでのデータを受信できません。lpd、SMB、IPP 専用の受信バッファメモリーの容量を、64 ～ 1024kbyte の間で 32kbyte 単位に設定します。初期値は【256K】です。
  【ハードディスク】
  スプール処理を行います。スプール処理用の受信バッファは、ハードディスクが使用されます。この項目は、内蔵増設ハードディスク装置を装着している場合に表示されます。
  【メモリ】
  スプール処理を行います。スプール処理用の受信バッファは、メモリーが使用されます。この候補値を選択したときには、スプール処理用の受信バッファのメモリー容量を、0.50 ～ 64.00Mbyte の間で 0.25Mbyte 単位に設定します。初期値は【1M】です。
  この項目は、lpd スプール、SMB スプールの場合に選択できます。
  なお、設定したメモリー容量よりも大きい印刷データは、受信できません。このようなときは【ハードディスク】、または【シナイ】を選択してください。

注記

- 増設 SDRAM モジュールを取り外したあと、電源を再投入し、以前のメモリー設定に対してメモリー不足となった場合、自動的に次のような処理が行われます。
  ① 各メモリー（フォームデータメモリー、ART ユーザ定義メモリー、受信バッファメモリー、フォントキャッシュメモリーなど）の設定値を変更して割り振ります。
  ② ①で割り振りができなかった場合、Ethernet 関係のポート状態を停止にし、再度割り振ります。
- 受信バッファのメモリー容量を増やす場合には、使用していないポート状態を【テイシ】に設定するか、増設 SDRAM モジュールを取り付けてください。

■ART ユーザ定義メモリ

ユーザーが定義するデータ（外字データやマクロデータなど）を登録するメモリーの容量を設定します。32 ～ 1638kbyte の間で、32kbyte 単位に設定します。初期値は【32K】です。設定できる最大値は、メモリーの空き容量によって変化します。

■フォームデータメモリ

HP-GL/2 オートレイアウトで使うメモリー容量を設定します。スプール処理やフォームを登録するメモリーの容量を設定します。32 ～ 5120kbyte の間で、32kbyte 単位に設定します。初期値は【32K】です。設定できる最大値は、メモリーの空き容量によって変化します。
内蔵増設ハードディスク装置を装着している場合は、オートレイアウト用にメモリーは使用されず、ハードディスクが使用されます。

注記

内蔵増設ハードディスク装置を装着している場合は、【フォームデータメモリ】は表示されません。

ポート状態

電源を入れたときの各ポートの状態を設定します。

注記

ポート状態を【キドウ】に設定したときにメモリーが不足すると、ポート状態が自動的に【テイシ】に設定されることがあります。この場合は、使っていないポートを【テイシ】に設定するか、メモリーの割り当て容量を変更してください。

■パラレル

電源を入れたときに、パラレルインターフェイスの状態を、起動にするか停止にするかを設定します。初期値は【キドウ】です。

■**lpd**
電源を入れたときに、lpd ポートの状態を、起動にするか停止にするかを設定します。初期値は【キドウ】です。

■**NetWare**
電源を入れたときに、NetWare ポートの状態を、起動にするか停止にするかを設定します。初期値は【テイシ】です。NetWare を使う場合、【キドウ】を選択してください。

■**Salutation**
電源を入れたときに、Salutation ポートの状態を、起動にするか停止にするかを設定します。初期値は【テイシ】です。Salutation を使う場合、【キドウ】を選択してください。

■**SMB**
電源を入れたときに、SMB ポートの状態を、起動にするか停止にするかを設定します。初期値は【キドウ】です。

■**EtherTalk**
電源を入れたときに、EtherTalk ポートの状態を、起動にするか停止にするかを設定します。初期値は【テイシ】です。EtherTalk を使う場合、【キドウ】を選択してください。

■**IPP**
電源を入れたときに、IPP ポートの状態を、起動にするか停止にするかを設定します。初期値は【テイシ】です。IPP を使う場合、【キドウ】を選択してください。

■**Port9100**
電源を入れたときに、Port9100 ポートの状態を、起動にするか停止にするかを設定します。初期値は【テイシ】です。Port9100 を使う場合、【キドウ】を選択してください。

初期化

NV メモリーに記憶されている本機の設定値、ハードディスク、集計レポートを初期化したり、システムリセットを行います。

補足

初期化によってそれぞれの設定は初期値に戻ります。初期値については、巻末の「共通メニュー一覧」を参照してください。

■**NV メモリ初期化**
NV メモリーを初期化します。NV メモリーとは、電源を切っても本機の設定内容を保持しておくことができる不揮発性のメモリーのことです。
NV メモリーを初期化すると、各種項目の候補値は初期値に戻ります。

■**ハードディスク初期化**
内蔵増設ハードディスク装置を初期化します。この項目は、内蔵増設ハードディスク装置を装着している場合に表示されます。

注記

ハードディスクを初期化すると、ハードディスク内に保存されているデータはすべて消去されます。

■**システムリセット**
システムリセットを実行します。

■**集計レポート初期化**
出力集計レポートの初期化を行います。

エージェント

SNMP エージェントを、起動にするか停止にするかを設定します。
エージェントは、SNMP を使用してプリンターを管理する場合に起動します。

■IPX 起動

トランスポート層のプロトコルとしてIPXを使う場合は【ON】にします。初期値は【OFF】です。

■UDP 起動

SNMP で使うトランスポート層のプロトコルとして UDP を使う場合は【ON】にします。初期値は【ON】です。

注記

UDP を使う場合は、コンピューター側、プリンター側ともに IP アドレスの設定が必要です。

■コミュニティ登録

SNMP を使用してプリンターに対して設定するためのコミュニティー名を設定します。初期値は【ミトウロク】です。

注記

コミュニティ登録は、IPX 起動、または UDP 起動が【ON】の場合に表示されます。

インターネットサービス

CentreWare Internet Services を使うかどうかを設定します。
【キドウ】に設定すると、CentreWare Internet Services を利用し、Web ブラウザーを介して本機の状態やジョブの状態を表示したり、本機の設定を変更したりできます。初期値は【キドウ】です。

補足

インターネットサービスを起動する場合は、コンピューター側、プリンター側ともに IP アドレスの設定が必要です。

Ethernet 設定

Ethernet インターフェイスの通信速度を設定します。
候補値は次のとおりです。
【AUTO(T/TX)】(初期値)
100BASE-TX と 10BASE-T を自動的に切り替えます。
【100BASE-TX】
100BASE-TX に固定して使う場合に選択します。
【10BASE-T】
10BASE-T に固定して使う場合に選択します。

ネットプロトコル設定

■TCP/IP 設定　＊補足（1）

TCP/IP を使うために必要な情報（IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイアドレス）を DHCP(Dynamic Host Configuration Protcol) サーバーから自動的に取得するか、手動で指定するかを設定します。手動で設定するアドレスについては、ネットワーク管理者に確認してください。

【DHCP カラアドレスシュトク】

【スル】(初期値)

IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイアドレスを DHCP サーバーから自動的に取得します。

【シナイ】

アドレスを手動で設定します。【シナイ】に設定すると、IP アドレスの設定画面が表示されます。

【IP アドレス】【サブネットマスク】【ゲートウェイアドレス】

IP アドレスとゲートウェイアドレスには、xxx.xxx.xxx.xxx の形式で入力します。xxx は 0 ～ 255 までの数値です。サブネットマスクには、xxx.xxx.xxx.xxx の形式で、0、128、192、224、240、248、252、254、255 の数値を xxx に設定します。

注記

- 誤った IP アドレスを設定すると、ネットワーク全体に悪影響を及ぼすことがあります。
- サブネットマスクの設定では、正しい値を入力しなかった場合（途中のビットを "0" に設定した場合など）、数値の設定後に（メニュー）を押しても、前回の設定値に戻ります。正しい値が設定されるまで、ほかの項目設定へ移行できません。
- 明示的にゲートウェイアドレスを指定する必要があるときだけ設定してください。動的にゲートウェイアドレスが設定できる環境では、設定する必要はありません。

■IPX/SPX 設定

IPX/SPX の動作フレームタイプを設定します。

候補値は次のとおりです。

【AUTO】（初期値）

フレームタイプを自動で設定します。

【Ether Ⅱ】

Ethernet 仕様のフレームタイプを使います。

【802.3】

IEEE802.3 仕様のフレームタイプを使います。

【802.2】

IEEE802.3/802.2 仕様のフレームタイプを使います。

【SNAP】

IEEE802.3/802.2/SNAP 仕様のフレームタイプを使います。

注記

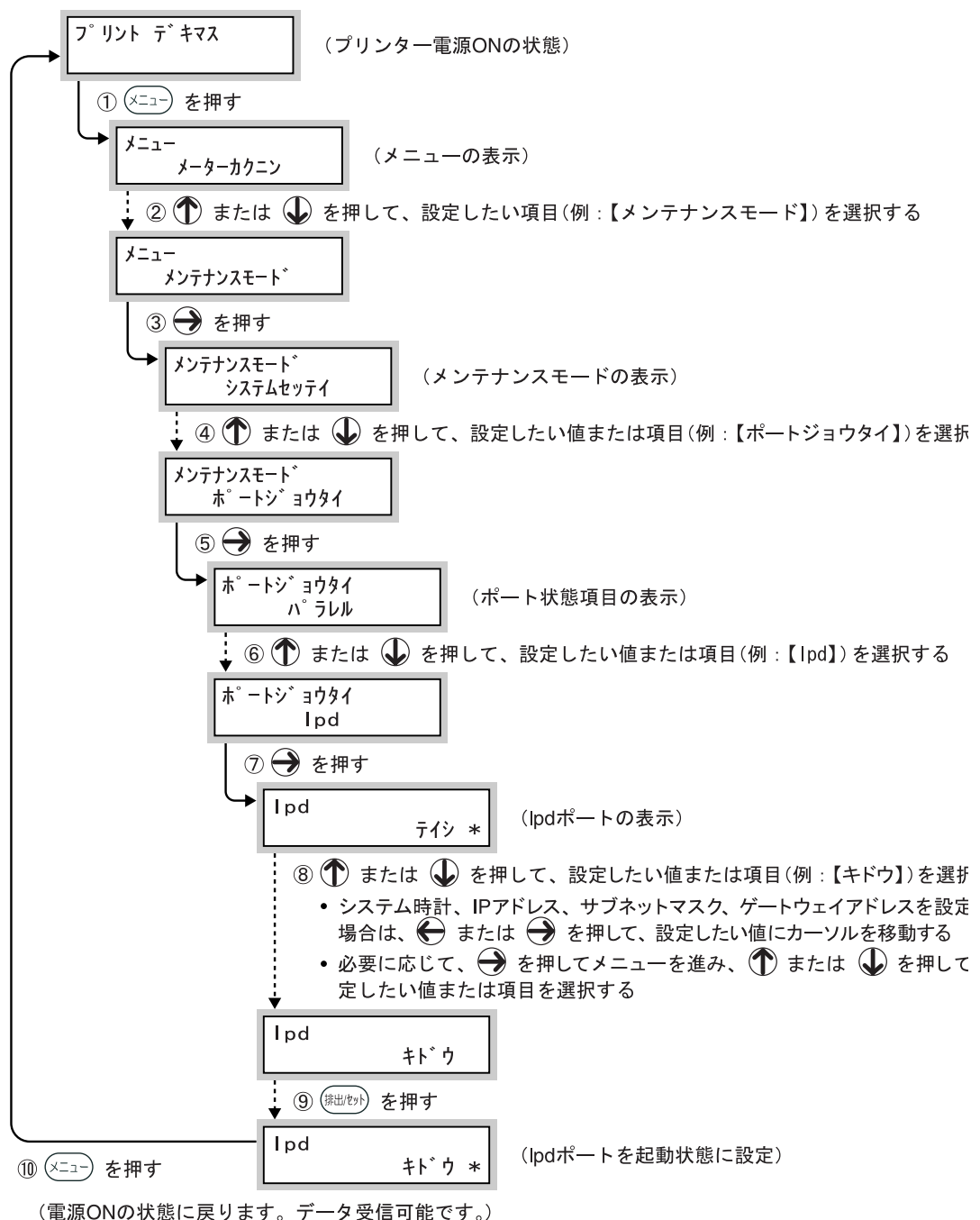
IPX/SPX 設定は、エージェントの IPX 起動を【ON】に設定、またはポート状態の NetWare を【キドウ】に設定すると表示されます。

＊補足（1）　⇧または⇩ボタンで候補値を変更するときに、ボタンを押し続けると、連続的に表示を変えることができます。また、⇧と⇩ボタンを同時に押すと、初期値が表示されます（【システム時間】、【IP アドレス】、【サブネットマスク】、【ゲートウェイアドレス】の設定は除く）。

6.2.3 共通メニューの設定を変更する

共通メニューの設定方法について、lpd ポートを起動に設定する場合を例にとって説明します。

補足

IP アドレスが無効（「0.0.0.0」）の場合に、lpd、Salutation、IPP、Port9100 のいずれかのポートを起動に設定すると、TCP/IP を設定する項目が表示されます。
その場合は、「2.3.2　アドレスの設定」の手順 7 〜 15 を参照して TCP/IP の設定をしてください。

6.3 レポート / リストを印刷する

ここでは、レポート / リストの種類と印刷方法について説明します。

6.3.1 レポート / リストの種類

本機には、コンピューターからの印刷データを印刷するほかに、次のレポート / リストを印刷する機能があります。

- **プリンター設定リスト**
- **スタートページ**
- **エラー履歴レポート**
- **プリンター履歴レポート**
- **ユーザ定義リスト**
- **集計レポート**
- **フォントリスト**
- **PS フォントリスト (PostScript ソフトウェアキット装着時)**
- **PR201H 設定リスト**
- **ESC/P 設定リスト**
- **HP-GL/2 設定リスト**

参照

- レポート / リストの印刷は、操作パネルから指示します。操作方法については、「6.3.2 レポート / リストの印刷方法」を参照してください。
- PR201H 設定リスト、ESC/P 設定リスト、HP-GL/2 設定リストについては、同梱されている CD-ROM 内の各エミュレーションの説明書を参照してください。

プリンター設定リスト

プリンター設定リストには、本機のハードウェア構成やネットワーク情報など、各種の設定状態が印刷されます。印刷される項目の詳細は、次のとおりです。

• General

プリント総ページ数	印刷した枚数が印刷されます。
ページ記述言語	利用できるプリント言語が印刷されます。
解像度	利用できる解像度が印刷されます。
ROM バージョン	装着されている ROM と、そのバージョンが印刷されます。
ハードディスク	内蔵増設ハードディスク装置の有無が印刷されます。ハードディスクがある場合は、使用容量と空き容量が印刷されます。
インタフェースボード	インターフェイスボードの種類が印刷されます。
給紙トレイ	利用できる給紙トレイが印刷されます。
両面機能	[あり] と表示されます。
排出ユニット	A4 専用スタッカートレイの有無が印刷されます。
フォント	フォント ROM の有無が印刷されます。PostScript フォント ROM を装着している場合、[PostScript モリサワフォント J2]、または [PostScript 平成フォント H3] と表示されます。

• Maintenance

スタートページ、スタッカーへの出力、節電モード移行時間、ART A4/ レター代替プリント、ART 白紙節約、プリント履歴自動出力、印刷可能領域、IPX/SPX 設定、プリンター管理エージェント、Ethernet 設定、CentreWare Internet Services 設定、WINS 設定、TCP/IP 設定の設定が印刷されます。

• Memory

メモリーの総容量と、ページバッファメモリー、ART ユーザー定義メモリー、フォームデータ、フォントキャッシュメモリー、各ポートの受信バッファメモリーの容量が印刷されます。また、PostScript ソフトウェアキットを装着している場合は、その使用メモリーも印刷されます。

• Interfaces

Parallel	プリントモード指定、JCL、Adobe 通信プロトコル、自動排出時間、双方向送信、インプットプライムの設定が印刷されます。
NetWare	プリントモード指定、JCL、動作モード、ネットワークアドレス、装置名、ツリー名（ディレクトリーモード時のみ）、コンテキスト名（ディレクトリーモード時のみ）、ファイルサーバー名（バインダリーモード時のみ）、ステータス情報が印刷されます。
lpd	プリントモード指定、JCL、受付 IP アドレス制限、TBCP フィルター、コネクションタイムアウトが印刷されます。
SMB	プリントモード指定、JCL、トランスポート指定、ワークグループ名、ホスト名、ユニコードサポート、自動マスターモード、パスワード暗号化、ステータス情報が印刷されます。
EtherTalk	プリントモード指定、JCL、プリンター名が印刷されます。
Salutation	ポート状態が印刷されます。
IPP	プリントモード指定、JCL、TBCP フィルターの設定が印刷されます。
Port9100	プリントモード指定、JCL、ポート番号、TBCP フィルター、コネクションタイムアウトの設定が印刷されます。

■印刷結果例：プリンター設定リスト

プリンター設定リスト

General

プリント総ページ数	325ページ
ページ記述言語(PDL)	PR201H, ESC/P, HP-GL/2® ART IV, PostScript® 3™
解像度	600dpi
ROMバージョン	
標準ROM	Ver. 0.2.13
PostScript®ROM	Ver. 0.2.13
ハードディスク	なし
インタフェースボード	Ethernet® 100BASE-TX/10BASE-T [Address:08:00:37:10:40:06]
給紙トレイ	用紙の種類/サイズ　用紙自動選択
トレイ1	普通紙/B5　する
トレイ2	普通紙/A3　する
トレイ3	普通紙/A4　する
手差しトレイ	普通紙/はがき　する
両面機能	あり
排出ユニット	スタッカートレイ
フォント	PostScript®平成フォントH3

Maintenance

スタートページ	する
スタッカーへの出力	する
節電モード	有効
節電モード移行時間	30分
ロートナー検知後のプリント	200枚で禁止
パネル表示	日本語
ART A4/レター代替プリント	する
ART白紙節約	しない
プリンター履歴自動出力	しない
印刷可能領域	標準
奇数ページの両面	片面
パネル操作制限	しない
パネル自動解除	しない
プリンター管理エージェント	起動
IPX	停止
UDP	起動
Ethernet®	自動(10BASE-T/100BASE-TX)
CentreWare Internet Services	起動
ポート番号	80
WINS	DHCPサーバーから取得しない
プライマリーWINSサーバー	000.000.000.000
セカンダリーWINSサーバー	000.000.000.000
TCP/IP	DHCPサーバーから取得しない
IPアドレス	xxx.xxx.xxx.xxx
サブネットマスク	xxx.xxx.xxx.xxx
ゲートウェイアドレス	xxx.xxx.xxx.xxx

Memory

総容量	96MB
ページバッファ	68228KB
ARTユーザー定義	32KB
フォームデータ(HP-GL/2®スプール)	32KB
フォントキャッシュ	192KB
PostScript®	4608KB
受信バッファー	
パラレル	64KB
lpd	
スプール	しない
サイズ	256KB
SMB	
スプール	しない
サイズ	256KB

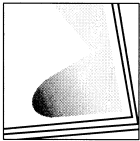
Interfaces

Parallel	起動
プリントモード指定	自動
JCL	有効
Adobe®通信プロトコル	Standard
自動排出時間	30秒
双方向送信	する
インプットプライム	有効
NetWare®	停止
lpd	起動
プリントモード指定	自動
JCL	有効
受付アドレス制限	しない
TBCPフィルター	有効
コネクションタイムアウト	16秒
SMB	起動
プリントモード指定	自動
JCL	有効
トランスポート指定	
TCP/IP	起動
NetBEUI	起動
ワークグループ名	WORKGROUP
ホスト名	FX-104006
ユニコードサポート	無効
自動マスターモード	有効
パスワード暗号化	有効
ステータス情報	正常
EtherTalk™	停止
Salutation™	停止
IPP	停止
Port9100	停止

2002/1/16 11:11:21
THE DOCUMENT COMPANY
FUJI XEROX

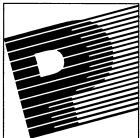
スタートページ

本機の電源を入れると、自動的にスタートページが印刷されます。スタートページには、本機のハードウェア構成、使用できるページ記述言語やネットワークプロトコルなどが印刷されます。初期値は、スタートページを印刷するように設定されています。

参照

スタートページを印刷しないように設定できます。設定方法については「6.3.2　レポート / リストの印刷方法」を参照してください。

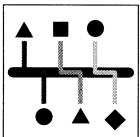
■印刷結果例：スタートページ

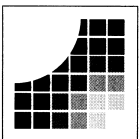
DocuPrint 360

プリント総ページ数 : 337ページ

全体

メモリー容量 : 96MB
ROMバージョン
標準ROM Ver. 0.2.13
PostScript®ROM　Ver. 0.2.13
ハードディスク : なし

給紙トレイ	用紙の種類/サイズ	用紙自動選択
トレイ 1	普通紙/B5	する
トレイ 2	普通紙/A3	する
トレイ 3	普通紙/A4	する
手差しトレイ	普通紙/8.5×11"	する

両面印刷ユニット : あり
排出ユニット : スタッカートレイ

フォント

PostScript®平成フォントH3

ページ記述言語(PDL)

PR201H Ver. 2.01
ESC/P Ver. 2.01
HP-GL/2® Ver. 4.01
ART IV Ver. 3.11
PostScript® 3™ Ver. 3010.108

コミュニケーション

Parallel
Ethernet® 100BASE-TX/10BASE-T Address 08:00:37:10:40:06
NetWare®　lpd　EtherTalk™　Salutation™　SMB　IPP　Port9100

画質

解像度　:　600dpi
ImageEnhancement
トナーセーブ機能

2002/1/16 11:26:14

AppleTalk、LocalTalk およびEtherTalkはApple Computer, Inc. の登録商標です。NetWare はNovell, Inc. の登録商標です。
XEROX、THE DOCUMENT COMPANY およびEthernet は登録商標または商標です。Adobe、PostScript、PostScript 3、PostScript ロゴはAdobe Systems Incorporated (アドビ システムズ社)の商標です。
Salutationは、Salutation Consortium,Inc.の商標です。

Adobe® PostScript® 3™

THE DOCUMENT COMPANY
FUJI XEROX

エラー履歴レポート

エラー履歴レポートには、プリンターに発生したエラーについて、最新の 50 件までの情報が印刷されます。

■印刷結果例：エラー履歴レポート

エラー履歴レポート　　2000/5/25 18:43:58

プリント総ページ数	バージョン
108ページ	0.4.11 0.4.11

日付	時刻	エラーコード	エラー分類名
2000/5/23	11:44:10	c4009524	E2-1 MSI Miss Feed Jam

プリンター履歴レポート

プリンター履歴レポートでは、コンピューターから送られた印刷データが、正しく印刷されたかどうかが確認できます。プリンター履歴レポートには、最新の 50 件までの印刷ジョブが印刷されます。このプリンター履歴レポートは、50 件を超えるごとに自動的に印刷させるかどうかを、操作パネルで設定できます。

■印刷結果例：プリンター履歴レポート

プリンター履歴レポート

2002/1/16 11:22:17

プリント総ページ数 バージョン
332ページ 0.2.13 0.2.13

日付	時刻	ポート	データタイプ	ホスト/ユーザー名:ドキュメント名	ページ数	排出先	ジョブ処理状態
2002/1/8	16:37:51		PS Sys/Start	:	0		正常終了
2002/1/8	16:37:52		Report/List	:スタートアップページ	1	センタートレイ	正常終了
2002/1/10	19:18:38		PS Sys/Start	:	0		正常終了
2002/1/10	19:18:40		Report/List	:スタートアップページ	1	センタートレイ	正常終了
2002/1/10	19:23:33		PS Sys/Start	:	0		正常終了
2002/1/10	21:35:59		Report/List	:PostScriptフォントリスト	1	センタートレイ	正常終了
2002/1/10	21:39:57		Report/List	:PostScriptフォントリスト	1	センタートレイ	正常終了
2002/1/11	13:43:02		PS Sys/Start	:	0		正常終了
2002/1/11	13:51:37	lpd	ART	DEMDG22:Printer Test Page	1	センタートレイ	正常終了
2002/1/11	14:08:05	lpd	PostScript®	DEMDG22:Common_PS_Manual.pdf	237	センタートレイ	正常終了
2002/1/11	17:18:36		PS Sys/Start	:	0		正常終了
2002/1/11	17:24:02		PS Sys/Start	:	0		正常終了
2002/1/11	17:24:04		Report/List	:スタートアップページ	1	センタートレイ	正常終了
2002/1/15	13:22:51		PS Sys/Start	:	0		正常終了
2002/1/15	14:18:00	lpd	ART	MDVEL:ﾃｽﾄ ﾍﾟｰｼﾞ	1	センタートレイ	正常終了
2002/1/15	15:59:19	lpd	ART	DEMDG22:manual.pdf	1	センタートレイ	正常終了
2002/1/15	16:00:15	lpd	ART	DEMDG22:manual.pdf	7	センタートレイ	正常終了
2002/1/16	11:10:05	lpd	ART	DEMDG22:http://www.page.sannet.ne.jp/y-k	1	センタートレイ	正常終了
2002/1/16	11:11:22		Report/List	:プリンター設定リスト	1	センタートレイ	正常終了
2002/1/16	11:12:57		Report/List	:エラー履歴レポート	1	センタートレイ	正常終了
2002/1/16	11:15:39	lpd	ART	DEMDG22:Microsoft Word - 文書1.doc	1	センタートレイ	正常終了
2002/1/16	11:16:31	lpd	XJCL	DEMDG22:Microsoft Word - 文書1.doc	0		強制終了
2002/1/16	11:17:27		Report/List	:エラー履歴レポート	1	センタートレイ	正常終了
2002/1/16	11:19:10	lpd	ART	DEMDG22:Microsoft Word - 文書1.doc	1	センタートレイ	正常終了
2002/1/16	11:20:48	lpd	ART	DEMDG22:Microsoft Word - 文書1.doc	1	センタートレイ	正常終了
2002/1/16	11:21:45		Report/List	:エラー履歴レポート	1	センタートレイ	正常終了

Adobe、PostScript、PostScript 3、PostScript ロゴは Adobe Systems Incorporated (アドビ システムズ社)の商標です。

ユーザー定義リスト

ユーザー定義リストには、フォームやロゴなどの利用者が定義した項目の一覧や、ART ユーザー定義領域の使用状況、ユーザー定義メモリー情報が印刷されます。

■印刷結果例：ユーザー定義リスト

ユーザー定義リスト　　2002/1/16 11:23:20

プリント総ページ数　333ページ
バージョン　0.2.13 0.2.13

ARTフォーム一覧

No.	c	Form Name	Byte	No.	c	Form Name	Byte	No.	c	Form Name	Byte	No.	c	Form Name	Byte	No.	c	Form Name	Byte

PR201Hフォーム一覧

No.	Form Name	Byte	No.	Form Name	Byte	No.	Form Name	Byte	No.	Form Name	Byte	No.	Form Name	Byte

ESC/Pフォーム一覧

No.	Form Name	Byte	No.	Form Name	Byte	No.	Form Name	Byte	No.	Form Name	Byte	No.	Form Name	Byte

ロゴ一覧

No.	Logo Name	Byte	No.	Logo Name	Byte	No.	Logo Name	Byte	No.	Logo Name	Byte	No.	Logo Name	Byte

ARTユーザー定義領域使用状況　（総バイト数・　32768バイト　空きバイト数　32768バイト）

データ	使用バイト数
ART外字データ	0
ART線タイプデータ	0
ARTグレーパターンデータ	0
ART描画パターンデータ	0
ARTコマンドマクロデータ	0

ユーザー定義メモリー情報　（PR201H,ESC/P,ART共通）

フォーム、ロゴ登録メモリーサイズ：　総バイト数　32768バイト　空きバイト数　28672バイト

-1-

集計レポート

出力集計レポートでは、ユーザー別（ジョブオーナー別）に、本機で印刷した総ページ数、使用した用紙の総枚数を確認できます。出力集計レポートは、データを初期化した時点からのカウントとなります。印刷される項目の詳細は、次のとおりです。

初期化日時	出力集計のデータを初期化した日時が印刷されます。
バージョン	装着しているプリンター ROM のバージョンです。
ジョブオーナー名	98 ユーザーまでのオーナー名が印刷されます。管理対象となるユーザー名は、プリンタードライバーの［ジョブオーナーの指定］で設定します。ジョブオーナーの指定をしない場合、または 98 人め以降のユーザーの印刷ジョブは、最後から 2 つめの「UnknownUser」欄に集計されます。レポート / リストの出力は、最後の「Report/List」欄に集計されます。
総ページ数	印刷した総ページ数です。
総枚数	印刷に使用した用紙の枚数です。

補足

出力集計レポートのデータを初期化する方法については「6.2 共通メニューの設定を変更する」を参照してください。

■印刷結果例：出力集計レポート

出力集計レポート

初期化日時 :2000/1/1　16:30:07　　レポート作成日時 :2002/1/16　11:24:34

バージョン
0.2.13 0.2.13

ジョブオーナー名	総ページ数	総枚数
Administrator¥DEMDG22	11	10
Yamaguchi-Chikako¥DEMDG2	256	138
Yamaguchi-Chikako¥MDVEL	1	1
UnknownUser	15	15
Report/List	53	53
総合計	336	217

※「ページ数」は印刷された用紙の片面をひとつとして、
「枚数」は使用した用紙の枚数をひとつとして集計したものです。
2ページ構成のドキュメントを両面印刷した場合、「ページ数」は「2」、「枚数」は「1」と数えられます。

THE DOCUMENT COMPANY
FUJI XEROX

-1-

フォントリスト

フォントリストには、ART、201H、HP-GL/2、ESC/P で使用できるフォントの書体とサンプル文字列が印刷されます。

補足

PostScript フォントについては、「PostScript フォントリスト」を参照してください。

■印刷結果例：フォントリスト

フォントリスト

プリント総ページ数　334ページ
バージョン　0.2.13 0.2.13
2002/1/16 11:23:43

ART使用可能書体

項目	使用可能書体
本体	平成明朝Ｗ３、平成角ゴシックＷ５、ＦＭＴ Enhanced Classic、Enhanced Modern 、CS Times 、CS Times Italic 、CS Times Bold 、 CS Times Bold Italic、CS Triumvirate 、CS Triumvirate Italic 、CS Triumvirate Bold 、 CS Triumvirate Bold Italic 、CS Courier、CS Courier Oblique、CS Courier Bold、 CS Courier Bold Oblique、CS Symbol 、OCR-B Letterpress M

PR201H使用可能書体

項目	使用可能書体
本体	明朝、ゴシック ローマン、サンセリフ

ESC/P使用可能書体

項目	使用可能書体
本体	明朝、ゴシック ローマン、サンセリフ、OCR-B Letterpress M

HP-GL/2®使用可能書体

項目	使用可能書体
本体	明朝、ゴシック、ベクトル・ストローク・フォント（漢字） ローマン、サンセリフ、ベクトル・ストローク・フォント（ANK）

PostScript フォントリスト

PostScript フォントリストでは、PostScript ソフトウェアキットを装着している場合に、PostScript で使用できるフォントを確認できます。装着されている PostScript フォント ROM に含まれている書体と書体サンプルが印刷されます。また、本機にダウンロードしたフォントも印刷されます。

■印刷結果例：PostScript フォントリスト

PostScript®フォントリスト　1999/3/30　12:19:28

項目	使用可能書体
ハードディスク	NotDefFont

PostScript®フォントリスト　2002/1/16　11:24:11

項目	使用可能書体
PostScript® 平成フォントH3	平成明朝体™ W3, 平成角ゴシック体™ W5, 平成丸ゴシック体™ W4, Albertus®, Albertus Italic, Albertus Light, Antique Olive® Roman, Antique Olive Italic, Antique Olive Bold, Antique Olive Compact, Apple Chancery™, Arial™, Arial Italic, Arial Bold, Arial Bold Italic, Bodoni Roman, Bodoni Italic, Bodoni Bold, Bodoni Bold Italic, Bodoni Poster, Bodoni Poster Compressed, Carta™(✈♝⊕▲★), Chicago™, Clarendon* Roman, Clarendon Light, Clarendon Bold, Cooper Black, Cooper Black Italic, Copperplate Gothic 32BC, Copperplate Gothic 33BC, Coronet™, Courier, Courier Oblique, Courier Bold, Courier Bold Oblique, Eurostile™ Medium, Eurostile Bold, Eurostile Extended No.2, Eurostile Bold Extended No.2, Geneva™, Gill Sans®, Gill Sans Italic, Gill Sans Bold, Gill Sans Bold Italic, Gill Sans Condensed, Gill Sans Condensed Bold, Gill Sans Extra Bold, Gill Sans Light, Gill Sans Light Italic, Goudy Oldstyle, Goudy Oldstyle Italic, Goudy Bold, Goudy Bold Italic, Goudy Extra Bold, Helvetica*, Helvetica Oblique, Helvetica Bold, Helvetica Bold Oblique, Helvetica Condensed, Helvetica Condensed Oblique, Helvetica Condensed Bold, Helvetica Condensed Bold Oblique, Helvetica Narrow, Helvetica Narrow Oblique, Helvetica Narrow Bold, Helvetica Narrow Bold Oblique, Hoefler Text, Hoefler Text Italic, Hoefler Text Black, Hoefler Text Black Italic, Hoefler Ornaments( ), ITC Avant Garde Gothic® Book, ITC Avant Garde Gothic Book Oblique, ITC Avant Garde Gothic Demi, ITC Avant Garde Gothic Demi Oblique, ITC Bookman® Light, ITC Bookman Light Italic, ITC Bookman Demi, ITC Bookman Demi Italic, ITC Lubalin Graph® Book, ITC Lubalin Graph Book Oblique, ITC Lubalin Graph Demi, ITC Lubalin Graph Demi Oblique, ITC Mona Lisa® Recut, ITC ZapfChancery® Medium Italic, ITC Zapf Dingbats®(✿❍✱✼❋), Joanna®, Joanna Italic, Joanna Bold, Joanna Bold Italic, Letter Gothic, Letter Gothic Slanted, Letter Gothic Bold, Letter Gothic Bold Slanted, Marigold™, Monaco™, New Century Schoolbook Roman, New Century Schoolbook Italic, New Century Schoolbook Bold, New Century Schoolbook Bold Italic, New York™, Optima* Roman, Optima Italic, Optima Bold, Optima Bold Italic, Oxford™, Palatino* Roman, Palatino Italic, Palatino Bold, Palatino Bold Italic, Stempel Garamond™ Roman, Stempel Garamond Italic, Stempel Garamond Bold, Stempel Garamond Bold Italic, Symbol(αβχδε), Tekton™ Regular, Times* Roman, Times Italic, Times Bold, Times Bold Italic, Times New Roman®, Times New Roman Italic, Times New Roman Bold, Times New Roman Bold Italic, Univers* 55, Univers 55 Oblique, Univers 65 Bold, Univers 65 Bold Oblique, Univers 45 Light, Univers 45 Light Oblique, Univers 57 Condensed, Univers 57 Condensed Oblique, Univers 67 Condensed Bold, Univers 67 Condensed Bold Oblique, Univers 53 Extended, Univers 53 Extended Oblique, Univers 63 Extended Bold, Univers 63 Extended Bold Oblique, Wingdings™(♋♌♍♎♏), OCR-B Letterpress M
RAM	Courier

平成明朝体W3、平成角ゴシック体W5および平成丸ゴシック体W4は、(財)日本規格協会と使用契約を締結しているものです。
AdobeおよびPostScriptはAdobe Systems Incorporated (アドビ システムズ社)の商標です。
その他の全てのブランド名、製品名およびフォント名はそれらの所有者の商標もしくは登録商標です。

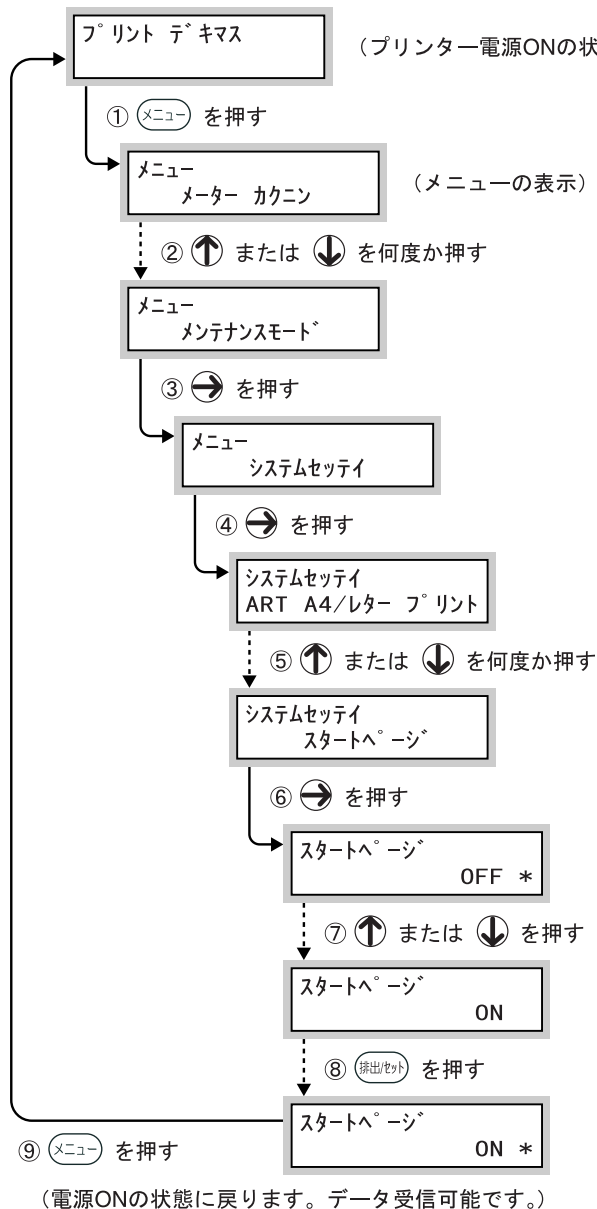
6.3.2 レポート / リストの印刷方法

スタートページと、それ以外のレポート / リストの例としてプリンター設定リストの印刷方法を説明します。

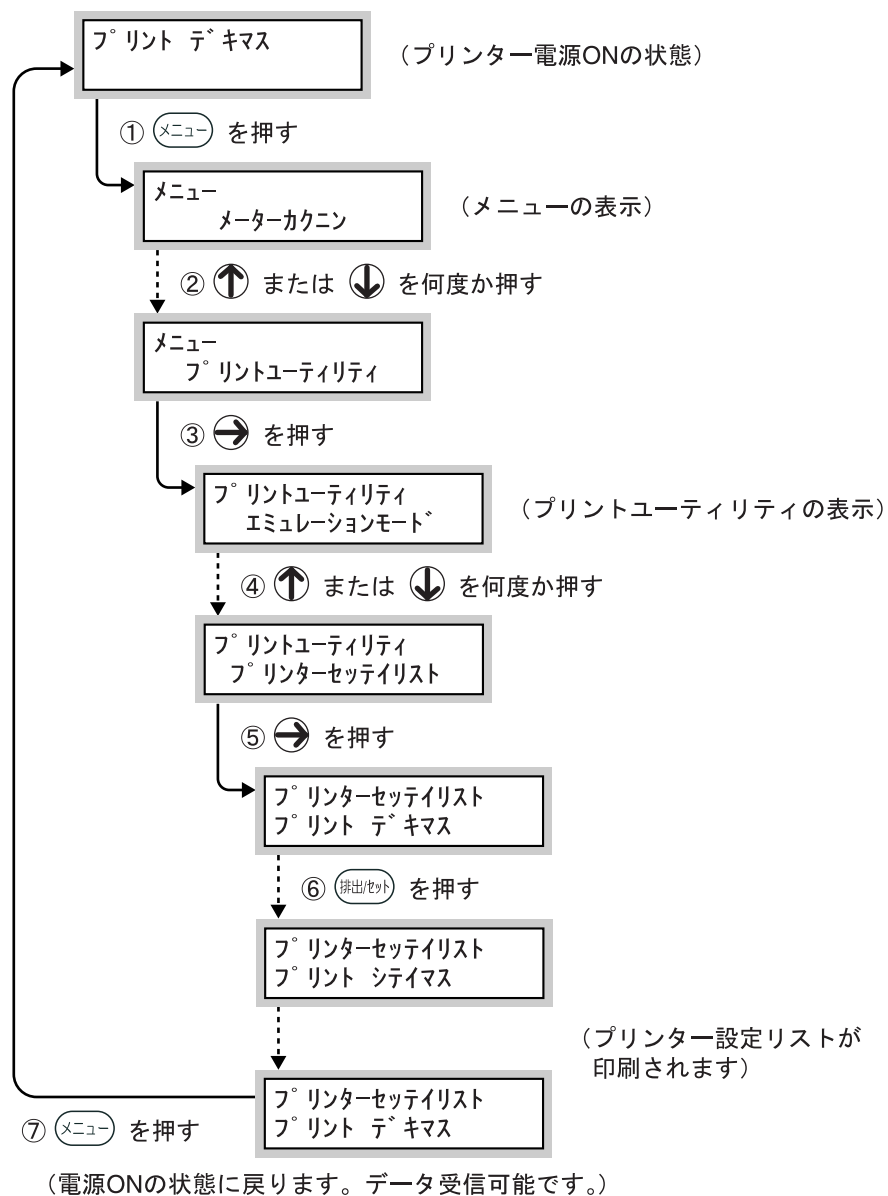
スタートページの場合

スタートページは、スタートページを【ON】に設定して本機の電源を入れると、自動的に印刷されます。

補足

- 工場出荷時は、【ON】(スタートページが印刷される)に設定されています。【OFF】に設定している場合には、以下の手順に従って【ON】に設定します。
- スタートページを印刷しないようにしたいときは【OFF】に設定します。

プリンター設定リストの場合

プリンター設定リストの印刷手順は、次のとおりです。

補足
スタートページプリント以外のレポート / リストは、この手順で印刷できます。

6.4 節電機能について

待機しているときの電力の消費を抑えるために、一定時間プリントデータを受信しないと、プリンターは自動的に節電モードになります。
節電モードになると、定着部、搬送部などへの電力の供給が停止します。
節電モード時の消費電力は、19W です。
自動的にパワーセーブモードになるまでの時間は、操作パネルを使って、1 〜 120 分の範囲で設定できます。
節電モードからプリントできる状態になるまでの時間は、約 40 秒（工場出荷時のポートの起動状態）です。
データを送信すると、節電モードが解除され、プリントできるようになります。

参照
節電時間の設定については、「6.2.2　共通メニューの項目一覧」を参照してください。

6.5 コンピューターからプリンターを設定する (CentreWare Internet Services)

6.5.1 CentreWare Internet Services の概要

CentreWare Internet Services は、TCP/IP 環境が使用できる場合に、Web ブラウザーを介して、本機の状態や印刷ジョブ状態の表示、設定の変更をするためのサービスです。
操作パネルで設定する項目のうち、システム設定、各ネットワークのポート設定などに関する項目は、本サービスのプロパティ画面で設定できます。
CentreWare Internet Services を利用できる環境、対象 OS、およびブラウザーは、次のとおりです。

使用できる環境

CentreWare Internet Services を利用するには、TCP/IP プロトコルを使用したネットワーク環境と、プリンター側でインターネットサービスを【キドウ】(工場出荷時：起動）にする必要があります。

対象 OS

Microsoft® Windows® 95 Operating System 日本語版（ServicePack 1 以上）
Microsoft® Windows® 98 Operating System 日本語版
Microsoft® Windows® Me Operating System 日本語版
Microsoft® Windows NT® Workstation 4.0 日本語版（ServicePack 4 以上）
Microsoft® Windows NT® Server 4.0 日本語版（ServicePack 4 以上）
Microsoft® Windows® 2000 Professional 日本語版（ServicePack 1 を含む）
Microsoft® Windows® 2000 Server 日本語版（ServicePack 1 を含む）
Microsoft® Windows® XP Professional 日本語版
Microsoft® Windows® XP Home Edition 日本語版
MacOS 8.0 以降

ブラウザー

Windows 用 Netscape Communicator ver4.51 以降の日本語版
Windows 用 Internet Explorer ver4.01SP2 以降の日本語版
Macintosh 用 Netscape Communicator ver4.5 以降の日本語版
Macintosh 用 Internet Explorer ver5.0 以降の日本語版

6.5.2 CentreWare Internet Services の画面構成

CentreWare Internet Services の画面構成について説明します。

上部エリア

ウィンドウの上部に表示されるエリアです。初期状態（トップページ表示）では、ロゴマーク、機種名が表示されています。各カテゴリーのページでは、ロゴマークと機種名に加えて、トップページへのリンクと、各カテゴリーに移動するためのタブ（リンク）が表示されます。

下部エリア

常に弊社のホームページへのリンク、Copyright 画面へのリンク、ヘルプへのリンクが表示されています。下部エリアは、どのページにも同じ内容が表示されます。

右側エリア、左側エリア

右側エリアと左側エリアの表示内容は、各カテゴリーの機能を選択するたびに変化します。

6.5.3 ブラウザーの設定

本サービスを利用する前に、使用する Web ブラウザーで次の設定を確認してください。

Netscape Communicator での確認

操作手順

1. ［編集］メニューの［設定］を選択します。
2. ［カテゴリ］で［詳細］を選択します。
3. ［カテゴリ］の［詳細］の左にある［+］を選択します。
4. ［詳細］の下の［キャッシュ］を選択します。
5. ［キャッシュしたドキュメントとネットワーク上のドキュメントとの比較］で、［セッション毎］または［毎回］を選択します。
6. ［OK］をクリックし、ダイアログボックスを閉じます。

Internet Explorer での確認

操作手順

1. バージョン 4.x では、［表示］メニューから［インターネット オプション］を、5.x では［ツール］メニューから［インターネット オプション］を選択します。
2. ［全般］タブにある、［インターネット一時ファイル］の［設定］をクリックします。
3. ［設定］ダイアログボックスの［保存しているページの新しいバージョンの確認］で、［ページを表示するごとに確認する］または［Internet Explorer を起動するごとに確認する］を選択します。
4. ［OK］をクリックし、ダイアログボックスを閉じます。

6.5.4 プロキシサーバーとポート番号について

本サービスを利用する場合の、プロキシサーバーの設定とポート番号について説明します。

プロキシサーバーの設定

本サービスを使用する場合には、プロキシサーバーを経由しないで直接接続することをお勧めします。

補足

プロキシサーバーを経由する場合は、ブラウザーで本機の IP アドレスを指定すると応答が遅くなり、画面が表示されない場合があります。その場合は、ブラウザー側で本機の IP アドレスを、プロキシサーバーを経由しない設定にします。設定方法については、各ブラウザーの説明書を参照してください。

ポート番号の設定

本サービスのポート番号は、工場出荷時は「80」に設定されています。ポート番号はプロパティ画面の［Internet Services］の［環境設定］で変更することもできます。設定できるポート番号は 80、8000 ～ 9999 です。
なお、ポート番号を変更した場合には、ブラウザーから接続するときに、アドレスの後ろに「:」に続けてポート番号を指定する必要があります。
たとえば、ポート番号を 8080 にした場合には、次のように指定します。

http://［本機のインターネットアドレス］:8080

または

http://［本機の IP アドレス］:8080

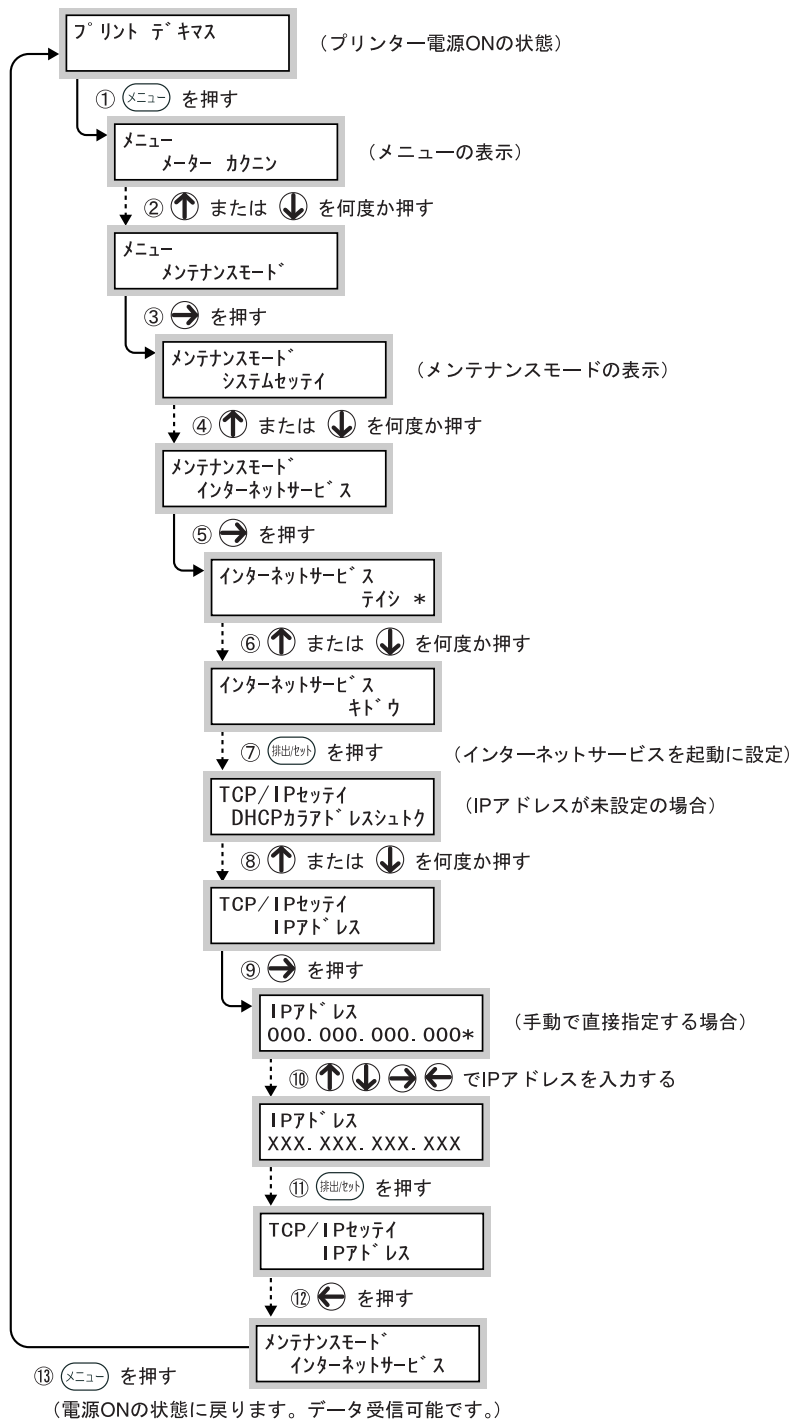
補足

ポート番号は、プリンター設定リストで確認できます。

6.5.5　プリンター側の設定

本サービスを停止している場合は、操作パネルで、次の手順に従って起動します。初期値は【キドウ】です。

注記

IP アドレスが無効 (「0.0.0.0」) の場合は、インターネットサービスを起動に設定したあとに、IP アドレスの設定を行います。表示に従って IP アドレスを設定してください。

6.5.6 CentreWare Internet Services を使用する

本サービスを使用する場合は、次の手順でブラウザーを起動します。

操作手順

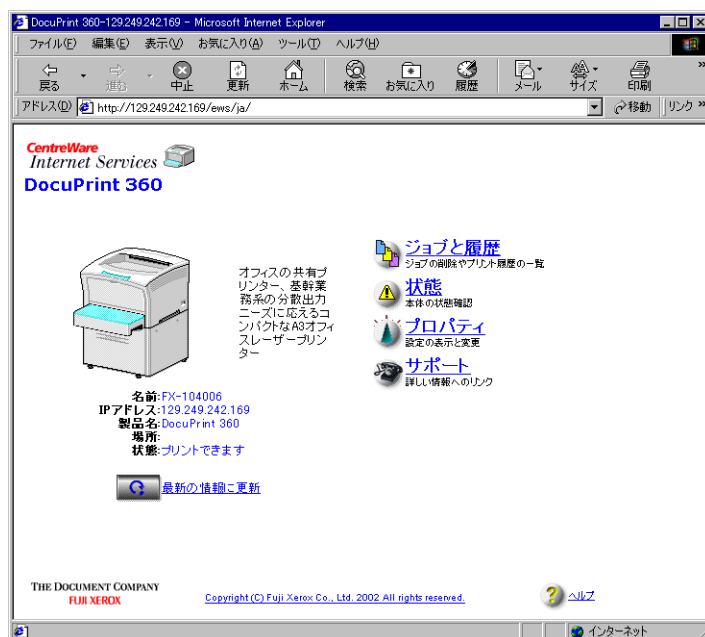
1 **コンピューターを起動し、ブラウザーを起動します。**

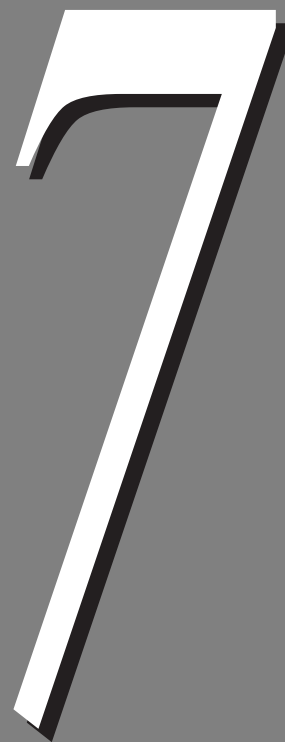
2 **ブラウザーのアドレス入力欄に、本機の IP アドレス、またはインターネットアドレスを入力し、〈Enter〉キーを押します。**

- **本機の IP アドレスを指定した例**

- **インターネットアドレスを指定した例**

補足
ポート番号を指定する場合には、アドレスの後ろに「:」に続けて「80」（工場出荷時のポート番号）を指定してください。

CentreWare Internet Services の画面が表示されます。

オンラインヘルプの使い方

各画面で設定できる項目の詳細については、［ヘルプ］をクリックして、オンラインヘルプを参照してください。

7章

トラブル対処方法

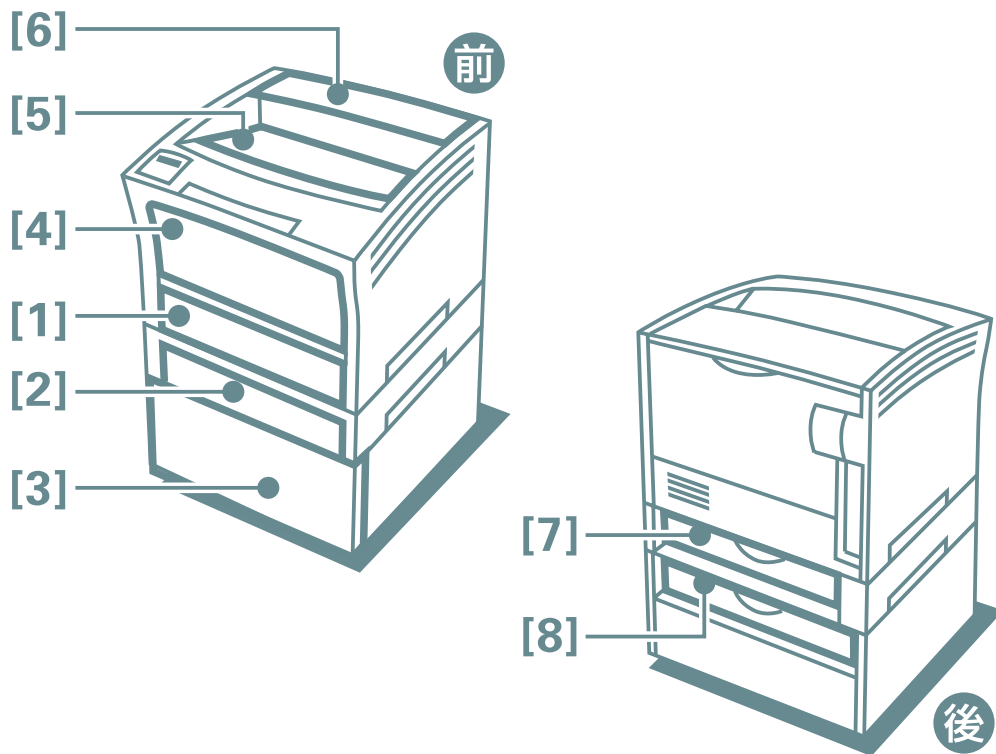
7.1 用紙が詰まったときは

用紙が詰まると本機が停止し、操作パネルに［カミヅマリ］メッセージが表示されます。
表示されるメッセージ内の番号は、本機の以下の部分を示しています。

状態表示コード	用紙の詰まった場所
[1]	トレイ 1
[2]	トレイ 2（オプション）
[3]	トレイ 3（オプション）
[4]	手差しトレイ
[5]	トップカバー
[6]	本体背面カバー
[7]	トレイ 2 背面カバー（オプション）
[8]	トレイ 3 背面カバー（オプション）

補足

オプションのスタッカーで用紙づまりが発生した場合は、スタッカーの背面カバーを開けるメッセージが表示されます。

各番号に対応する場所は、以下のとおりです。

補足

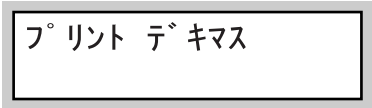
上記イラストは、オプションのペーパーフィーダー、大容量給紙モジュール、用紙カセット（A4）を装着している場合です。

ここでは以下のように、メッセージに表示される番号や、オプションのスタッカーの用紙づまりの処置の仕方を説明します。

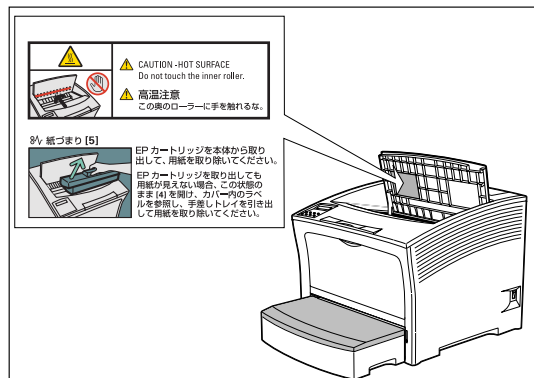
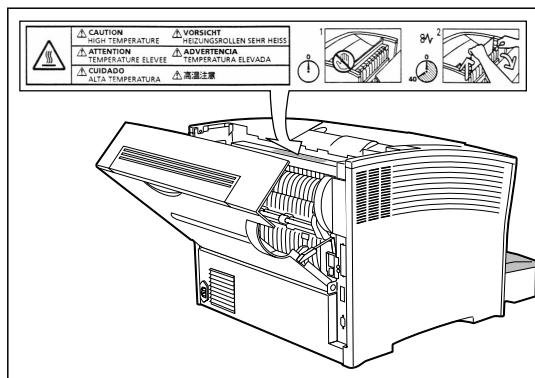
- **メッセージに［1］、［2］、［3］が表示されたとき** 参照 「7.1.1」
- **メッセージに［4］、［5］が表示されたとき** 参照 「7.1.2」
- **メッセージに［6］が表示されたとき** 参照 「7.1.3」
- **メッセージに［7］、［8］が表示されたとき** 参照 「7.1.4」
- **メッセージに［スタッカー］が表示されたとき** 参照 「7.1.5」

補足

用紙づまりには次のような原因が考えられます。用紙づまりを防ぐために、これらの点に注意してください。

- **本機が水平に設置されていない**
- **適切な用紙を使用していない**
- **手差しトレイや用紙カセットに用紙が正しくセットされていない**
- **用紙がカールしている**
- **手差しトレイのサイズ設定が違う**

注記

用紙を取り除くときは、用紙が破れないようにゆっくりと引き抜いてください。

- **詰まった用紙を取り除くときは、機械内部に紙片が残らないようすべて取り除いてください。紙片が残ったままになっていると火災の原因となるおそれがあります。**
  なお、紙片や用紙がヒーター部の見えない部分およびローラーに巻き付いているときは、無理に取らないでください。ケガややけどの原因となるおそれがあります。直ちに電源スイッチを切り、弊社のプリンターサポートデスクまたは販売店に連絡してください。
- **「高温注意」を促すラベルが貼ってある周辺（定着ユニットやその周辺）には、絶対に触れないでください。やけどの原因となるおそれがあります。**
  なお、ヒーター部やローラー部に用紙が巻き付いているときには無理に取らないでください。ケガややけどの原因となります。直ちに電源スイッチを切り、弊社のプリンターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。

用紙づまりの処置が終了すると、操作パネルのディスプレイに【プリントデキマス】と表示されます。エラーメッセージが消えない場合は、メッセージに従い、用紙づまりの処置を続けてください。

```
プリント デキマス
```

注記

次に印刷される用紙が汚れる場合がありますが、数枚印刷すると汚れはつかなくなります。

補足

複数の用紙が詰まった場合に用紙を取り除くと、自動的に本機内の用紙を排出することがあります。この場合、操作パネルのディスプレイには【オマチクダサイ ヨウシヲハイシュツシテイマス】と表示されます。

7.1.1　メッセージに[1]［2］［3]が表示されたとき

ここでは、メッセージに［1］、[2］、または［3］の場所での用紙づまりの処置方法を、用紙カセットの場合と大容量給紙モジュールの場合に分けて説明します。
お使いの用紙カセットにあわせて、用紙を取り除いてください。

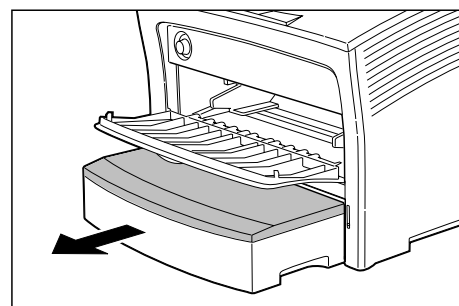
補足
［1］が表示された場合は、「用紙カセットの場合」を参照してください。

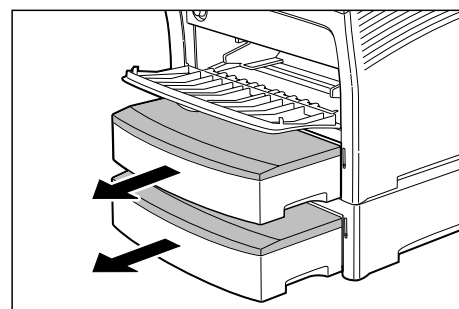
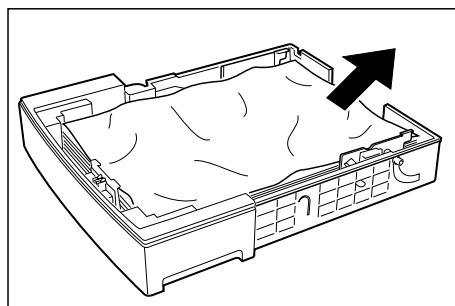
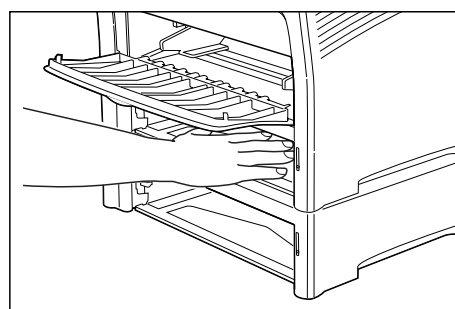
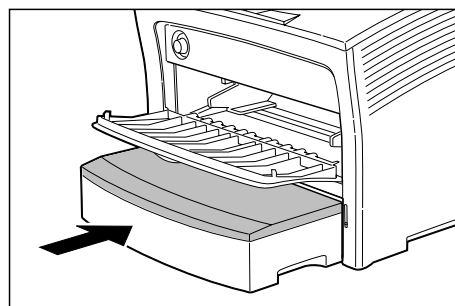
注記
以下の手順に従って用紙を取り除いても状態が改善されない場合は、「7.1.2　メッセージに［4］［5］が表示されたとき」を参照して用紙が詰まっていないかを確認してください。

用紙カセットの場合

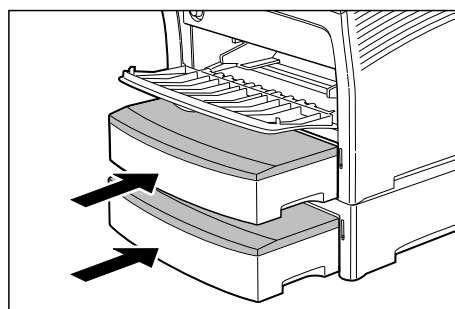
ここでは、用紙カセット(A3)の場合を例に説明します。

操作手順

1　用紙カセットを本機から抜き出します。

オプションのペーパーフィーダーを使用している場合には、それぞれの用紙カセットをペーパーフィーダーから抜き出します。

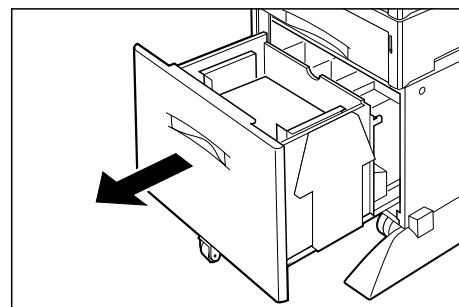
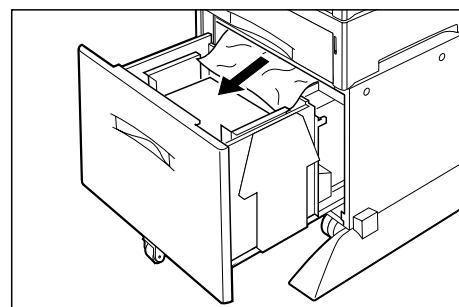
トラブル対処方法
7

2 **用紙カセット内にしわになっている用紙がある場合には、取り除きます。**

3 **用紙カセットを抜き出した本体の奥を点検し、詰まった用紙があれば取り除きます。**

4 **用紙カセットを本機の奥に突き当たるまで押し込みます。奥までしっかり押し込まれていることを確認してください。**

オプションのペーパーフィーダーを使用している場合には、それぞれの用紙カセットをペーパーフィーダーにセットします。

注記

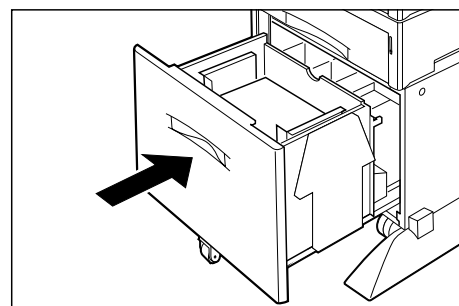
手順に従って用紙を取り除いても状態が改善されない場合は、「7.1.2　メッセージに［4］［5］が表示されたとき」を参照して用紙が詰まっていないかを確認してください。

大容量給紙モジュール（[2]または［3］のみ）の場合

次の手順に従って、用紙を取り除いてください。

操作手順

1 **大容量給紙モジュールの用紙トレイ上部のくぼみに手を入れ、用紙トレイを引き出します。**

2 **詰まった用紙があれば取り除きます。**

3 **用紙トレイを元に戻します。**

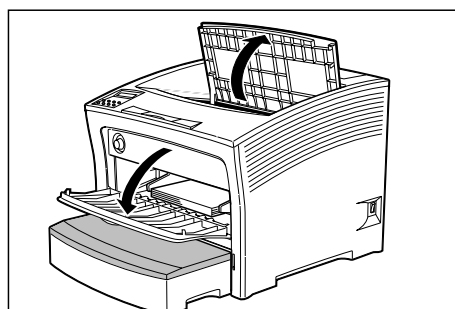
注記

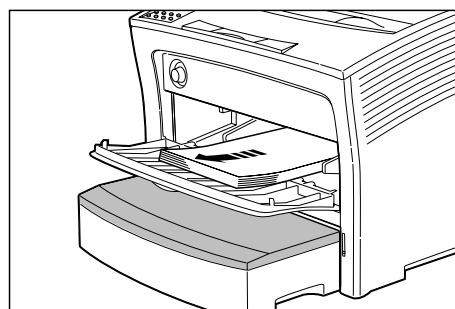
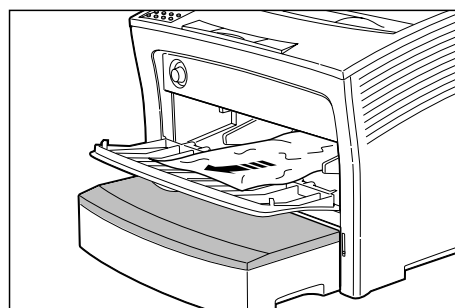
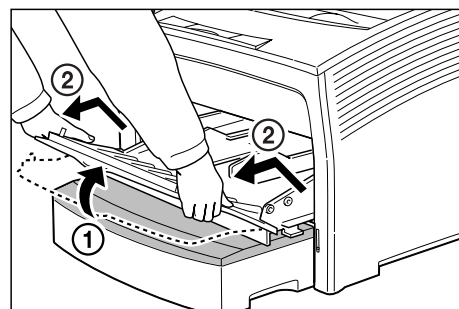
手順に従って用紙を取り除いても状態が改善されない場合は、「7.1.2　メッセージに［4］［5］が表示されたとき」を参照して用紙が詰まっていないかを確認してください。

7.1.2 メッセージに［4］［5］が表示されたとき

EP カートリッジ周辺から排紙口までの間に用紙が詰まっています。
次の手順に従って、用紙を取り除いてください。

操作手順

1 **トップカバー前方のくぼみに手を入れ、カバーを開きます。手差しトレイが閉じている場合には、手差しトレイを手前に開きます。**

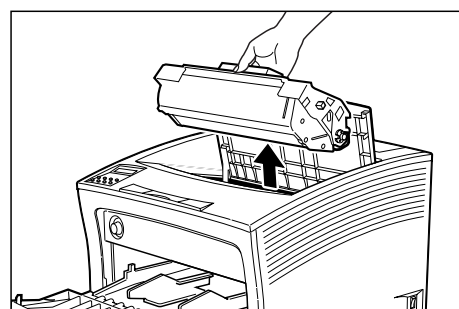
補足
排紙トレイに印刷された用紙がある場合は、トップカバーを開く前にその用紙を取り除いてください。排紙トレイに用紙を載せたままトップカバーを開くと、紙づまりなどの原因となることがあります。

⚠注意
トップカバーを開けるときは、確実に止まるまで開けてください。
また、閉じるときはゆっくりと閉じてください。
固定されていない状態で手を放すと勢いよく閉まり、手などをはさんでケガをするおそれがあります。

2 **手差しトレイから用紙を給紙していた場合には、手差しトレイにセットされている用紙を取り出します。**

3 **手差しトレイの奥（用紙の差し込み口付近）を点検し、詰まった用紙がある場合には取り除きます。**

4 手差しトレイの左右を持って少し傾けます（①）。さらに、軽く持ち上げながら手前に引き出します（②）。

5 EP カートリッジの取っ手を持ち、真上に引き上げます。

注記

EP カートリッジを取り外すときは途中で止めず、完全に引き抜いてください。EP カートリッジを途中まで引き出し、再度本機内部に挿入すると、ドラムシャッターが開かず故障の原因となることがあります。

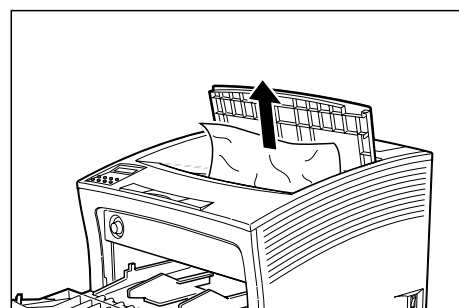
補足

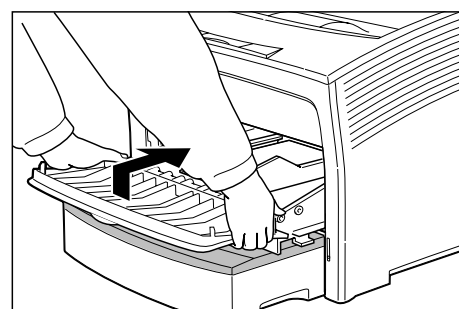
- トナーで床を汚さないよう､取り出したEPカートリッジを置く場所には､あらかじめ紙などを敷いておいてください。
- EP カートリッジの左側が引っかかるように感じても、そのまま引き上げてください。

6 EPカートリッジを抜き出した奥を点検し、詰まった用紙がある場合には取り除きます。

注記

用紙がない場合には、手差しトレイ側から奥を点検してください。

補足

EP カートリッジを抜き出した奥にあるローラーに手を触れないでください。やけどの原因となることがあります。

7 手差しトレイの左右を持って、突き当たるまで押し込みます。

軽く持ち上げさらに押し込み、元の位置に戻します。

8　EP カートリッジの取っ手を持ち、EP カートリッジの両側にある突起を本機内部の溝に合わせます（①）。次に、斜めに本機内部に挿入します（②）。

注記

本機内部の部品には、手を触れないでください。

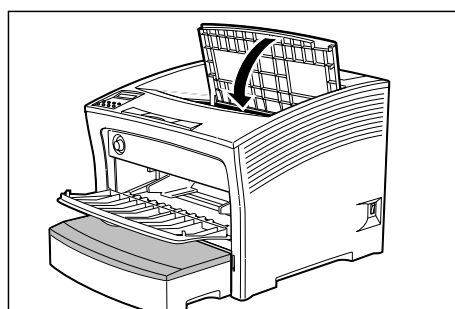
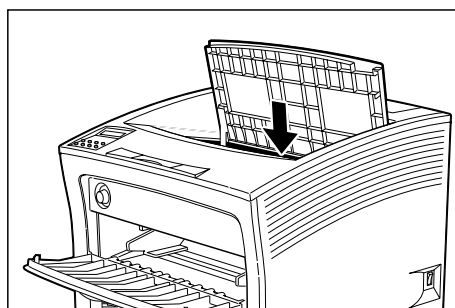
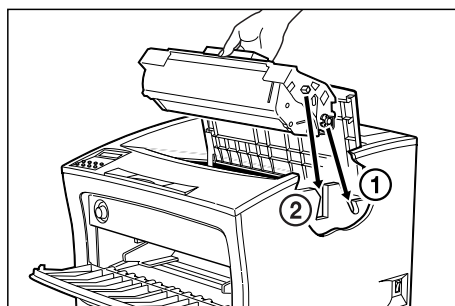
9　EP カートリッジを奥まで押し込みます。

注記

EP カートリッジは確実にセットしてください。

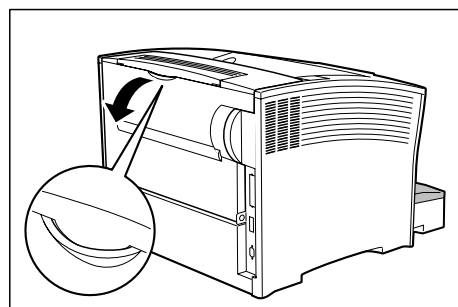
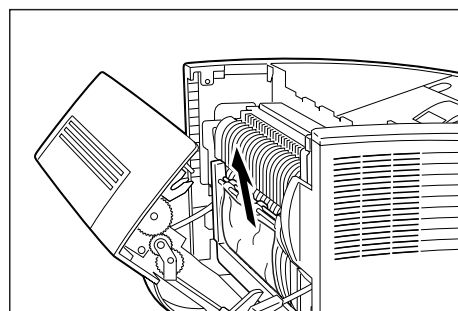
10　トップカバーを元に戻します。トップカバーの中央を上から押して、確実に閉じます。

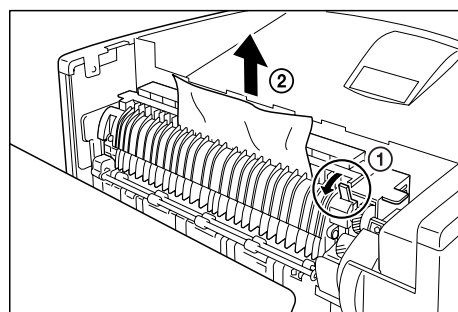
注記

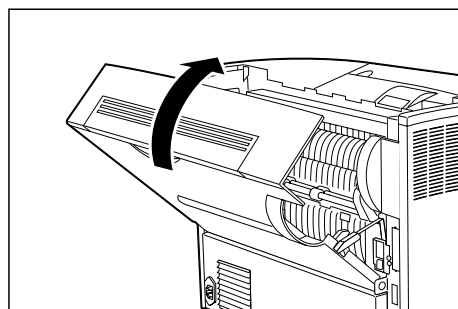
トップカバーが確実に閉じていることを確認してください。完全にロックされていないと、印刷不良が発生することがあります。トップカバーが閉じないときは、EP カートリッジを取り出して挿入し直してから、トップカバーを閉じてください。

7.1.3　メッセージに［6］が表示されたとき

次の手順に従って、用紙を取り除いてください。

操作手順

1 **本機背面のカバー上部のくぼみに手を入れ、手前に引いてカバーを開きます。**

2 **詰まっている用紙があれば取り除きます。**

3 **定着部（フューザーユニット）のつまみを手前に引き（①）、詰まっている用紙があれば取り除きます（②）。**

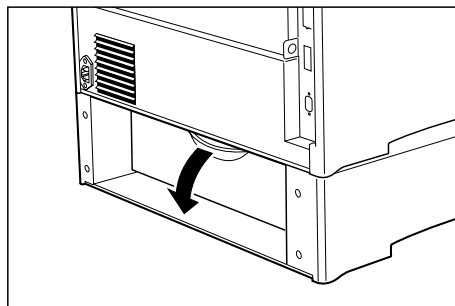
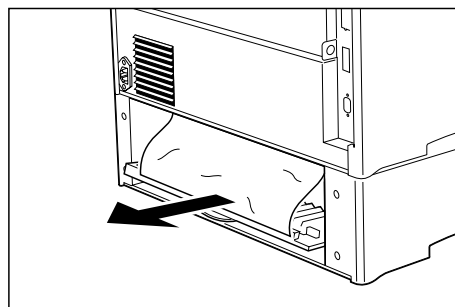
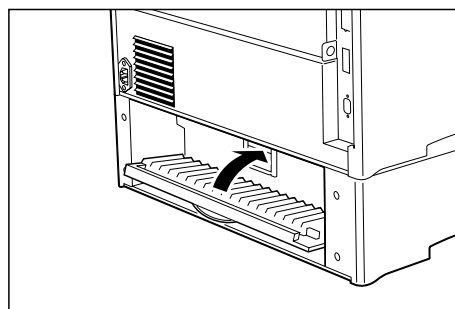
注記
印刷直後のフューザーユニットは、高温になっています。紙づまりを処理するためにフューザーユニットに触るときは、必ず電源スイッチを切り、40 分以上経過したあとに行ってください。やけどの危険があります。

4 **背面のカバーを閉じます。**

注記
カバーは確実に閉じてください。

7.1.4 メッセージに［7］［8］が表示されたとき

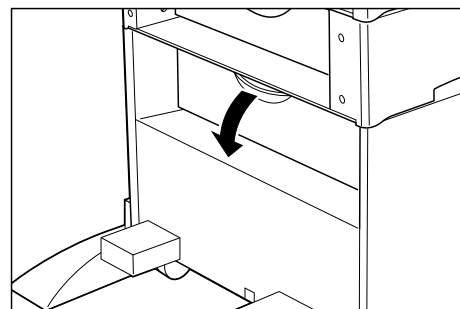
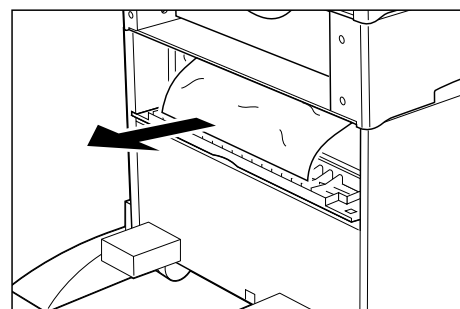
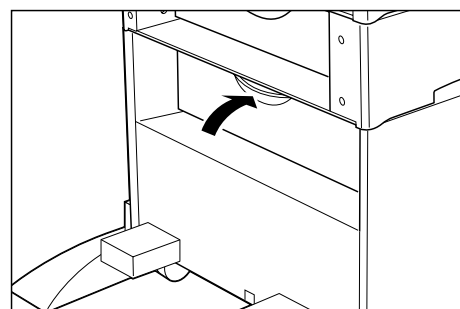
次の手順に従って、用紙を取り除いてください。

ペーパーフィーダーの場合

操作手順

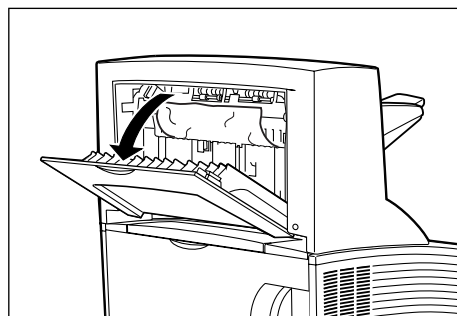
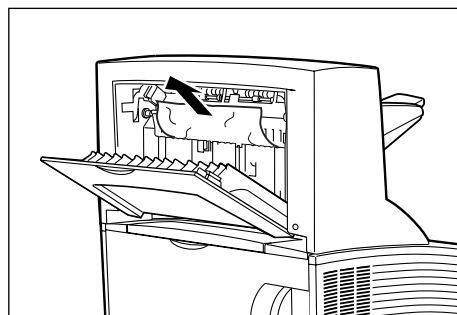
1 ペーパーフィーダー背面のカバーを開きます。

2 詰まった用紙があれば取り除きます。

3 ペーパーフィーダー背面のカバーを閉じます。

大容量給紙モジュールの場合

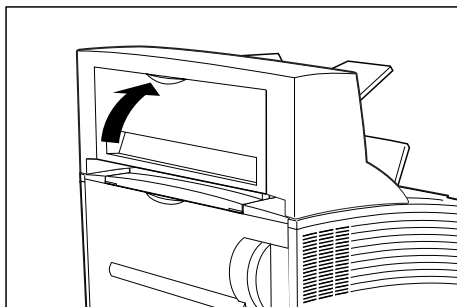
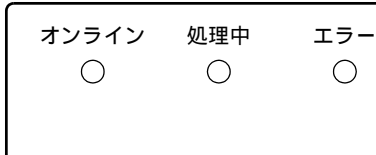
操作手順

1 **大容量給紙モジュール背面のカバーを開きます。**

2 **詰まった用紙があれば取り除きます。**

3 **カバーを閉じます。**

7.1.5　メッセージに［スタッカー］が表示されたとき

次の手順に従って、用紙を取り除いてください。

操作手順

1 **スタッカー背面のカバー上部のくぼみに手を入れ、手前に引いてカバーを開きます。**

2 **詰まっている用紙があれば取り除きます。**

3 **背面のカバーを閉じます。**

注記
カバーが確実に閉じていることを確認してください。

7.2 異常が発生したら

故障かなと思う前に、もう一度、本機の状態を確認しましょう。
それでも問題が解決しない場合は、「7.3 印刷品質が悪いとき」および「7.4 メッセージ一覧 (50 音順)」へ進んで、適切な処置を行ってください。

⚠警告

- **ネジで固定されているパネルやカバーなどは、取扱説明書で指示している箇所以外絶対に開けないでください。内部には電圧の高い部分があり、感電のおそれがあります。**
- **機械を改造したり、部品を変更して使用しないでください。火災のおそれがあります。**

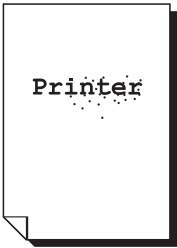
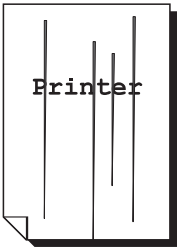
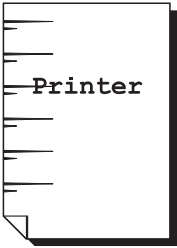
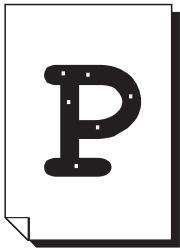
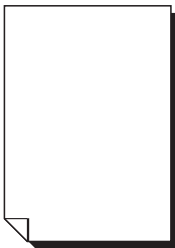
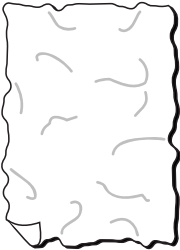
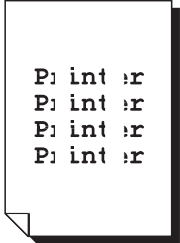
症　　状	原　　因	処　　置
電源が入らない	本機の電源スイッチが切れていませんか？	本機の電源スイッチを入れてください。
	電源コードが抜けていませんか？	本機の電源スイッチをいったん切り、電源コードを確実に差し込んでください。 その後、本機の電源スイッチを入れてください。
	電源の電圧が適切ですか？	電源が 100V（ボルト）、15A（アンペア）以上であることを確認してください。 本機の最大消費電力（1100W）に見合った電源容量が確保されていることを確認してください。 参照 「安全にご利用いただくために」

症　状	原　因	処　置
印刷できない	［オンライン］ランプが消灯していませんか？ 	本機がポーズ状態または、メニューを設定している状態になっています。下記の表示状態に応じて処置してください。 • 【ポーズシテイマス】 (ポーズ)を押して、ポーズ状態を解除します。 • その他 (メニュー)を押して、メニューを設定している状態を解除します。 参照 「1.2.2　操作パネル」
	ディスプレイにメッセージが表示されていませんか？	表示されているメッセージに従って処置してください。 参照 「7.4 メッセージ一覧 (50 音順)」
	本機とコンピューターを、パラレルインターフェイスケーブルで接続している場合、コンピューターが、双方向通信に対応していません。	工場出荷時、本機の双方向通信の設定は、ON になっています。コンピューターが、双方向通信に対応していないと、印刷できません。この場合は、本機の操作パネルで、双方向通信の設定を OFF にしてから印刷してください。 参照 「6.2.2 共通メニューの項目一覧」
印刷を指示したのに「処理中」ランプが点滅、点灯しない。	インターフェイスケーブルが抜けていませんか？	本機の電源スイッチをいったん切り、インターフェイスケーブルの接続を確認してください。
	使用するインターフェイスが起動に設定されていますか？	インターフェイスのポート状態を確認してください。 参照 「6.2　共通メニューの設定を変更する」
	コンピューター側の環境が正しく設定されていますか？	プリンタードライバーなどコンピューター側の環境を確認してください。
	メモリー容量が不足していませんか？	増設 SDRAM モジュール (64MB) を増設することをお勧めします。 補足 メモリーの容量が不足していると、本機は自動的にインターフェイスを「起動しない」に設定して、起動します。

症　状	原　因	処　置
手差しトレイに印刷指示を出したのに印刷されない	**印刷を指定したサイズの用紙がセットされていますか？**	**正しいサイズの用紙をセットして、再度、印刷指示をしてください。**
	手差しトレイサイズ設定ダイヤルは、セットした用紙サイズに合わせていますか？	**手差しトレイサイズ設定ダイヤルを、セットした用紙サイズに合わせてください。** 参照 「8.2.1 手差しトレイ」
印刷を指示していないのに、【プリントシテイマス】が表示される（パラレルインターフェイス使用時）	**本機の電源を入れたあとに、コンピューターの電源を入れませんでしたか？**	**そのまま5分間待つか、(モード)と(メニュー)を同時に押して、印刷を中止します。** 補足 本機の電源を入れるときには、コンピューターの電源が入っていることを確認してください。
印刷品質がよくない	**画像トラブルが発生しているおそれがあります。**	**後述の「印字品質が悪い場合」を参照して処置してください。** 参照 「7.3 印刷品質が悪いとき」
用紙の上端、または下端の印刷が欠ける	**用紙カセットの横ガイド、縦ガイドは、セットしている用紙のサイズに合っていますか？**	**用紙の端をそろえて用紙カセットにセットし直し、横ガイド、縦ガイドを用紙のサイズに正しく合わせてください。** 注記 縦ガイドは、用紙サイズの刻印に正しく合わせてください。特に、A4 サイズと 8.5 × 11(レター) サイズは刻印の位置が近いので、縦ガイドを合わせる位置を間違えないように注意してください。 参照 「8.2.2　用紙カセット」

症　状	原　因	処　置
正しい文字が印刷されない（文字化けが起こる）	**本機に標準搭載されていないフォントを使用して、印刷しています。**	**アプリケーションまたはプリンタードライバーの設定を確認してください。PostScript フォントを使用している場合は、オプションの内蔵増設ハードディスク装置を装着して必要なフォントをダウンロードしてください。**
	共通メニューの設定で指定したプリントモードと、印刷データのプリントモードが違います。	**印刷データに合ったプリントモードを指定してください。** 参照 「6.2 共通メニューの設定を変更する」
	本機のプリンタードライバーが選択されていません。	**本機専用のプリンタードライバーを選択してください。**
「処理中」ランプが点灯、点滅したまま排紙されない	**データが本機内に残っています。**	**印刷の中止、または残っているデータの強制排出をしてください。** 参照 「4.4 印刷を中止する / 確認する」 「4.5 印刷データを強制排出する」
用紙カセットの出し入れができない	**印刷中にカバーを開けたり、電源を切ったりしませんでしたか？**	**無理に用紙カセットを出し入れせずに、電源を切ってください。数秒経過後、電源を入れてください。本機がデータを受信できる状態になったことを確認して、用紙カセットの出し入れを行ってください。**

補足

印刷処理が正しく行われなかったとき、その情報はプリンター履歴レポートに保存されます。
印刷処理されていない場合は、プリンター履歴レポートを参照して印刷処理状況を確認してください。
正しく処理できない印刷データは破棄されることがあります。

参照

プリンター履歴レポートの印刷方法については、「6.3.2　レポート / リストの印刷方法」を参照してください。

7.3 印刷品質が悪いとき

印刷品質が悪いときは、次の表からもっとも近いと思われる症状を選び処置してください。該当する処置をしても印刷品質が改善されない場合は、弊社のプリンターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。

症　状	原　因	処　置
印刷がうすい（かすれる、不鮮明）	**用紙が湿気を含んでいます。**	**新しい用紙と交換してください。** 参照 「8.2 用紙を補給する / 用紙サイズを変更する」
	EP カートリッジが劣化、または損傷しています。	**新しいEPカートリッジと交換してください。** 参照 「8.3 EP カートリッジを交換する」
	EPカートリッジ内にトナーが残っていません。	**新しいEPカートリッジと交換してください。** 参照 「8.3 EP カートリッジを交換する」
黒点が印刷される	**使用している用紙が適切ではありません。**	**適切な用紙をセットしてください。** 参照 「8.1 用紙について」
	EP カートリッジが劣化、または損傷しています。	**新しいEPカートリッジと交換してください。** 参照 「8.3 EP カートリッジを交換する」
黒線が印刷される	**EP カートリッジが劣化、または損傷しています。**	**新しいEPカートリッジと交換してください。** 参照 「8.3 EP カートリッジを交換する」
等間隔に汚れが起きる	**用紙搬送路に汚れが付着しています。**	**数枚印刷してください。**
	EP カートリッジが劣化、または損傷しています。	**新しいEPカートリッジと交換してください。** 参照 「8.3 EP カートリッジを交換する」

症　状	原　因	処　置
黒くぬりつぶされた部分に白点が現れる	**使用している用紙が適切ではありません。**	**適切な用紙をセットしてください。** 参照 「8.1 用紙について」
	EP カートリッジが劣化、または損傷しています。	**新しいEPカートリッジと交換してください。** 参照 「8.3 EP カートリッジを交換する」
指でこするとかすれる	**用紙が湿気を含んでいます。**	**新しい用紙と交換してください。** 参照 「8.1 用紙について」
	使用している用紙が適切ではありません。	**適切な用紙をセットしてください。** 参照 「8.1 用紙について」
用紙全体が黒く印刷される	**EP カートリッジが劣化、または損傷しています。**	**新しいEPカートリッジと交換してください。** 参照 「8.3 EP カートリッジを交換する」
	高圧電源の故障が考えられます。	弊社のプリンターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。

症　状	原　因	処　置
何も印刷されない	EPカートリッジのトナーシールが引き抜かれていません。	EPカートリッジのトナーシールを引き抜いてください。 参照 「8.3 EPカートリッジを交換する」
	一度に複数枚の用紙が搬送されています（重送）。	用紙をよくさばいてからセットし直してください。 参照 「8.1 用紙について」
	EPカートリッジ内にトナーが残っていません。	新しいEPカートリッジと交換してください。 参照 「8.3 EPカートリッジを交換する」
	EPカートリッジが劣化、または損傷しています。	新しいEPカートリッジと交換してください。 参照 「8.3 EPカートリッジを交換する」
	高圧電源の故障が考えられます。	弊社のプリンターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。
白抜けが起こる	用紙が湿気を含んでいます。	新しい用紙と交換してください。 参照 「8.1 用紙について」
	使用している用紙が適切ではありません。	適切な用紙をセットしてください。 参照 「8.1 用紙について」
	EPカートリッジのトナーシールが完全に引き抜かれていません。	EPカートリッジのトナーシールを引き抜いてください。 参照 「8.3 EPカートリッジを交換する」

症　　状	原　　因	処　　置
用紙にシワがつく 文字がにじむ	使用している用紙が適切ではありません。	適切な用紙をセットしてください。 参照 「8.1 用紙について」
	用紙の継ぎ足しをしています。	適切な用紙をセットしてください。 参照 「8.2 用紙を補給する/用紙サイズを変更する」
	用紙が湿気を含んでいます。	新しい用紙と交換してください。 参照 「8.2 用紙を補給する/用紙サイズを変更する」
縦長に白抜けする	EPカートリッジが正しくセットされていません。	正しくセットし直してください。 参照 「8.3 EP カートリッジを交換する」
	EPカートリッジのトナーシールが完全に引き抜かれていません。	EP カートリッジのトナーシールを引き抜いてください。 参照 「8.3 EP カートリッジを交換する」
	EP カートリッジが劣化、または損傷しています。	新しいEPカートリッジと交換してください。 参照 「8.3 EP カートリッジを交換する」
	EPカートリッジ内にトナーが残っていません。	新しいEPカートリッジと交換してください。 参照 「8.3 EP カートリッジを交換する」
斜めに印刷される	用紙カセットのガイドクリップが正しい位置にセットされていません。	縦横のガイドクリップを正しい位置にセットしてください。 参照 「8.2 用紙を補給する/用紙サイズを変更する」

7.4 メッセージ一覧 (50 音順)

ここでは、本機のディスプレイに表示されるメッセージについて説明します。
メッセージには本機の状態を表すものと、エラーを表すものがあります。エラーメッセージについては、「原因」と「処置」を記載しています。

注記

- メッセージを、一定時間放置すると、本機内に残っている印刷データが廃棄されることがあります。長時間放置しないように気を付けてください。
- エラーメッセージが表示されたときは、本機内に残っている印刷データや、本機のメモリー上に蓄えられた情報は保証されません。

補足

表中の「*」は数字を表します。「xx」は用紙サイズ、または用紙の向きを表します。

メッセージ	原因 / 処置
A4orB4orA3 ノ ヨウシ ヲ セット シテクダサイ	**【原因】 A4、B4、または A3 の用紙がセットされていません。** 補足 本機のレポート / リストは、A4、B4、または A3 サイズの用紙に印刷されます。このため、A4、B4、または A3 サイズの用紙がセットされていないとこのメッセージが表示されます。 参照 「6.3　レポート / リストを印刷する」 **【処置】 A4、B4、または A3 サイズの用紙をセットしてください。** 参照 「8.2　用紙を補給する / 用紙サイズを変更する」
EP カートリッジ ヲ コウカンシテ クダサイ	**【原因】 ロートナーを検出してから印刷した枚数が 200 枚を超えました。EP カートリッジのトナーがありません。** **【処置】 新しい EP カートリッジに交換してください。** 参照 •「8.3 EP カートリッジを交換する」 • このメッセージを表示しないように設定できます。「6.2 共通メニューの設定を変更する」を参照してください。
EP カートリッジ ヲ セットシテ クダサイ	**【原因】 EP カートリッジがセットされていない、または正しくセットされていません。** **【処置】 EP カートリッジを正しくセットしてください。** 参照 「8.3 EP カートリッジを交換する」
HDD ファイル フリョウ セットキーデ ショキカシマス	**【原因】 ハードディスクのファイルシステムに異常があります。またはハードディスクがフォーマットされていません。** **【処置】 (排出/セット)を押してください。ハードディスクを初期化します。**

トラブル対処方法

7

メッセージ	原因 / 処置
H*-* デンゲン ヲ イチド キッテ クダサイ	【原因】 エラーが発生しました。 【処置】 本機の電源スイッチを切り、入れ直してください。 再び表示されたときは、H* または H*-* 部分の表示内容を書き写してください。 電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜き、弊社のプリンターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。
N*-* デンゲン ヲ イチド キッテ クダサイ	【原因】 エラーが発生しました。 【処置】 本機の電源スイッチを切り、入れ直してください。 再び表示されたときは、N* または N*-* 部分の表示内容を書き写してください。 電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜き、弊社のプリンターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。
PV ジョウホウガ キエマシタ セットキーデ ショキカシマス	【原因】 起動時に NVRAM（PV 管理情報エリア）の不良を検出しました。またはバージョンの不一致を検出しました。 【処置】 (排出/セット)を押してください。システムを初期化します。
ROM モジュール 1 ノ ROM ハ シヨウ デキマセン	【原因】 ROM モジュール用のスロット 1 に他機種用の ROM モジュールがセットされています。 【処置】 本機の電源スイッチを切り、装着した他機種用の ROM モジュールを取り外してください。 再び表示されたときは、電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜き、弊社のプリンターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。
ROM モジュールノ バージョンヲ カクニンシテ クダサイ	【原因】 複数装着されている ROM モジュールのバージョンが合っていません。または、使用できない組み合わせの ROM モジュールが装着されています。 【処置】 複数の ROM モジュールを装着する場合には、メジャーバージョン、およびマイナーバージョンを一致させてください。
U*-* デンゲン ヲ イチド キッテ クダサイ	【原因】 エラーが発生しました。 【処置】 本機の電源スイッチを切り、入れ直してください。 再び表示されたときは、U* または U*-* 部分の表示内容を書き写してください。 電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜き、弊社のプリンターサポートデスクまたは販売店にご連絡ください。
xxxx ノ ヨウシ ヲ ホキュウシテ クダサイ	【原因】 用紙カセットに、指定したxxxxサイズの用紙がありません。 【処置】 用紙カセットに指定したサイズの用紙を補給してください。 参照 「8.2 用紙を補給する / 用紙サイズを変更する」
xx xx ノ ヨウシ ヲ セット シテクダサイ	【原因】 xx サイズの用紙が、xx の向きにセットされていません。 【処置】 xx サイズの用紙を、xx の向きにセットしてください。 参照 「8.2 用紙を補給する / 用紙サイズを変更する」

メッセージ	原因 / 処置
イーサネット ケーブル ヲ カクニンシテ クダサイ	【原因】 イーサネット上がビジー状態か、または、ケーブルが正しく接続されていません。 【処置】 イーサネットケーブルを確認してください。
オマチクダサイ	【状態】 本機のシステム状態を診断 / 初期化しています。電源スイッチの投入時や、システムリセット時に表示されます。しばらくすると、【プリントデキマス】のメッセージに変わります。 補足 • コンピューターからの印刷データは受信できません。 • 受信データを印刷するための、ウォームアップ中です。 または、本機内部に残っている印刷データを強制排出するための、ウォームアップ中です。 補足 コンピューターからの印刷データを受信できます。
カミヅマリ [*] ヲ アケテ クダサイ	【原因】 紙づまりが発生しています。 【処置】 操作パネルの指示に従って、詰まっている用紙を取り除いてください。 参照 「7.1 用紙が詰まったときは」
カミヅマリ [6] ヲアケ [5] ノナカノ カートリッジヲトル	【原因】 紙づまりが発生しています。 【処置】 操作パネルの指示に従って、詰まっている用紙を取り除いてください。 参照 「7.1 用紙が詰まったときは」
カミヅマリ スタッカーノ リア カバーヲ アケテ クダサイ	【原因】 紙づまりが発生しています。 【処置】 操作パネルの指示に従って、詰まっている用紙を取り除いてください。 参照 「7.1 用紙が詰まったときは」
システムセッテイガ キエマシタ セットキーデ ショキカシマス	【原因】 NV メモリーのバッテリー電圧が低下したため、システム設定の記憶が消えました。 【処置】 (排出/セット)を押してください。システムを初期化します。
スタッカー ノ リアカバー ヲ トジテ クダサイ	【原因】 スタッカーの背面カバーが開いています。 補足 このメッセージは、スタッカー装着時に表示されます。 【処置】 スタッカーの背面カバーを閉じてください。
スベテノ データヲ チュウシ シテイマス	【状態】 本機内部に残っている印刷データを破棄中です。 補足 コンピューターからの印刷データは受信できません。

メッセージ	原因 / 処置
スベテノ データヲ ハイシュツ シテイマス	**【状態】 本機内部に残っている印刷データを強制排出中です。** 補足 コンピューターからの印刷データは受信できません。
ダイヨウリョウトレイ ノ リアカバーヲトジテクダサイ	**【原因】 大容量給紙トレイの背面カバーが開いています。** 補足 このメッセージは、大容量給紙モジュール装着時に表示されます。 **【処置】 大容量給紙トレイの背面カバーを閉じてください。**
ダウンロードジッコウチュウ	**【状態】 XJCL をダウンロードしています。**
チュウシ シテイマス xxxx トレイ *	**【状態】 印刷中のデータを破棄しています。** 補足 コンピューターからの印刷データを受信できます。
テザシトレイ ヲ オシモドシテ クダサイ	**【原因】 手差しトレイが手前に引き出されています。** **【処置】 手差しトレイを差し込んでください。**
テザシトレイニ xxxx ノ ヨウシヲ セットシテ クダサイ	**【原因】 手差しトレイに、指定した xxxx サイズの用紙がセットされていません。** **【処置】 手差しトレイに xxxx サイズの用紙をセットしてください。** 参照 「8.2 用紙を補給する / 用紙サイズを変更する」
テザシトレイニ ヒテイケイ ヨウシヲ セットシテクダサイ	**【原因】 手差しトレイに、非定型サイズが用紙切れです。** **【処置】 手差しトレイに非定型サイズの用紙を補給してください。** 参照 「8.2 用紙を補給する / 用紙サイズを変更する」
データマチデス xxxx	**【状態】 印刷データを待っている状態です。** 補足 コンピューターからの印刷データを受信できます。
トップ ト リア ノカバー ヲトジテ クダサイ	**【原因】 トップカバー、または背面カバーが開いています。** **【処置】 トップカバー、または背面カバーを閉じてください。**
トレイ * ヲ セット シテクダサイ	**【原因】 指定したトレイに、用紙カセットが正しくセットされていません。** **【処置】 用紙カセットを正しくセットしてください。** 参照 「8.2 用紙を補給する / 用紙サイズを変更する」

メッセージ	原因 / 処置
トレイ * ハ アリマセン チュウシキーヲ オシテクダサイ	**【原因】 トレイ * に用紙カセットがありません。または、用紙カセットが正しくセットされていません。** **【処置】 (モード) と (メニュー) を同時に押して、印刷を中止してから、トレイ * の用紙カセットを正しくセットしてください。** 参照 「8.2 用紙を補給する / 用紙サイズを変更する」
トレイ * ニ xxxx ノ ヨウシヲ セットシテクダサイ	**【原因】 トレイ * は、xxxx サイズに設定されていません。** **【処置】 トレイ * の用紙サイズを確認し、指定したサイズに変更し、xxxx サイズの用紙をセットしてください。** 参照 「8.2 用紙を補給する / 用紙サイズを変更する」
トレイ * ニ xxxx ノ ヨウシヲ ホキュウシテクダサイ	**【原因】 トレイ * の、指定した xxxx サイズが用紙切れです。** **【処置】 トレイ * に xxxx サイズの用紙を補給してください。** 参照 「8.2 用紙を補給する / 用紙サイズを変更する」
トレイ * ニ ヒテイケイヨウシ ヲ ホキュウシテクダサイ	**【原因】 トレイ * は、非定型サイズに設定されていません。** **【処置】 トレイ * の用紙サイズを確認し、指定したサイズに変更し、非定型サイズの用紙をセットしてください。** 参照 「8.2 用紙を補給する / 用紙サイズを変更する」
ハイシュツ シテイマス xxxx トレイ *	**【状態】 印刷データを排出しています。** 補足 コンピューターからの印刷データを受信できます。
ハイシュツトレイ ノ ヨウシ ヲ トリノゾイテ クダサイ	**【原因】 排出トレイの収容枚数を超えました。** **【処置】 排出トレイから用紙を取り除いてください。**
ハイシュツヨウシヲ トリノゾキ セットキーヲ オシテクダサイ	**【原因】 スタッカーの収容枚数を超えました。** **【処置】 スタッカーから用紙を取り除いてから、(排出/セット) を押してください。**
フォント ROM ハ シヨウ デキマセン	**【原因】 フォントROM用のスロットに他機種用のフォントROMがセットされています。** **【処置】 本機の電源スイッチを切り、装着したフォント ROM を取り外してください。**
プリント シテイマス xxxx トレイ *	**【状態】 印刷中です。** 補足 コンピューターからの印刷データを受信できます。

トラブル対処方法

7

メッセージ	原因 / 処置
プリント デキマス トナー ノ コウカンジキデス	**【状態】 EP カートリッジのトナーの残量が少なくなっています。新しい EP カートリッジを準備してください。** 参照 「8.3 EP カートリッジを交換する」 補足 印刷処理、およびコンピューターから印刷データの受信が可能です。
ポーズ シテイマス	**【状態】 ポーズ状態になっています。ポーズ状態を解除するには、再び〈ポーズ〉を押してください。** 補足 コンピューターからの印刷データは受信できません。
メモリブソクデス メモリ ヲ ツイカシテ クダサイ	**【原因】 メモリーが不足しています。** **【処置】 本機の電源スイッチを切り、増設 SDRAM モジュールや、内蔵増設ハードディスク装置を装着して、メモリーを増やしてください。** 参照 オプションに付属の説明書を参照してください。

7.5 TCP/IP 環境使用時のトラブル

7.5.1 印刷されないとき

Windows 95、Windows 98、Windows Me の場合

コンピューターの［スタート］メニューの［設定］から、［プリンタ］をクリックし、表示されたウィンドウで、本機の状態が「印刷不可状態（NetworkError）」と表示された場合の対処方法について説明します。

原因	確認方法	処置
本機が、コンピューターと異なるネットワークに接続されている。	ネットワークのシステム管理者に、コンピューターが接続されているネットワークと、本機が接続されているネットワークの間に、ルーターやゲートウェイが介在しているかどうかを確認する。	本機を、コンピューターが接続されているネットワークに直接接続してください。
コンピューターから本機までのネットワーク上に障害が発生して、コネクションが確立できない。	【印刷不可状態（NetworkError）】と表示される。	ネットワークのシステム管理者に、ネットワーク障害について調べてもらってください。
本機のIPアドレスを誤って入力している。	【印刷不可状態（NetworkError）】と表示される。 プリンターアイコンの［ファイル］メニューから［プロパティ］を選択し、［詳細］タブの［ポートの設定］を選択する。表示されたダイアログボックスの IP アドレスと、プリンター設定リストのIPアドレスを比較する。 参照 プリンター設定リストの印刷方法は、「6.3 レポート / リストを印刷する」を参照してください。	［ポートの設定］で表示されたダイアログボックスの IP アドレスに、本機に設定されているIPアドレスを正しく入力してください。
コンピューターから印刷指示をしたあと、本機の電源が切れたか、または電源が入っていない本機へコンピューターから印刷を指示した。	【印刷不可状態（NetworkError）】と表示される。 本機の電源が入っているか調べる。	本機の電源を入れてください。
本機に対して、多数のコンピューターから同時に印刷を指示している。	【印刷不可状態（NetworkError）】と表示される。	なし（自動的に印刷が再開されます）。

原因	確認方法	処置
コンピューターのディスク容量が不足しているので、印刷するファイルをスプールできない。	【印刷不可状態（SpoolError）】と表示される。 ［マイコンピュータ］を開き、Windows 95、Windows 98、Windows Meがインストールされているディスク（例 :C ドライブ）を右クリックする。表示されたメニューから［プロパティ］を選択し、空き領域を確認する。	不要なファイルを削除して、ディスクの空き領域を確保したあと、［プリンタ］ウィンドウの［ドキュメント］メニューから［一時停止］を選択し、停止状態を解除してください（印刷が再開されます）。

Windows NT 4.0、Windows 2000、Windows XP の場合

原因	確認方法	処置
正しいIPアドレスが設定されていない。	ネットワーク管理者に、本機の IP アドレスが正しいかどうかを調べてもらう。	本機に、正しい IP アドレスを設定してください。
【lpd スプール】を【メモリ】に設定している場合に、1 回の印刷指示でコンピューターから送信される印刷データの容量が、受信容量の上限を超えている。	【lpd スプール】のメモリー容量を確認して、1 回の印刷指示で送信しようとしている印刷データの容量と比較してみる。	• 印刷データ容量が、1 つのファイルで、メモリー容量の上限を超える場合は、そのファイルをメモリー容量の上限より小さいサイズに分割して印刷を指示してください。 • 印刷データ容量が、複数のファイルで、メモリー容量の上限を超える場合は、1 度に印刷を指示するファイル数を減らしてください。
印刷処理中に対処不可能な障害が発生した。	操作パネルのディスプレイでエラーが表示されていないかどうかを確認する。	電源を入れ直してください。
コンピューターと一致するトランスポートプロトコルを選択していない。	選択されているトランスポートプロトコルを確認する。	コンピューターと一致するトランスポートプロトコルを選択してください。

7.6 CentreWare Internet Services 使用時のトラブル

症　状	処　置
CentreWare Internet Services に接続できない。	本機は正常に作動していますか？ 本機の電源が入っているかどうかを確認してください。
	インターネットサービスが起動されていますか？ プリンター設定リストを印刷して確認してください。
	インターネットアドレスは正しく入力されていますか？ インターネットアドレスをもう一度確認してください。接続できない場合は、IP アドレスを入力して接続してください。
	プロキシサーバーを使用していますか？ プロキシサーバーによっては、接続できない場合があります。ブラウザーの設定を [プロキシサーバーを使用しない] にするか、接続したいアドレスを [プロキシサーバーを使用しない] に設定してください。
ブラウザーで「しばらくお待ちください」と表示されたままになる。	そのまましばらくお待ちください。 状態が変わらない場合は、[更新] ボタンを押してください。 [更新] ボタンを押しても状態が変わらない場合は、本機が正常に作動しているかどうかを確認してください。
[表示更新] ボタンが機能しない。	指定されている OS やブラウザーを使用していますか？ 「6.5.1 CentreWare Internet Services の概要」を参照して、使用している OS やブラウザーが使用できるかどうかを確認してください。
左側エリアのメニューを選択しても、右側エリアが更新できない。	
画面の表示が崩れる。	ブラウザーのウィンドウサイズを変更してください。
最新の情報が表示されない。	[表示更新] ボタンを押してください。
日本語が正しく設定できない。	シフト JIS コードを使用してください。また、半角カナ文字は使用できない場合があります。
[新しい設定を適用] ボタンを押しても反映されない。	入力した値は正しいですか？ 入力できる値以外を入力した場合は、自動的に制限値内に変更されます。
[新しい設定を適用] ボタンを押すと、ブラウザーに「無効なまたは認識されない応答をサーバーが返しました」や「データがありません」などのメッセージが表示される。	ユーザー名とパスワードは正しいですか？ 正しいユーザー名とパスワードを入力してください。
	本機を再起動してください。
漢字を入力できない。	「 * 」で表示される項目に漢字は入力できません。
削除したいジョブをチェックしても、途中でクリアされてしまう。	自動更新が設定されていませんか？ プロパティー画面の [Internet Services] の [環境設定] で [表示内容自動更新] を無効に設定するか、表示内容の自動更新時間を長く設定してください。
ジョブを削除できない。	しばらく待ってから [表示更新] ボタンを押してください。 [ジョブ一覧] の [lpd] でジョブを削除しても、[システム] では削除されない場合があります。この場合は、[システム] でもう一度ジョブを削除してください。
[lpd]、[SMB] を選択すると「スプールモードではありません」と表示される。	現在のページを表示したあとに、本機が再起動されていることがあります。[表示更新] ボタンを押してください。状態が変わらない場合は、Web ブラウザーで更新してください。

消耗品の補給 / 交換と日常の取り扱いについて

8.1 用紙について

8.1.1　使用できる用紙のサイズと枚数

各トレイにセットできる用紙のサイズと枚数は以下のとおりです。

トレイ	セットできる用紙サイズ	セットできる 用紙枚数 (弊社P紙)
用紙カセット（A3）	A3□、B4□、A4□、A4、B5、A5、8.5 × 14"（リーガル）□、 8.5 × 13"（リーガル）□、8.5 × 11"（レター）、 非定型□(幅：210 ～ 297mm、長さ：210 ～ 431mm) 補足 非定型サイズの用紙をセットする場合は、操作パネルの共通メニューで、用紙サイズの設定を変更してください。 参照 「5.6.2　用紙サイズを非定型に設定する」	500 枚
用紙カセット（A4）	A4、B5、A5、8.5 × 11"（レター）、官製はがき、 非定型□(幅：148 ～ 216mm、長さ：148 ～ 216mm) 補足 非定型サイズの用紙をセットする場合は、操作パネルの共通メニューで、用紙サイズの設定を変更してください。 参照 「5.6.2　用紙サイズを非定型に設定する」	500 枚
手差しトレイ	A3□、B4□、A4、B5、11 × 17"（レジャー）□、 8.5 × 14"（リーガル）□、8.5 × 13"（リーガル）□、 8.5 × 11"（レター）、官製はがき 非定型□(幅：100 ～ 297mm、長さ：148 ～ 431mm) 長尺 (297 × 900mm)□ 補足 8.5 × 13"（リーガル 13）□、8.5 × 14"（リーガル 14）□、11 × 17"（レジャー）□、非定型□、長尺 (297 × 900mm)□を使用する場合は、手差しトレイサイズ設定ダイヤルを「その他」に合わせてください。	150 枚
大容量給紙モジュール	A4、8.5 × 11"（レター）	2000 枚

注記
- 非定型サイズの用紙は、短辺を給紙口に向けてセットしてください。
- 官製はがきは、長辺を給紙口に向けてセットしてください。
- 官製はがき、非定型サイズ、および長尺サイズの用紙には、両面印刷はできません。
- 穴あき用紙を使って両面印刷する場合は、穴がない方を給紙口に向けてセットしてください。

8.1.2　使用できる特殊用紙の種類

各トレイにセットできる特殊用紙の種類は、以下のとおりです。

トレイ	セットできる特殊用紙
用紙カセット（A3）	OHP フィルム
用紙カセット（A4）	OHP フィルム / 官製はがき
手差しトレイ	OHP フィルム / 官製はがき / ラベル用紙

8.1.3　使用できる用紙の質量

各トレイには、次の質量の用紙をご使用ください。

トレイ	メートル坪量	連量
用紙カセット（A3）	60 〜 156g/ ㎡	52 〜 134kg
用紙カセット（A4）	60 〜 156g/ ㎡ 190g/ ㎡（官製はがき）	52 〜 134kg 163kg
大容量給紙トレイ	60 〜 156g/ ㎡	52 〜 134kg
手差しトレイ	60 〜 135g/ ㎡ 190g/ ㎡（官製はがき）	52 〜 116kg 163kg

注記
両面コピーをする場合は、メートル坪量 60 〜 105g/ ㎡の用紙を使用してください。

補足
メートル坪量とは、1 ㎡の用紙 1 枚の質量をいいます。
連量とは、四六版（788 × 1,091㎜）の用紙 1,000 枚の質量をいいます。

8.1.4　使用できない用紙

以下の用紙は、紙づまりや故障の原因になりますので、使用しないでください。

- 一度印刷された用紙
- 湿っている用紙、ぬれている用紙
- 静電気で密着している用紙
- 紙の表面が特殊コーティングされた用紙
- 150 ℃の熱で変質するインクを使った用紙
- カーボン紙
- ざら紙や繊維質の用紙など、表面がなめらかでない用紙
- 酸性紙を使用した場合は、文字ボケが出ることがあります。そのときは、中性紙に換えてください。
- 厚すぎる用紙、薄すぎる用紙
- しわや折れ、破れがある用紙
- 反っている (カールしている) 用紙
- 貼り合わせた用紙、のりが付いた用紙
- 表面加工したカラー用紙
- 感熱紙
- ホチキス、クリップ、リボン、テープなどが付いた用紙
- 台紙全体がラベルなどで覆われていないラベル紙

8.1.5　用紙の保管と取り扱い

用紙を保管するときには、以下のことに気を付けてください。

- 湿気が少ない場所に保管してください。
- 開封後、残りの用紙は包装してあった紙に包み、キャビネットの中や湿気の少ない場所に保管してください。
- 用紙は立てかけずに、平らな場所に保管してください。
- 直射日光の当たらない場所に保管してください。

用紙をセットする前に、以下の事項を守ってください。

- バラバラになった用紙を寄せ集めて使用しないでください。
- しわや折れ、破れがある用紙は使用しないでください。
- サイズが異なる用紙を重ねてセットしないでください。
- OHP フィルムやラベル用紙は、紙づまりや複数枚同時に送られることがあるので、よくさばいてから使用してください。

8.2 用紙を補給する / 用紙サイズを変更する

8.2.1 手差しトレイ

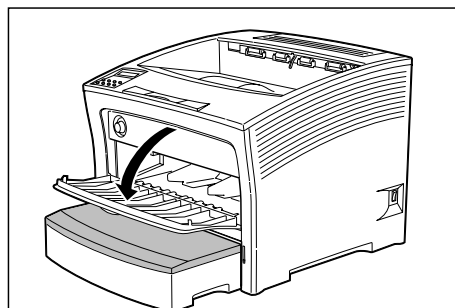
参照

- 手差しトレイにセットできる用紙については、「8.1 用紙について」を参照してください。
- 小さいサイズの用紙をセットする場合は、「小さいサイズの用紙をセットする場合」を参照してください。

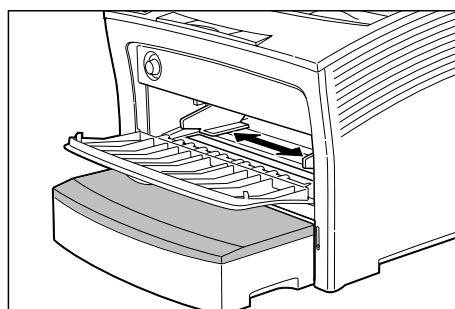
操作手順

1 本機前面の上部中央にあるくぼみに指をかけて、手差しトレイを開きます。

注記

手差しトレイは約 80°の角度に開きます。手差しトレイに必要以上の力をかけたり、用紙以外の重いものをのせないでください。破損の原因になります。

2 用紙ガイドを、これから使用する用紙サイズの目盛りに合わせます。

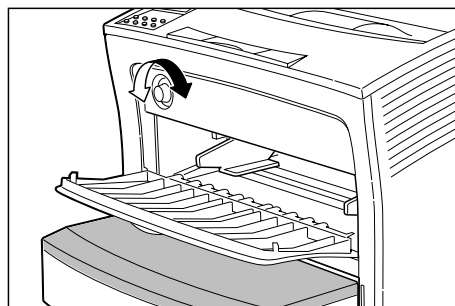
注記

用紙ガイドは、使用する用紙の幅に正しく合わせてください。用紙ガイドの位置がずれていると、用紙が正常に搬送されず、紙づまりの原因となることがあります。

補足

同じサイズの用紙を補給する場合には、用紙ガイドを移動する必要ありません。

3 手差しトレイサイズ設定ダイヤルを、使用する用紙サイズに合わせます。

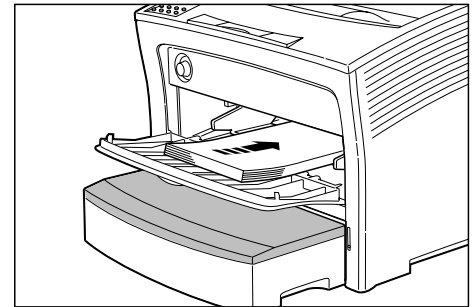
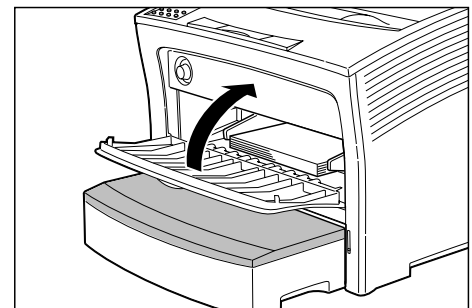
注記

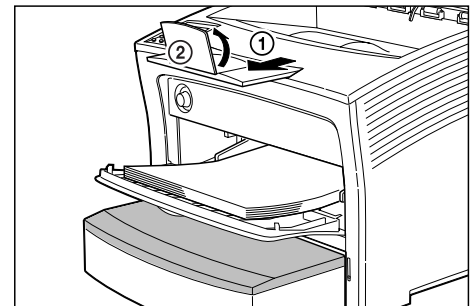
該当するサイズや向きがない場合は、手差しトレイサイズ設定ダイヤルを「その他」に合わせてください。
印刷中は、手差しトレイサイズ設定ダイヤルを操作しないでください。プリンターが誤作動する場合があります。

補足

手差しトレイサイズ設定ダイヤルの用紙の向きは、用紙の長辺を差し込んだときを □ と表します。

4 **用紙の四隅をそろえ、印刷したい面を上にして、差し込み口に軽く突き当たるまで入れます。**

注記

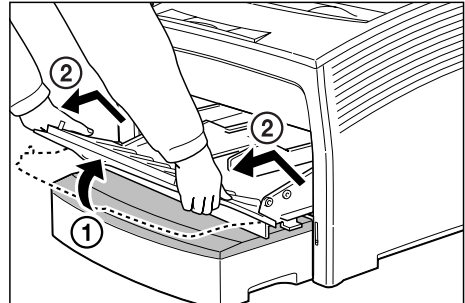
- 折りめやしわが入った用紙は使用しないでください。
- 最大収容枚数(弊社 P 紙で約 150 枚)以上の用紙をセットしないでください。

5 **長さがA4▭以下のサイズの用紙をセットした場合には、手差しトレイを閉じて本機を使用できます。**

参照

B4 以上の用紙を排紙する場合は、延長トレイを引き出し (①)、用紙止めを立てます (②)。

6 **操作パネルのディスプレイに【プリントデキマス】と表示されることを確認します。**

参照

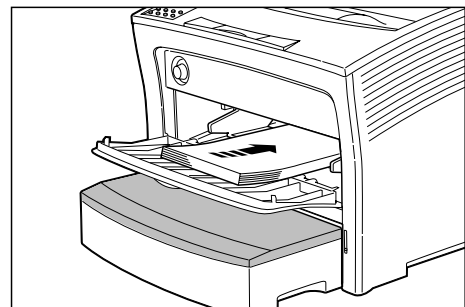
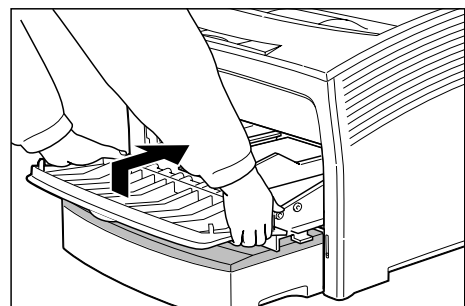
エラーメッセージが表示された場合には、「7.4 メッセージ一覧 (50 音順)」を参照して対処してください。

小さいサイズの用紙をセットする場合

1 **手差しトレイの左右を持って少し傾けます（①）。さらに、軽く持ち上げながら手前に引き出します（②）。**

2 **「8.2.1　手差しトレイ」の操作手順 3、4 を参照し、用紙ガイドと手差しトレイサイズ設定ダイヤルを、使用する用紙サイズに合わせます。**

3 **用紙の四隅をそろえ、印刷したい面を上にして、差し込み口に軽く突き当たるまで入れます。**

注記

- 非定型サイズの用紙は、短辺を給紙口に向けてセットしてください。
- 折りめやしわが入った用紙は使用しないでください。
- 最大収容枚数(弊社 P 紙で約 150 枚)以上の用紙をのせないでください。

4 **手差しトレイの左右を持って、突き当たるまで押し込みます。**

5 **操作パネルのディスプレイに【プリントデキマス】と表示されることを確認します。**

ﾌﾟﾘﾝﾄ ﾃﾞｷﾏｽ

参照

エラーメッセージが表示された場合には、「7.4 メッセージ一覧 (50 音順)」を参照して対処してください。

8.2.2 用紙カセット

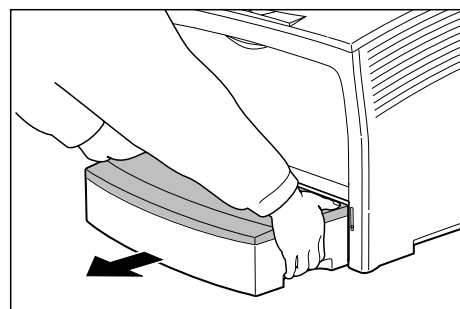
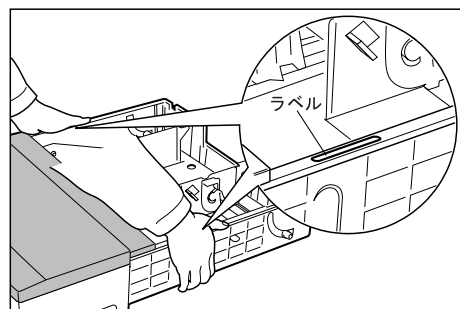
ここでは、用紙カセット（A3）を例に、用紙を補給する方法と用紙サイズを変更する方法を説明します。

参照

用紙カセットにセットできる用紙については、「8.1 用紙について」を参照してください。

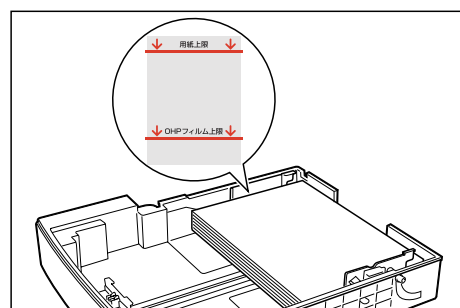
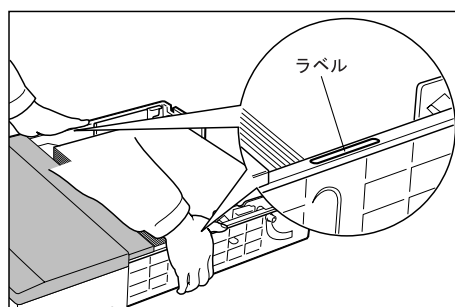
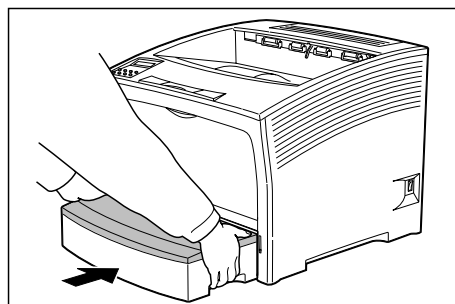
用紙の補給

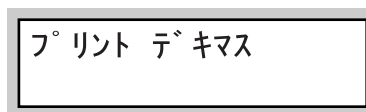
操作手順

1 **用紙カセットを軽く持ち上げながら、本機から引き抜きます。**

2 **緑色のラベルが貼ってある部分を両手で持ち、軽く持ち上げながら本機から抜き出し、平らな場所に置きます。**

3 **用紙の四隅をそろえ、印刷したい面を上にして、用紙カセットの中央に入れます。**

注記

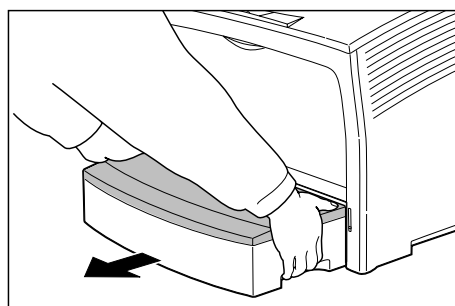
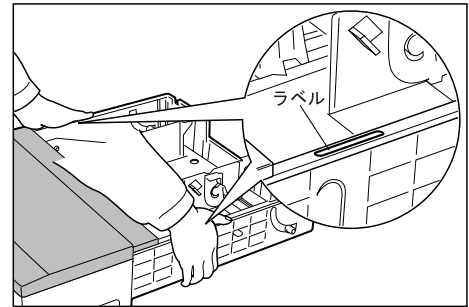
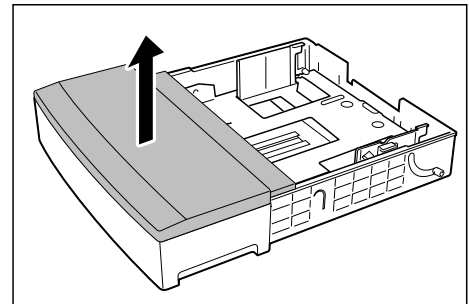
- 折りめやしわが入った用紙は使用しないでください。また、特殊紙を使用するときは、よくさばいてから入れてください。
- 用紙上限線を超えて、用紙をセットしないでください。

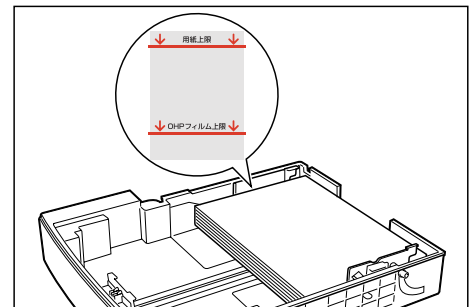
必要な場合は、用紙カセットのフタを開けてから用紙を入れてください。

4 **用紙カセットの緑色のラベルが貼ってある部分を両手で持ち、本機に差し込みます。**

5 **用紙カセットの取っ手を持ち、本機の奥に突き当たるまで押し込みます。奥までしっかり押し込まれていることを確認してください。**

6 **操作パネルのディスプレイに【プリントデキマス】と表示されることを確認してください。**

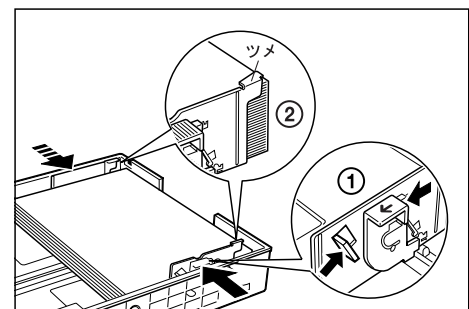
参照

エラーメッセージが表示された場合には、「7.4 メッセージ一覧 (50 音順)」を参照して対処をしてください。

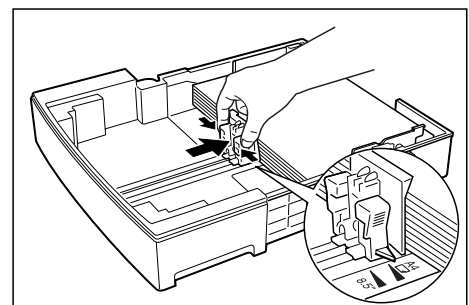
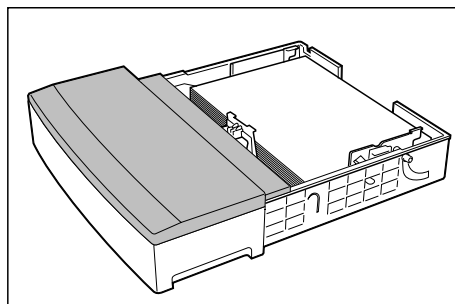
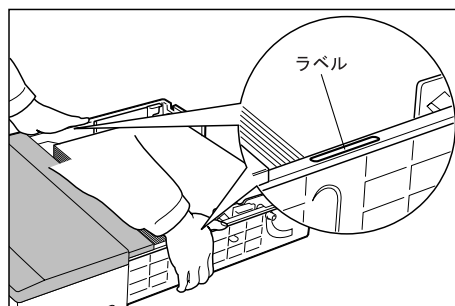
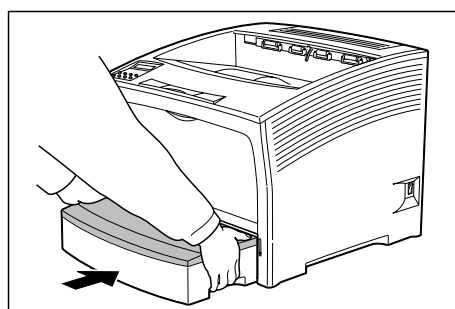
用紙サイズの変更

操作手順

1 **用紙カセットを軽く持ち上げながら、本機から引き抜きます。**

2 **緑色のラベルが貼ってある部分を両手で持ち、軽く持ち上げながら本機から抜き出し、平らな場所に置きます。**

3 **用紙カセットのフタを開けます。**

4 **用紙の四隅をそろえ、印刷したい面を上にして、カセットの中央に入れます。**

注記
- 折りめやしわが入った用紙は使用しないでください。また、特殊紙を使用するときは、よくさばいてから入れてください。
- 用紙上限線を超えて、用紙をセットしないでください。

5 **横ガイドを指で押しながらずらして、用紙の幅に合わせます（①）。**

注記
- 用紙が左右のツメの下にあることを確認してください（②）。
- 横ガイドは、使用する用紙の幅に正しく合わせてください。横ガイドクリップの位置がずれていると、用紙が正常に搬送されず、紙づまりの原因となることがあります。

6 **用紙の端をそろえたら、縦ガイドと用紙ガイドの刻印を合わせます。**

注記
- 用紙の端は縦ガイドのツメの下に入れてください。
- 縦ガイドは、使用する用紙の長さに正しく合わせてください。縦ガイドの位置がずれていると、用紙が正常に搬送されず、紙づまりの原因となることがあります。

7 **用紙カセットのフタを閉めます。**

8 **用紙カセットの緑色のラベルが貼ってある部分を両手で持ち、本機に差し込みます。**

9 **用紙カセットの取っ手を持ち本機の奥に突き当たるまで押し込みます。奥までしっかり押し込まれていることを確認してください。**

10 **操作パネルのディスプレイに【プリントデキマス】と表示されることを確認してください。**

ﾌﾟﾘﾝﾄ ﾃﾞｷﾏｽ

参照

エラーメッセージが表示された場合には、「7.4 メッセージ一覧 (50 音順)」を参照して対処してください。

8.2.3 大容量給紙トレイ

参照

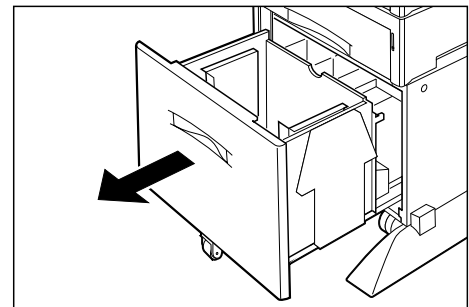
大容量給紙トレイにセットできる用紙については、「8.1 用紙について」を参照してください。

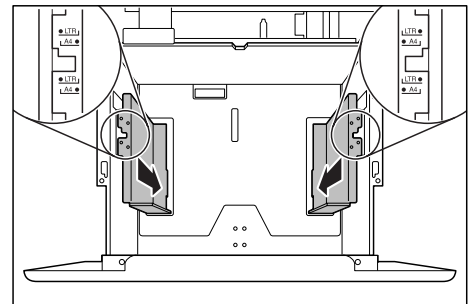
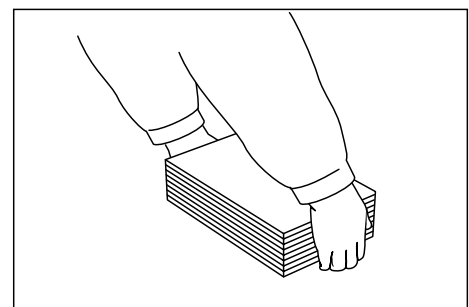
操作手順

1 **大容量給紙トレイを止まるまで引き出します。**

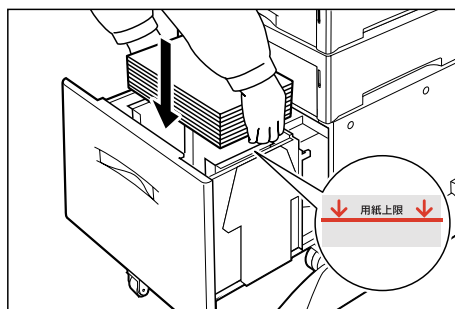
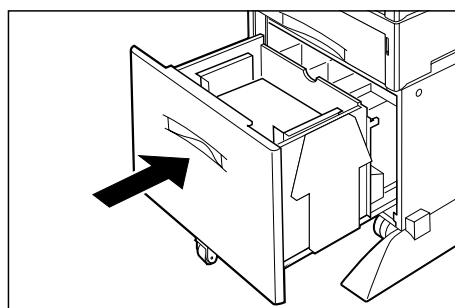
注記

大容量給紙トレイを引き出すと、内部のプレートが自動的に下がります。手を触れないようにしてください。

用紙補給の場合は、手順 3 に進みます。

2 **用紙サイズ変更の場合**

ガイドプレートを引き抜き、使用する用紙サイズの穴に合わせて差し込みます。

3 **用紙の四隅をそろえ、印刷したい面を上にして両手で持ちます。**

4 大容量給紙トレイに用紙をセットします。

注記

トレイ内に貼ってある用紙上限のラベルよりも多くの用紙はセットしないでください。紙づまりの原因となることがあります。

5 大容量給紙トレイを本機の奥に突き当たるまで押し込みます。

8.3 EP カートリッジを交換する

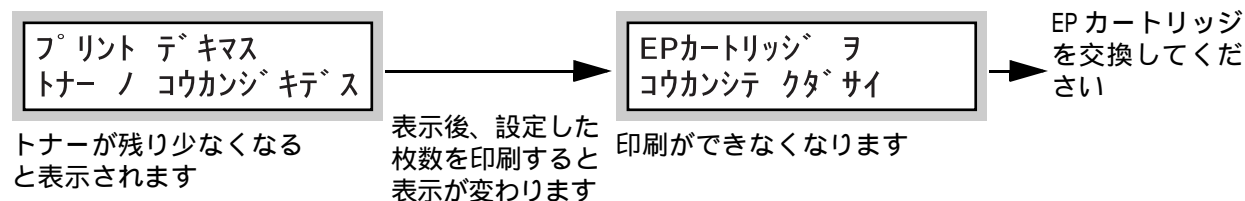
EP カートリッジは、感光体 (ドラム) とトナーが一体化したものです。EP カートリッジは消耗品で、トナーが残り少なくなると、プリンターのディスプレイに次のメッセージが表示されます。メッセージが表示されてからも、約 100 〜 200 枚は通常どおり印刷できます。この期間に、EP カートリッジの在庫を確認しておいてください。工場出荷時の設定では、メッセージが表示されてから約 200 枚印刷すると、メッセージが変わり印刷が中止されます。新しい EP カートリッジと交換してください。

トナーが残り少なくなると表示されます

→ 表示後、設定した枚数を印刷すると表示が変わります

EPｶｰﾄﾘｯｼﾞ ｦ
ｺｳｶﾝｼﾃ ｸﾀﾞｻｲ

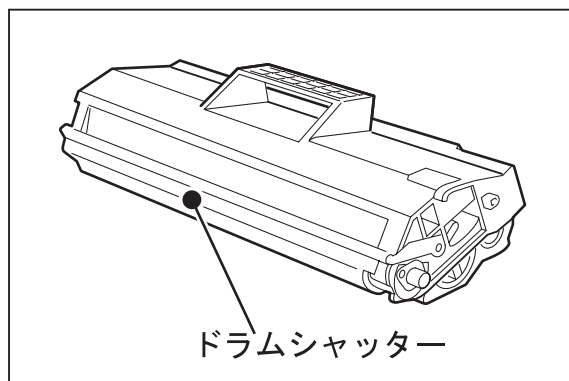
印刷ができなくなります

→ EP カートリッジを交換してください

参照 メッセージ表示後、印刷する枚数を変更したり、印刷を中止しないこともできます。詳しくは、「6.2　共通メニューの設定を変更する」を参照してください。

8.3.1 取り扱い上のご注意

⚠警告

EP カートリッジを、絶対に火中に投じないでください。粉じん爆発により、やけどのおそれがあります。

- 直射日光や強い光に当てないでください。
- EP カートリッジの取り付け作業は､強い光が当たる場所では行わないでください。また、できるだけ 5 分以内に作業を終了してください。
- ドラムシャッターによって、EP カートリッジ内の感光体（ドラム）が光に当たらないように保護されています。ドラムシャッターはむやみに開けないでください。
- 感光体（ドラム）表面には絶対に手を触れないでください。立てたり、裏返しにして置かないでください。
- トナーは人体に無害ですが、手や衣服についたときにはすぐに洗ってください。

8.3.2 EP カートリッジの交換操作手順

EP カートリッジを交換するときは、次の手順に従ってください。

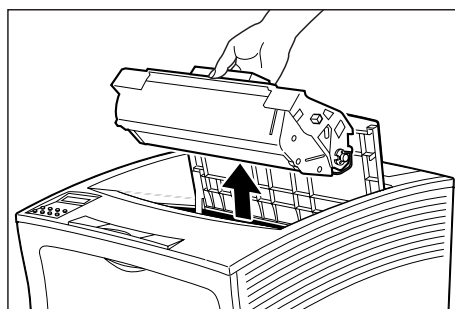
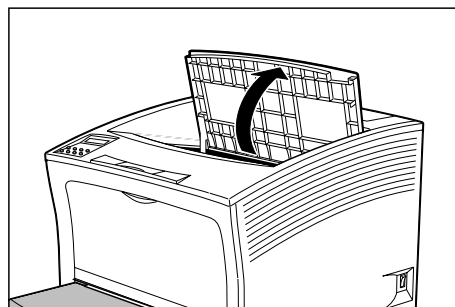
操作手順

1 **トップカバーを上後方に開きます。**

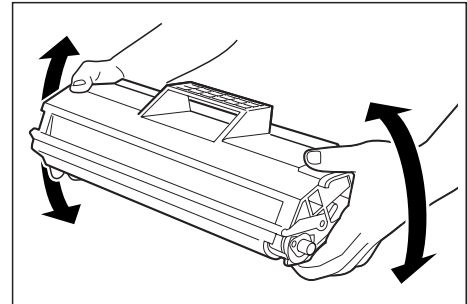
⚠注意
トップカバーを開けるときは、確実に止まるまで開けてください。また、閉めるときはゆっくりと閉めてください。
固定されていない状態で手を放すと勢いよく閉まり、手などをはさんでケガをするおそれがあります。

注記
- 排紙トレイに印刷済みの用紙がある場合は、カバーを開く前にその用紙を取り除いてください。排紙トレイに用紙を載せたままカバーを開くと、紙づまりなどの原因となります。
- プリンター内部の部品には手を触れないでください。

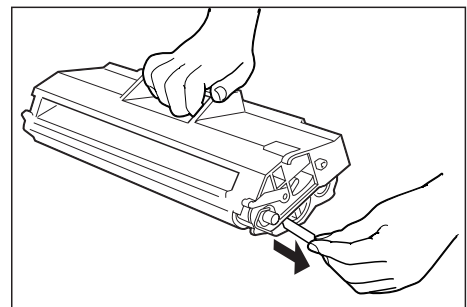
2 **EP カートリッジの取っ手を持ち、ゆっくり真上に引き上げます。**

補足
トナーで床を汚さないよう、取り出した EP カートリッジを置く場所には、あらかじめ紙などを敷いておいてください。

3 新しいEPカートリッジを梱包から取り出し、図のように 7 〜 8 回振ります。

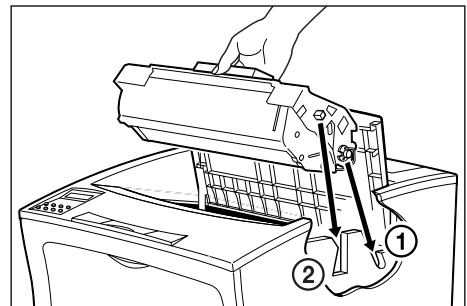
注記

トナーの状態が均一でないと、印刷品質が低下することがあります。また、よく振らないと、起動時に異常音やEPカートリッジ内部の破損が生じることがあります。

4 EP カートリッジを平らな場所に置き、片手で押さえながらトナーシールを引き抜きます。

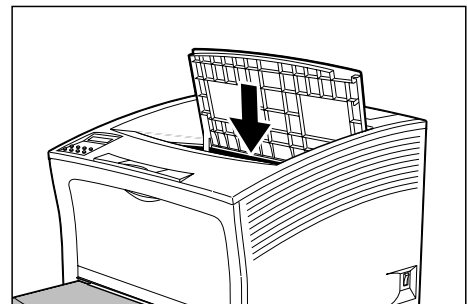
注記

- トナーシールを引き抜くときは、平行にまっすぐ引き抜いてください。斜めに引くと途中でテープが切れてしまうことがあります。
- トナーシールを引き抜いたあとは、EP カートリッジを振ったり、衝撃を与えたりしないでください。

5 EP カートリッジの取っ手を持ち、EP カートリッジの両側にある突起を本機内部の溝に合わせます（①）。次に、斜めに本機内部に挿入します（②）。

注記

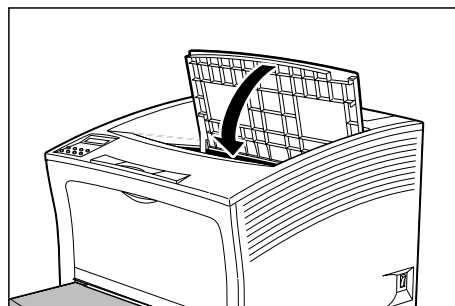
本機内部の部品には、手を触れないでください。

6 EP カートリッジを奥まで押し込みます。

注記

EP カートリッジは確実にセットしてください。

7 トップカバーを元に戻します。

トップカバーの中央を上から押して、確実にロックします。

注記

トップカバーが確実にロックされていることを確認してください。完全にロックされていないと、印刷不良が発生することがあります。トップカバーが閉じないときは、EP カートリッジを取り出して挿入し直し、トップカバーを閉めてください。

8 操作パネルのディスプレイに【プリントデキマス】と表示されることを確認します。

ﾌﾟﾘﾝﾄ ﾃﾞｷﾏｽ

参照

エラーメッセージが表示された場合には、「7.4 メッセージ一覧 (50 音順)」を参照して対処してください。

9 交換後、不要になった EP カートリッジは、梱包箱に入れます。

EP カートリッジに同梱されているシートの内容に従って、弊社あてに返送してください。

⚠警告

EP カートリッジを、絶対に火中に投じないでください。粉じん爆発により、やけどのおそれがあります。

8.4 清掃について

本機を良好な状態に保ち、いつもきれいな印刷ができるように、約 1 か月に 1 回、本体の清掃をお願いします。
また、EP カートリッジの交換時や用紙づまりの処置時には、点検をお願いします。

> ⚠注意
> **機械の清掃および保守、故障の処置を行う場合は、電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。電源スイッチを切らずに機械の清掃や保守を行うと、感電の原因となるおそれがあります。**

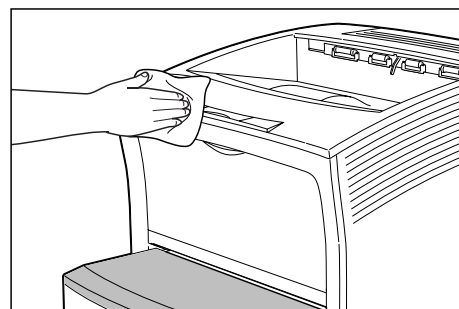
注記
ベンジン、シンナーなどの揮発性のものを使用したり、殺虫剤をかけると、カバー類の変色、変形、ひび割れの原因となります。

プリンター外部の清掃

操作手順

1 **本機の外側を、水でぬらし固く絞った柔らかい布でふきます。汚れがとれにくい場合は、柔らかい布に薄めた中性洗剤を少量含ませ、軽くふいてください。**

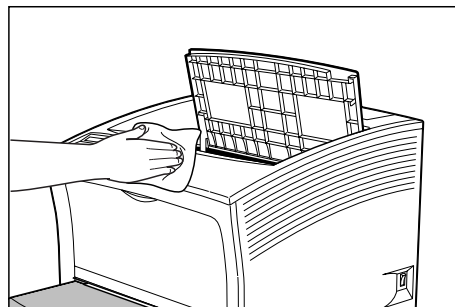
注記
水または中性洗剤以外の洗浄液は、絶対に使用しないでください。

2 **乾いた柔らかい布で水分をふき取ります。**

プリンター内部の清掃

操作手順

1 **用紙づまりの処置やEPカートリッジの交換が終了してトップカバーを閉じる前に、内部点検を行ってください。**

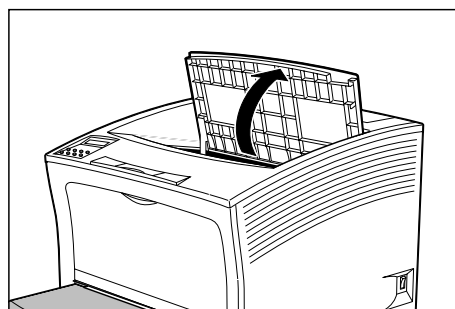
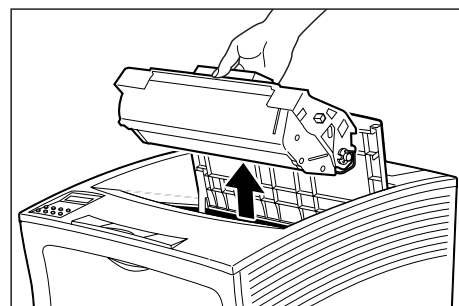
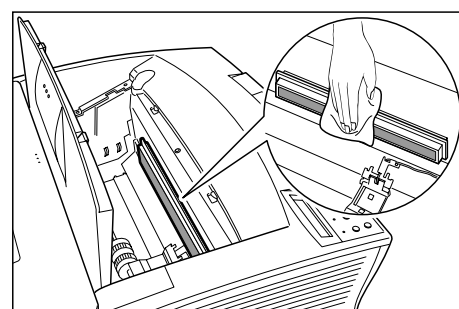
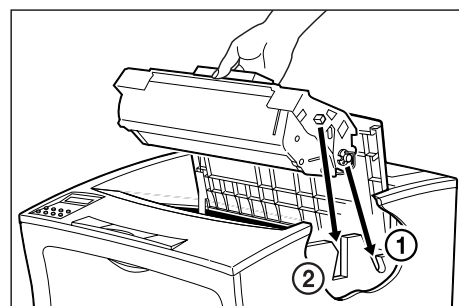
⚠注意
トップカバーを開けるときは、確実に止まるまで開けてください。また、閉めるときはゆっくりと閉めてください。
固定されていない状態で手を放すと勢いよく閉まり、手などをはさんでケガをするおそれがあります。

補足
- 紙片が残っているときは取り除きます。
- ホコリ、汚れなどがあるときは、乾いた清潔な布などでふき取ります。

ROS シールドガラスの清掃

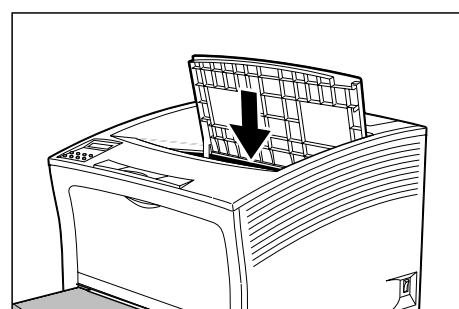
操作手順

1 **トップカバーを上後方に開きます。**

⚠注意
トップカバーを開けるときは、確実に止まるまで開けてください。また、閉めるときはゆっくりと閉めてください
固定されていない状態で手を放すと勢いよく閉まり、手などをはさんでケガをするおそれがあります。

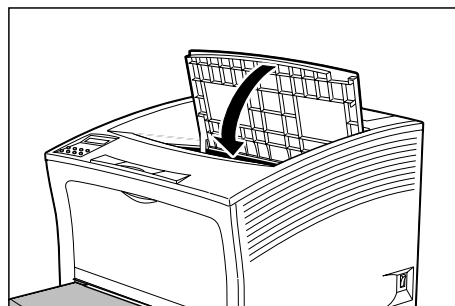
注記
排紙トレイに印刷済みの用紙がある場合は、カバーを開く前に排紙トレイの用紙を取り除いてください。排紙トレイに用紙を載せたままカバーを開くと、紙づまりなどの原因となります。

2 **EP カートリッジの取っ手を持ち、ゆっくりと真上に引き上げます。**

3 **乾いた布でガラスをふきます。**

4 **EP カートリッジの取っ手を持ち、EP カートリッジの両側にある突起を本機内部の溝に合わせます（①）。次に、斜めに本機内部に挿入します（②）。**

5 **EP カートリッジを奥まで押し込みます。**

注記

EP カートリッジは確実にセットしてください。

6 トップカバーを元に戻します。

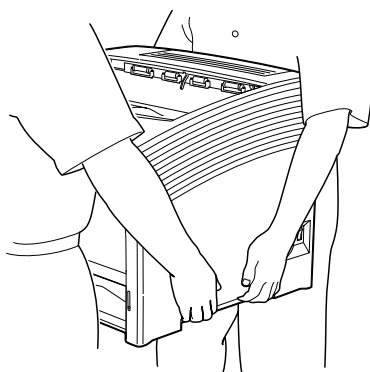
トップカバーの中央を上から押して、確実にロックします。

注記

トップカバーが確実にロックされていることを確認してください。完全にロックされていないと、印刷不良が発生することがあります。トップカバーが閉じないときは、EP カートリッジを取り出して挿入し直し、トップカバーを閉めてください。

8.5 プリンターを移動する

本機を移動するときは、次の手順に従ってください。
本機の重さは、オプション、用紙カセット、消耗品や用紙が入っていない状態で約 26kg です。

⚠注意

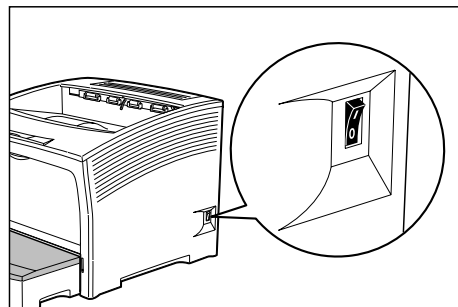
- **機械を持ち上げるときは、図のように 2 人で機械正面（操作パネル側）および背面に向かいあって、左右両側のくぼみを両手でしっかりと持ってください。左右両側のくぼみ以外を持って、持ち上げることは絶対にしないでください。落下によるケガの原因となることがあります。**

- **機械を持ち上げるときには、十分にひざを折り、腰を痛めないように注意してください。**

補足
オプションの、ペーパーフィーダー、A4 専用スタッカー、大容量給紙モジュール、用紙カセットは、移動するときには本体から取り外してください。移転などで本機を長距離移動する可能性がある場合は、梱包材を保管しておくと便利です。

操作手順

1 **操作パネルの表示などから、本機が処理中でないことを確認します。**

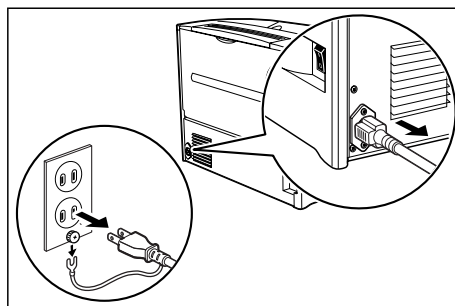
ﾌﾟﾘﾝﾄ ﾃﾞｷﾏｽ

2 **本機の右側面にある電源スイッチの［○］の側を押して、電源を切ります。**

3 **コンセントから電源プラグを抜き、本機の電源コード差し込み口から電源コードを取り外します。**

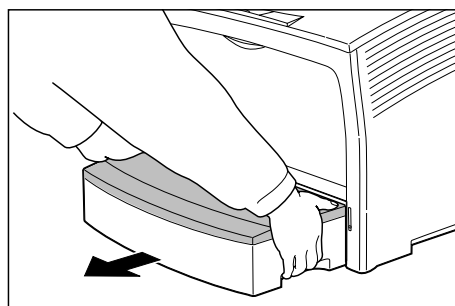
⚠警告

電源プラグは絶対に濡れた手で触らないでください。感電のおそれがあります。

⚠注意

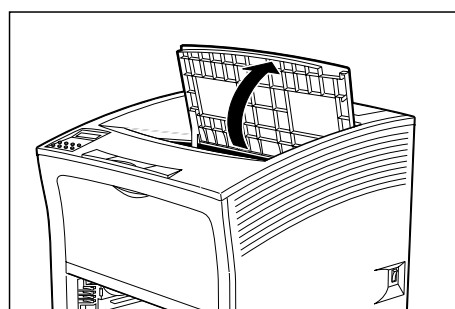
電源プラグをコンセントから抜くときは、必ず電源プラグを持って抜いてください。電源コードを引っぱるとコードが傷つき、火災、感電の原因となるおそれがあります。

4 **用紙カセットを本機から引き抜きます。**

補足

用紙カセットに用紙がセットされている場合は、用紙を取り出し、紙などで包みます。

5 **トップカバーを上後方に開きます。**

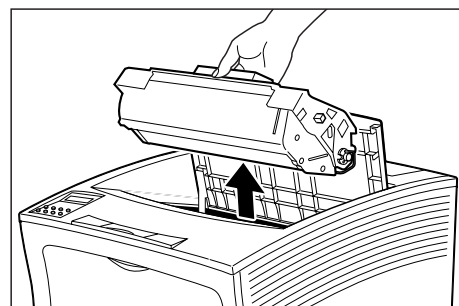
⚠注意

トップカバーを開けるときは、確実に止まるまで開けてください。また、閉めるときはゆっくりと閉めてください。
固定されていない状態で手を放すと勢いよく閉まり、手などをはさんでケガをするおそれがあります。

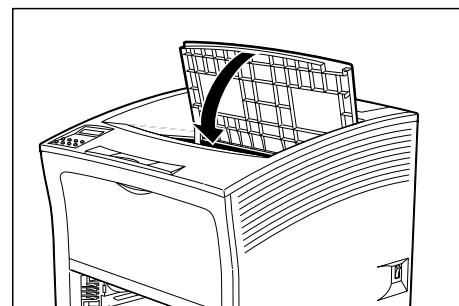
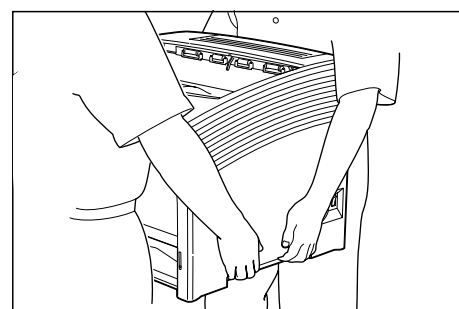
注記

- 排紙トレイに印刷済みの用紙がある場合は、カバーを開く前にその用紙を取り除いてください。排紙トレイに用紙を載せたままカバーを開くと、紙づまりなどの原因となります。
- 本機内部の部品には手を触れないでください。

6 EP カートリッジの取っ手を持ち、ゆっくり真上に引き上げます。

補足

- トナーで床を汚さないように、取り出した EP カートリッジを置く場所には、あらかじめ紙などを敷いておいてください。
- EP カートリッジを取り付けたまま運搬すると、トナーでプリンター内部が汚れることがあります。
- 取り外したEPカートリッジを振らないでください。トナーがこぼれます。
- 取り外したEPカートリッジは、強い光に当てないように、梱包されていたアルミ袋に入れるか、厚い布などで包んでください。

7 トップカバーを元に戻します。

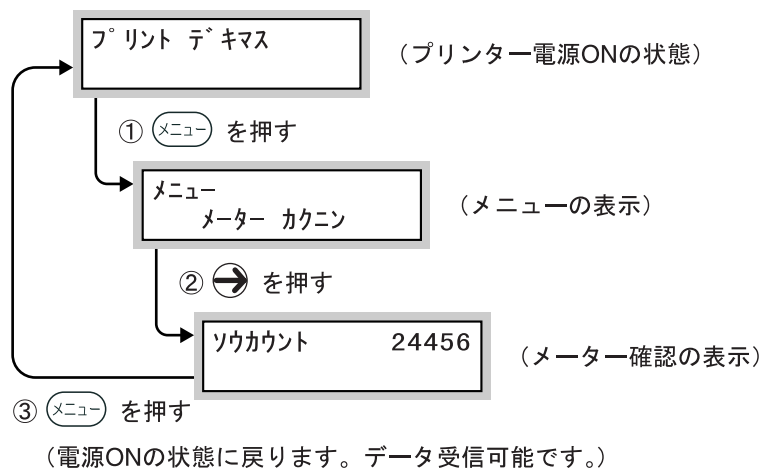
補足

排紙用延長トレイ（用紙止め）が開いている場合には、閉じてください。

8 本機を 2 人で持ち、静かに移動します。長距離移動する場合は、梱包して移動します。

9 適切な場所に、本機を再設置します。

参照

再設置するときは、『セットアップガイド』を参照してください。

8.6 メーターを確認する

本機で印刷した総枚数を確認できます。

付　録

A 主な仕様

A.1 製品の仕様

本体

項　目	内　容
形式	デスクトップタイプ
プリント方式	レーザー・ゼログラフィー
ウォームアップタイム	約40秒（工場出荷時のポートの起動状態）
プリント速度 （標準カセットからFX P紙を給紙）	片面：36枚/分（A4ヨコ）、23枚/分（B4タテ）、 19枚/分（A3タテ）
	両面：30.5枚/分（A4ヨコ）、16枚/分（B4タテ）、 14.5枚/分（A3タテ）
解像度	600dots/23.6㎜
スムージング機能	あり（2,400dpi相当）
用紙サイズ	最大：A3サイズ、最小：官製はがきサイズ 非定型：幅100～297㎜、長さ148～431㎜ 長尺紙(297×900㎜)
給紙容量(FX P紙)	標準：1段トレイ（500枚）、手差しトレイ（150枚）
	オプション：用紙カセット（A3/500枚）、用紙カセット (A4/500枚)、大容量給紙モジュール(2000枚)
最大給紙容量	3,150枚： (500枚(標準トレイ)+150枚(手差しトレイ)+500枚(オプションカセット)+2000枚(大容量給紙モジュール))
出力トレイ容量(FX P紙)	標準：500枚
	オプション：A4専用スタッカー（1000枚） 排紙トレイがいっぱいになったとき、自動排出
両面印刷	あり（標準）
メモリー容量	標準：32Mbyte（増設により最大96Mbyte）
	オプション：増設SDRAMモジュール（64MB）
搭載フォント	標準：アウトラインフォント（平成明朝体 W3、平成角ゴシック体W5、欧文17書体） ストロークフォント（日本語書体、欧文書体）
PDL	標準：ART IV
	オプション：PostScript3
エミュレーション	PC-PR201H、ESC/P（VP-1000）、HP-GL（HP7586B）、HP-GL2/RTL（HP Design Jet 750C Plus）
インターフェイス	標準：Ethernet（100Base-TX/10Base-T） 双方向パラレル（IEEE1284-B）
対応プロトコル	セントロ：Compatible.Nibble,ECP Ethernet：TCP/IP、NetWare、EtherTalk、SMB、DHCP、Salutation

付録

項　目	内　容
ドライバー対応OS	Windows 95、Windows 98、Windows Me、Windows NT 4.0、Windows 2000、Windows XP、Mac OS(オプションの Post Script ソフトウェアキットにて対応)
稼動音	稼動時：68.0db(本体)、71.8db(フルシステム) 待機時：50db
使用電源	100V/15A、50/60Hz 共用
消費電力	最大：1100W 節電モード時：19W * 本製品は、電源プラグがコンセントに差し込まれていても、電源スイッチが切れた状態では電力の消費はありません。
機械の大きさ	本体： 幅 490 ×奥行 585 ×高さ 395㎜（A3 カセット） 幅 490 ×奥行 460 ×高さ 395㎜（A4 カセット） 500 枚ペーパーフィーダー ：幅 490 ×奥行 439 ×高さ 134㎜ 大容量給紙モジュール (フット寸法は除く) ：幅 490 ×奥行 509 ×高さ 537㎜ A4 専用スタッカー ：幅 490 ×奥行 300 ×高さ 285㎜
機械の質量	29.2kg（用紙カセット (A3) 含む、本体のみ 26.3kg）

付録

A.2 消耗品について

EP カートリッジの印刷可能ページ数

商品名	印刷可能ページ数
EP カートリッジ (10K)	10,000 枚
EP カートリッジ (20K)	20,000 枚

補足

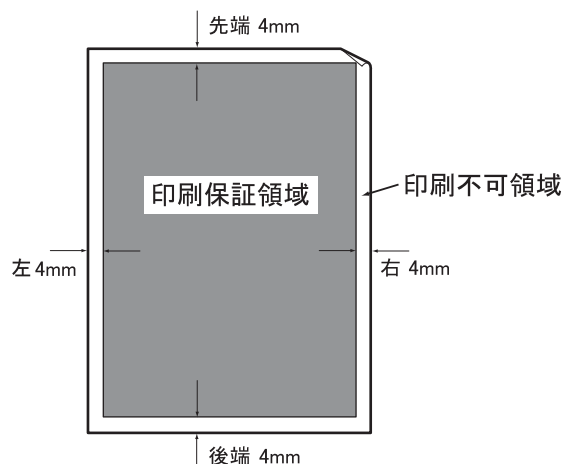
印刷可能ページ数は、A4 よこサイズ、5% 印字比率連続印刷時の数値です。実際の交換サイクルは、印刷条件や原稿の内容によって異なります。
また、本機の電源を切 / 入することによる初期化動作や、プリント品質維持のための調整動作等によって、印刷可能ページ数は異なります。

消耗品および部品の保有期間について

弊社は、消耗品および機械の補修用性能部品 (機械の機能を維持するために必要な部品) を、製造打ち切り後 7 年間保有しています。

付録

A.3　有効印刷領域

用紙の角端から 4㎜ を除く領域が、有効印字領域です。なお、実際の印字領域は各プリンター（プロッター）制御言語によって異なることがあります。

標準印字エリアの場合

用紙サイズ	ART、201H、ESC/P、HP-GL		PostScript	
	a	b	a	b
A3 SEF	6804	9711	6828	9736
B4 SEF	5859	8388	5892	8404
A4	4749	6804	4776	6820
B5	4089	5859	4116	5884
A5	3285	4749	3312	4768
DL（11 × 17"）SEF	6390	9990	6420	10012
LG（8.5 × 14"）SEF	4890	8190	4920	8212
GG（8.5 × 13"）SEF	4890	7590	4920	7612
LT（8.5 × 11"）	4890	6390	4920	6412
官製はがき	2151	3285	2184	3304
非定型（最大）	6804	9990	6828	10012
非定型（最小）	2151	3285	2184	3304

補足

- 単位 ： ドット　　a ： 主走査方向　　b ： 副走査方向
- DL はダブルレター、LG はリーガル、GG はガバメントリーガル、LT はレターサイズを表します。
- SEF(Short Edge Feed) は、用紙の短辺を給紙口に向けたセット方向を表します。

拡張印字エリアの場合

用紙サイズ	ART、201H、ESC/P、HP-GL		PostScript	
	a	b	a	b
A3 SEF	7014	9921	7014	9921
B4 SEF	6069	8598	6069	8598
A4	4959	7014	4959	7014
B5	4299	6069	4299	6069
A5	3495	4959	3495	4959
DL（11 × 17"）SEF	6600	10200	6600	10200
LG（8.5 × 14"）SEF	5100	8400	5100	8400
GG（8.5 × 13"）SEF	5100	7800	5100	7800
LT（8.5 × 11"）	5100	6600	5100	6600
官製はがき	2361	3495	2361	3495
非定型（最大）	7014	10200	7014	10200
非定型（最小）	2361	3495	2361	3495

補足

- 単位 ： ドット　　a ： 主走査方向　　b ： 副走査方向
- DL はダブルレター、LG はリーガル、GG はガバメントリーガル、LT はレターサイズを表します。
- SEF(Short Edge Feed) は、用紙の短辺を給紙口に向けたセット方向を表します。

A.4　内蔵フォント

標準で以下のフォントを使用できます。

参照
オプションの PostScript フォントについては、PostScript ソフトウェアキットに同梱されている CD-ROM 内の説明書を参照してください。

1.ストロークフォント（HP-GL 専用）

- **欧文 + カタカナストロークフォント**
- **日本語ストロークフォント**

2.アウトラインフォント

搭載されているアウトラインフォントと使用できるページ記述言語またはエミュレーションモードとの関係は、次のとおりです。
なお、標準で搭載されているアウトラインフォントは、PostScript では使用できません。

	書体	ART	201H	ESC/P	HP-GL
和文	平成明朝［Wt.3］	●	●	●	●
	平成角ゴシック［Wt.5］	●	●	●	●
欧文	タイプバンク・明朝 M（ローマン）		●	●	●
	タイプバンク・ゴシック B（サンセリフ）		●	●	●
	平成明朝［Wt.3］（FMT）	●	●	●	
	Enhanced Classic	●			
	Enhanced Modern	●			
	CS Times	●			
	CS Times Italic	●			
	CS Times Bold	●			
	CS Times Bold Italic	●			
	CS Triumvirate	●			
	CS Triumvirate Italic	●			
	CS Triumvirate Bold	●			
	CS Triumvirate Bold Italic	●			
	CS Courier	●			
	CS Courier Oblique	●			
	CS Courier Bold	●			
	CS Courier Bold Oblique	●			
	CS Symbol	●			

●：標準装備

付録

B 最新版プリンタードライバーの入手方法

最新プリンタードライバーは、インターネットの弊社のホームページで提供しています。ダウンロードしてご利用ください。
なお、通信費用はお客様の負担となりますので、ご了承ください。
富士ゼロックス株式会社のダウンロードサービスページのアドレス（URL）は、次のとおりです。

http://download.fujixerox.co.jp/

補足

- 同梱されている CD-ROM を使って弊社のホームページを参照し、最新プリンタードライバーをダウンロードできます。［ホームページへ］をクリックすると、ブラウザーが起動してホームページが表示されます。指示に従って、プリンタードライバーをダウンロードしてください。
- CentreWare ネットワークサービスのドライバーインストールツールを使用すると、弊社ホームページからダウンロードできるプリンタードライバーがお使いのプリンタードライバーより新しい場合、新しいプリンタードライバーを自動でダウンロードできます。詳細については、同梱されている CD-ROM 内の説明書を参照してください。

C オプション品と消耗品の紹介

オプション品

商品名	商品コード	商品の説明
ペーパーフィーダー	EL300134	用紙トレイを追加するために装着します。
用紙カセット (A3)	E3200002	最大 A3 サイズの用紙 (弊社 P 紙) を、500 枚までセットできます。
用紙カセット (A4)	E3200003	A4 サイズの用紙 (弊社 P 紙) を、500 枚までセットできます。
大容量給紙モジュール	EL300135	A4 サイズの用紙 (弊社 P 紙) を、2000 枚までセットできます。
A4 専用スタッカー	EL300140	排紙トレイがいっぱいになった場合に、A4 サイズの用紙 (弊社 P 紙) を、1000 枚まで排出できます。
内蔵増設ハードディスク装置	EL300142	電子丁合い機能を使用できます。フォントをダウンロードすることもできます。このオプションを使用するには、増設 SDRAM モジュール (64MB) が必要です。
増設 SDRAM モジュール (64MB)	EL300136	PostScript ソフトウェアパック、内蔵増設ハードディスク装置を装着する場合や、長尺紙 (297 × 900㎜) に印刷する場合などに必要です。
PostScript ソフトウェアキット (平成)	EL300138	本機を PostScript 対応プリンターとして使用できます。
PostScript ソフトウェアキット (モリサワ)	EL300139	本機を PostScript 対応プリンターとして使用できます。
パラレルケーブル (PC98 用 14Pin)	VD12	本機をローカルプリンターとして使用する場合に必要です。 コンピューターの種類に合ったものを選択してください。
パラレルケーブル (PC98 用 20Pin)	VD13	
パラレルケーブル (PC98 用 36Pin)	VD14	
パラレルケーブル (IBM PC AT 用 25Pin)	E3200011	
パラレルケーブル (PC98 MATE 用)	YH57	

補足

ペーパーフィーダーは 2 段まで追加できます。このうちの 1 段を大容量給紙モジュールと組み合わせることができます。大容量給紙モジュールを 1 段だけ追加することもできます。

付録

消耗品

商品名	商品コード	印刷可能ページ数
EP カートリッジ (10K)	CT350123	10,000 枚
EP カートリッジ (20K)	CT350051	20,000 枚

補足

印刷可能ページ数は、A4 横サイズ、5% 印字比率連続印刷時の数値です。実際の交換サイクルは、印刷条件や原稿の内容によって異なります。
また、本機の電源を切 / 入することによる初期化動作や、プリント品質維持のための調整動作等によって、印刷可能ページ数は異なります。

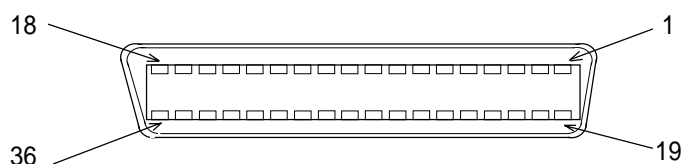
D コネクターピンと割り当て信号

D.1 パラレルインターフェイス

本機に標準で装備されているパラレルインターフェイス（ セントロニクス準拠インターフェイス /IEEE1284 規格準拠 ）について説明します。

付録

コネクターの形状

プリンターには、IEEE1284-B タイプのコネクターが装備されています。コネクターの形状は次のようになっています。

ピン配置

双方向が OFF のとき、各信号のピン配置は、次のようになっています。

Pin No.	Signal Name	I/O	Pin No.	Signal Name	I/O
1	nStrobe	I	19	Signal Ground	—
2	Data1	I	20	Signal Ground	—
3	Data2	I	21	Signal Ground	—
4	Data3	I	22	Signal Ground	—
5	Data4	I	23	Signal Ground	—
6	Data5	I	24	Signal Ground	—
7	Data6	I	25	Signal Ground	—
8	Data7	I	26	Signal Ground	—
9	Data8	I	27	Signal Ground	—
10	nAck	O	28	Signal Ground	—
11	Busy	O	29	Signal Ground	—
12	PError	O	30	Signal Ground	—
13	Select	O	31	nInit	I
14	nAutoFd	I	32	nFault	O
15	(RESERVED)	—	33	(RESERVED)	—
16	Logic GND	—	34	(RESERVED)	—
17	Chassis Gnd	—	35	(RESERVED)	—
18	Peripheral Logic High	O	36	nSelectIn	I

補足

- I/O はプリンターから見て I が入力信号、O が出力信号、—は信号でないことを表しています。
- 双方向が ON のときの結線は、IEEE1284-B タイプコネクターの規格に準拠しています。

信号の意味

双方向が OFF のとき

- **nStrobe(Pin No.1)**
  Data1 ～ 8 を読み込むための同期信号、LOW アクティブのパルスが必要です。
- **Data1 ～ 8(Pin No.2 ～ 9)**
  8 bits パラレルのData入力でData1がLSB (最下位bit)、Data8がMSB (最上位bit)です。
- **nAck(Pin No.10)**
  受信 DATA の取り込み完了を表す LOW アクティブのパルス信号です。
- **Busy(Pin No.11)**
  プリンターが DATA 受信不可能であることを表す HIGH アクティブの信号です。
- **PError(Pin No.12)**
  用紙がなくなったことを表す HIGH アクティブの信号です。
- **Select(Pin No.13)**
  データ受信可能であることを表す HIGH アクティブの信号です。
- **nAutoFd(Pin No.14)**
  双方向が ON のときのための信号です。
- **Chassic Gnd(Pin No.17)**
  フレームグランドに接続されます。
- **Peripheral Logic High(Pin No.18)**
  プリンター側の +5V 電圧です。
- **Signal Ground(Pin No.19 ～ 30)**
  各信号用グランドに接続されます。
- **nInit(Pin No.31)**
  プリンターの初期化を要求する LOW アクティブのパルス信号です。
- **nFault(Pin No.32)**
  プリンターに紙づまりなどの障害が発生したことを表す LOW アクティブの信号です。
- **nSelectIn(Pin No.36)**
  双方向が ON のときのための信号です。

双方向が ON のとき
各信号線は IEEE 1284 の規格に準拠しています。

付録

E エミュレーションを使って印刷する

DocuPrint 360 が対応するページ記述言語以外のデータを印刷するときは、DocuPrint 360 をエミュレーションモードにします。DocuPrint 360 には、複数のエミュレーションモードがあります。エミュレーションモードと、エミュレートするプリンターの対応は、次のとおりです。

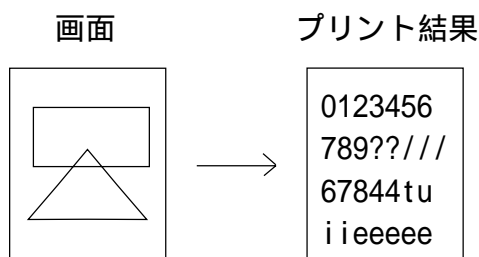
エミュレーションモード	エミュレートするプリンター
201H エミュレーションモード（201H モード）	PC-PR201H2
ESC/P エミュレーションモード（ESC/P モード）	VP-1000
HP-GL エミュレーションモード（HP-GL モード）	HP DesignJet 750C Plus または HP7586B
HP-GL/2 エミュレーションモード（HP-GL/2 モード）	HP DesignJet 750C Plus

F 注意と制限

F.1 本体の注意と制限

ここでは、DocuPrint 360 を使用するうえでの注意および制限について説明します。

プリンターの選択

画面とプリント結果が異なる場合には、コンピューター側でプリンター、またはプロッターの機種選択が正しく行われていない可能性があります。

コンピューター側の機種選択を、次の順番で選択してください。
下記以外のプリンターを選択した場合、正しく印刷されないことがあります。

- **201H エミュレーションモードの場合**

  PC-PR201H2　（白黒モード）
- **ESC/P エミュレーションモードの場合**

  VP-1000
- **HP-GL エミュレーションモードの場合**

  HP DesignJet 750C Plus または HP7586B
- **HP-GL/2 エミュレーションモードの場合**

  HP DesignJet 750C Plus

補足

HP DesignJet 750C Plus がない場合には、ヒューレット・パッカード社製プロッターを選択してください。

印刷の中止時

印刷の中止などによって正常に印刷が終了しなかった場合、コンピューターから設定したコマンド情報は、操作パネルに反映されません。

付録

内蔵増設ハードディスク装置の装着時

- 内蔵増設ハードディスク装置を装着した場合、共通メニューの【メンテナンスモード】の【フォームデータメモリ】は表示されません。また、このとき本機はこれらのメモリーを確保しません。
- ハードディスクの初期化を実行すると、ハードディスク内に登録されているデータはすべて消去されます。
- 内蔵増設ハードディスク装置を正しく動作させるためには、増設 SDRAM モジュール (64MB) が必要です。内蔵増設ハードディスク装置を装着する前に、増設 SDRAM モジュール (64MB) を装着していることを確認してください。

参照

増設 SDRAM モジュール (64MB) の有無は、プリンター設定リストで確認できます。
プリンター設定リストの印刷方法については、「6.3.2　レポート / リストの印刷方法」の「プリンター設定リストの場合」を参照してください。

印刷結果が設定と異なるとき

ページバッファの容量不足が原因で、設定と異なる印刷結果になることがあります。この場合、メモリーの増設をお勧めします。

- 両面印刷の設定をしているのに片面印刷で印刷される。
- ジョブが中止される（ページバッファに展開できない場合、そのページを含むジョブが中止されます）。

オプションについて

- 丁合い（電子丁合い機能）を使用する場合は、オプション品の内蔵増設ハードディスク装置と増設 SDRAM モジュール (64MB) が必要です。
- 本機を PostScript 対応プリンターとして使用する場合は、オプション品の PostScript ソフトウェアキットと増設 SDRAM モジュール (64MB) が必要です。
- 長尺紙 (297 × 900㎜) に印刷する場合は、オプション品の増設 SDRAM モジュール (64MB) が必要です。

付録

F.2 TCP/IP(lpd) 使用時の注意と制限

TCP/IP(lpd) での注意制限事項は、次のとおりです。

本機側の設定

- IPアドレスの設定には十分注意してください。IPアドレスはシステム全体で管理されているアドレスです。ネットワーク管理者と十分相談のうえ、設定してください。
- 使用するネットワーク環境においては、サブネットマスクやゲートウェイの設定が必要になります。ネットワーク管理者に相談のうえ、必要項目を設定してください。
- ポート状態を起動に設定した場合、メモリーが不足すると、操作パネルにメモリー不足を知らせるメッセージが表示されたり、ポート状態が自動的に【停止】に設定されたりすることがあります。この場合は、使用していないポートのポート状態を【停止】にするか、メモリー割り当て容量を変更するか、またはメモリーを増設してください。
- 使用環境に応じて、受信バッファメモリーの【lpd スプール】のサイズを設定してください。送信されたデータよりも、受信バッファメモリーの【lpd スプール】のサイズが小さい場合、受信できないことがあります。

コンピューター側の設定

- IPアドレスの設定には十分注意してください。IPアドレスはシステム全体で管理されているアドレスです。ネットワーク管理者と十分相談のうえ、設定してください。
- NIS (Network Information Service) の管理下で使用されているコンピューターで、ネットワーク（IP アドレスなど）の設定を行う場合は、NIS の管理者に相談してください。

電源を切るとき

本機の電源を切るときは、次の点に注意してください。

■【lpd スプール】の設定が【メモリー】のとき

印刷中のデータを含め、本機のメモリーにスプールされた印刷データは、すべて削除されます。再び電源を入れたとき、印刷データは存在しません。
ただし、印刷指示の直後に電源を切った場合、印刷データはコンピューター上に保存されることがあります。この場合、再び電源を入れたときは、新しく印刷指示をした場合でも、保存されている印刷データから順に出力されます。

■【lpd スプール】の設定が【ハードディスク】のとき

印刷中のデータを含め、本機のハードディスクにスプールされた印刷データはすべて保存されます。再び電源を入れたときは、新しく印刷指示をした場合でも、保存されている印刷データから順に出力されます。

■【lpd スプール】の設定が【シナイ】のとき

印刷中のデータを含め、本機の受信バッファにスプールされた印刷データは、すべて削除されます。再び電源を入れたとき、印刷データは存在しません。
ただし、印刷指示の直後に電源を切った場合、印刷データはコンピューター上に保存されることがあります。この場合、再び電源を入れたときは、新しく印刷指示をした場合でも、コンピューター上に保存されている印刷データから順に出力されます。

印刷するとき

■【lpd スプール】の設定が【ハードディスク】または【メモリ】のとき

印刷データの受信を開始したときに、印刷データのサイズがハードディスク、またはメモリーの残り容量よりも大きい場合、その印刷データは受信できません。

補足

印刷データが受信容量を超えた場合、コンピューターによってはすぐに再送信をすることがあります。このとき、コンピューターがハングアップしたように見えます。対処として、コンピューター側でその印刷データの送信を中止してください。

■【lpd スプール】の設定が【シナイ】のとき

あるコンピューターから印刷要求を受け付けていた場合、別のコンピューターからの印刷要求は受け付けられません。

■コンピューターの IP アドレスや、コンピューター名を変更した場合

コンピューターの IP アドレスや、コンピューター名を変更した場合、本機からの問い合わせ処理や取り消し処理が正常に行われなくなります。本機の受信バッファに印刷データがない状態で、本機の電源を切り、入れ直してください。

参照

本機の受信バッファにある印刷データの印刷中止 / 強制排出は、操作パネルから操作できます。「4.4 印刷を中止する / 確認する」、「4.5 印刷データを強制排出する」を参照してください。

用語集

【2 アップ】
2 ページ分のデータを、1 枚の用紙に印刷することです。

【A3】
420 × 297 ミリメートルの用紙のことです。

【A4】
297 × 210 ミリメートルの用紙のことです。

【A5】
210 × 148 ミリメートルの用紙のことです。

【ACK】
プリンターがコンピューターに対し、受信の準備ができていること、あるいはデータを正しく受信したことを示す信号です。

【ANK 文字】
A(Alphabet:アルファベット)/N(Numeric:数字) /K(Kana:カナ)の1バイトコードで表現される文字のことです。

【ART】
Advanced Rendering Tool の略で、富士ゼロックスがページプリンター用に開発したプリンター制御言語です。

【B4】
364 × 257 ミリメートルの用紙のことです。

【B5】
257 × 182 ミリメートルの用紙のことです。

【Busy】
プリンターがコンピューターに対し、受信不可能な状態であることを示す信号です。

【CPI】
Character Per Inch の略で、1 インチ幅に印字できる文字数です。文字間隔を表す単位です。

【CR】
Carriage Return の略で、改行のことです。

【Cu】
設定されている原稿サイズの物理的な紙の大きさ（全面）が、用紙サイズの印字領域に収まるように印字するための設定値です。

【DPI】
Dot Per Inch の略で、1 インチ幅に印字できるドット数を表す単位です。解像度を示す単位として使います。

【DTR 制御】
Data Terminal Ready の略で、プリンターがコンピューターに対し、受信可能かどうかをハードウェア的に知らせる信号です。

【Fi】
1 固定倍率で印字するための設定値です。
固定倍率とは、設定されている原稿サイズと用紙サイズから自動算出される倍率のことです。原稿サイズの印字領域が用紙サイズの印字領域に収まるように印字されます。

【Fr】
任意倍率で印字するための設定値です。
任意倍率とは、拡張設定項目 > 倍率（任意倍率）で設定される倍率のことです。

【N アップ】
N ページ分のデータを、1 枚の用紙に印刷することです。

【NV メモリー】
電源を切ってもプリンターの設定内容を保持しておくことが可能な、不揮発性のメモリーです。

【RAM】
Random Access Memory の略で、情報の読み出しと書き込みができる記憶装置（メモリー）です。

【ROM】
Read Only Memory の略で、情報の読み出し専用の記憶装置（メモリー）です。

【Xon-Xoff 制御】
ソフトウェアフロー制御のことです。受信側のバッファの容量に応じて、データの送信・停止を行う機能です。

【イメージエンハンス】
白黒の境目を滑らかにしてギザギザを減らし、疑似的に解像度を高める機能です。

【印字領域】
用紙に対して実際に印字可能な領域です。

【エミュレーション】
他のプリンターで印刷した場合と同等の印字結果を得ることができるように、プリンターを動作させることです。このモードをエミュレーションモードと呼びます。

【カット紙】
A4、B5 などの定型サイズの用紙のことです。

【共通メニュー】
ポート設定、プリントユーティリティ、メンテナンスモードで構成され、エミュレーションモードに依存しない設定をするためのメニューです。

【受信バッファ】
バッファとはコンピューターから送信されたデータを、一時的に蓄えておく場所です。受信バッファのメモリー容量を増やすことによって、コンピューターの解放を早くすることができます。

【初期値】
工場出荷時および NV メモリー初期化時の設定です。

【ジョブ】
ひとまとまりの印刷データのことです。
印刷の中止や排出はジョブ単位で行われます。また、モードメニューを変更した場合、設定内容は次のジョブから反映されます。

【スケーリング】
入力サイズ（原稿サイズ）を、出力サイズ（用紙サイズ）に合わせて拡大 / 縮小することです。

【スケーリングポイント】
プロッター範囲を指定する限界点のことです。

【スタートページ】
電源投入後、またはシステムリセットが実行されたあとに印刷されるものです。プリンターの状況を知ることができます。

【プロッター座標】
プロッターの持つ座標系です。

【節電状態】
消費電力を節約するために、プリンター内部の定着部の温度を下げ、モーターの回転を止めた状態です。前回印刷してから、節電時間として設定した時間が経過すると、自動的に節電状態になります。

【ハードクリップエリア】
用紙に対して実際に印字（描画）可能な矩形領域です。

【バッファ】
コンピューターから送信されたデータを、一時的に蓄えておく場所です。

【パリティチェック】
データが送信側から受信側に正しく送られたかどうかを検出するために行うチェックのことです。

【プロトコル】
データ通信を行うために必要な通信規約です。

【ページバッファ】
印字データを実際に展開し、蓄えておく場所です。ページバッファのメモリー容量は、プリンターのメモリー総容量から ART ユーザー定義メモリーやフォームデータメモリー、受信バッファメモリーなどの各メモリーを割り振ったあと、自動的に確保されるもので、操作パネルからは設定できません。
ページバッファのメモリー容量は、プリンター設定リストで確認できます。

【モードメニュー】
201H エミュレーションモード、ESC/P エミュレーションモード、HP-GL エミュレーションモードで構成され、エミュレーションモードごとにその処理に固有な条件を設定するためのメニューです。

【リーガル 13"】
13 × 8.5 インチ（330 × 216 ミリメートル）の用紙のことです。ガバメントリーガルとも呼びます。操作パネルでは【GG】で表しています。

【リーガル 14"】
14 × 8.5 インチ（356 × 216 ミリメートル）の用紙のことです。リーガルとも呼びます。操作パネルでは【LG】で表しています。

【レジャー】
17 × 11 インチ（432 × 279 ミリメートル）の用紙のことです。ダブルレターとも呼びます。操作パネルでは【DL】で表しています。

【レター】
11×8.5インチ（279×216ミリメートル）の用紙のことです。操作パネルでは【LT】で表しています。

索引

記号・英数

ア

カ

サ

タ

ナ

ハ

マ

ヤ

ラ

マニュアルコメント用紙

本書をより使いやすいものとするために、皆様からの貴重なご意見（説明不足、間違い、誤字、誤植、ご要望など）をお待ちいたしております。ご記入に際しましては、マニュアルに関することのみ具体的にご指摘くださるようお願いいたします。

マニュアルの名称	DocuPrint 360 取扱説明書	管理 No	DE3127J1-2
ご芳名		貴社名	
所属部門		電話番号	[内線]
所在地			

ページ	行	内容へのご指摘／ご要望

富士ゼロックス記入欄		
記事	受付 No.	受付担当印

1 版

[切り取り線]

富士ゼロックス株式会社

●この商品の**保守（修理）**、**操作**のお問い合わせ、および**消耗品**のご購入については、
商品に貼られている**保守サポートの問い合わせ先シール**のあて先にお問い合わせください。

商品に問い合わせ先シールが貼られていない場合は、富士ゼロックスプリンターサポートデスクにお問い合わせください。（各アプリケーションの操作につきましては、各ソフトウェアメーカーの問い合わせ窓口にお問い合わせください。）

フリーダイヤル　フジゼロックス
0120-66-2209　FAX：03-3342-1552

フリーダイヤル受付時間：土曜、日曜、祝日を除く9時～12時、13時～17時30分、東京でお受けします。
ただし、通話地域制限がある内線電話機、および携帯電話機からはご使用になれません。全国通話ができる電話機をご使用ください。
表記の窓口は日本国内のお客様に限らせていただきます。

●富士ゼロックスに対するご意見、ご相談などは、お客様相談センターにご連絡ください。

フリーダイヤル
0120-27-4100　フリーダイヤル受付時間：土曜、日曜、祝日を除く9時～12時、13時～17時、東京でお受けします。ただし、通話地域制限がある内線電話機、および携帯電話機からはご利用になれません。全国通話ができる電話機をご使用ください。

●インターネットホームページで富士ゼロックスの商品全般に関する情報、最新ソフトウェア等を提供しています。

http://www.fujixerox.co.jp

この説明書の本文は再生紙を使用しております。

2002年 11月　1版　　部番：80P 8862　　帳票番号：DE3127J1-2